

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるよりも前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態への移行を伴う特別表示結果を含む複数種類の入賞表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させる手段であって、前記事前決定手段により所定の有利決定が行われていることを条件として所定の有利表示結果を導出させ、前記事前決定手段により所定の不利決定が行われていることを条件として前記有利表示結果とは異なる所定の不利表示結果を導出させ、前記事前決定手段により所定の特定決定が行われていることを条件として前記有利表示結果とも前記不利表示結果とも異なる所定の特定表示結果を導出させる導出制御手段と、

前記特別表示結果が導出されたときに、予め定められた特別終了条件が成立するまで、前記特別遊技状態に遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技者にとって有利な有利状態にも該有利状態よりも遊技者にとって不利な不利状態にも移行可能な初期遊技状態に制御されているときにおいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する有利状態制御手段と、

前記初期遊技状態に制御されているときにおいて前記不利表示結果が導出されたときに、前記不利状態に遊技状態を制御する不利状態制御手段と、

前記有利状態に制御されているときにおいて予め定められた有利終了条件が成立したときに、該有利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する有利初期遊技状態制御手段と、

前記不利状態に制御されているときにおいて予め定められた不利規定ゲーム数を消化したときに、該不利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する不利初期遊技状態制御手段と、

前記不利状態に制御されているときにおいて前記特定表示結果が導出されたときに、該不利状態を終了させて、該特定表示結果が導出された後の消化ゲーム数に関わらずに前記有利表示結果または前記不利表示結果が導出されるまで、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する特定初期遊技状態制御手段とを備え、

前記事前決定手段は、前記有利決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定する同時決定手段と、前記有利決定を単独で行う単独決定手段とを含み、

前記スロットマシンは、

前記初期遊技状態において前記同時決定手段による決定に基づいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する旨を報知してから前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を遊技者に報知する特別決定報知手段をさらに備える

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記有利状態とは異なる遊技者にとって有利な特別遊技状態への移行を伴う特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段と、前記特定決定を単独で行う単独決定手段とを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載のスロットマシン。

【請求項 3】

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記有利状態とは異なる遊技者にとって有利な特別遊技状態への移行を伴う特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段を含み、前記有利状態に制御されているときにおいて、前記同時決定手段に

より前記特別表示結果の導出を許容する旨を決定すると同時に前記特定決定を行うとき以外は、該特定決定を行わない

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のスロットマシン。

【請求項 4】

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるよりも前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態への移行を伴う特別表示結果を含む複数種類の入賞表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させる手段であって、前記事前決定手段により所定の有利決定が行われていることを条件として所定の有利表示結果を導出させ、前記事前決定手段により所定の不利決定が行われていることを条件として前記有利表示結果とは異なる所定の不利表示結果を導出させ、前記事前決定手段により所定の特定決定が行われていることを条件として前記有利表示結果とも前記不利表示結果とも異なる所定の特定表示結果を導出させる導出制御手段と、

前記特別表示結果が導出されたときに、予め定められた特別終了条件が成立するまで、前記特別遊技状態に遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技者にとって有利な有利状態にも該有利状態よりも遊技者にとって不利な不利状態にも移行可能な初期遊技状態に制御されているときにおいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する有利状態制御手段と、

前記初期遊技状態に制御されているときにおいて前記不利表示結果が導出されたときに、前記不利状態に遊技状態を制御する不利状態制御手段と、

前記有利状態に制御されているときにおいて予め定められた有利終了条件が成立したときに、該有利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する有利初期遊技状態制御手段と、

前記不利状態に制御されているときにおいて前記特定表示結果が導出されたときに、前記初期遊技状態とも前記有利状態とも前記不利状態とも異なる初期移行前状態に遊技状態を制御する初期移行前状態制御手段と、

前記初期移行前状態において予め定められた移行規定ゲーム数を消化したときに、該初期移行前状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する特定初期遊技状態制御手段とを備え、

前記事前決定手段は、前記有利決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定する同時決定手段と、前記有利決定を単独で行う単独決定手段とを含み、

前記スロットマシンは、

前記初期遊技状態において前記同時決定手段による決定に基づいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する旨を報知してから前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を遊技者に報知する特別決定報知手段をさらに備える

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 5】

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段と、前記特定決定を単独で行う単独決定手段とを含み、

前記スロットマシンは、

前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定を、該特別表示結果が導出されるまで持ち越す特別決定持越手段と、

前記同時決定手段または前記単独決定手段により前記特定決定が行われたことを条件として、該条件の成立から複数ゲームに亘って継続する連続演出を演出手段に実行させ、該

10

20

30

40

50

連続演出の終了するゲームにおいて前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を示す情報か前記初期遊技状態への制御を示す情報を報知する連続演出実行手段とをさらに備える

ことを特徴とする請求項 4 に記載のスロットマシン。

【請求項 6】

前記連続演出実行手段は、複数種類の演出態様から選択される何れかの演出態様で前記連続演出を実行させるとともに、該連続演出の開始から終了までの間において前記特定決定が行われたことを条件として、該特定決定が行われた以後の前記連続演出の少なくとも一部の演出態様を他の演出態様に差し替えて実行させる演出態様差替手段を含む

ことを特徴とする請求項 5 に記載のスロットマシン。

10

【請求項 7】

前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段をさらに備え、

前記導出制御手段は、さらに前記停止操作手段の操作手順に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させ、

前記有利表示結果は、前記特別表示結果とは異なる一般表示結果のうちの互いに導出させるための前記停止操作手段の操作手順が重複しない複数種類の有利表示結果を含み、

前記事前決定手段は、前記有利決定として前記複数種類の有利表示結果の何れかの導出を許容する旨を決定するとともに、前記同時決定手段により前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定するときには該複数種類の有利表示結果の全ての導出を許容する旨を決定する

20

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のスロットマシン。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、スロットマシンに関し、特に初期遊技状態において所定の有利表示結果が導出されることで有利状態に制御するとともに所定の不利表示結果が導出されることにより不利状態に制御するスロットマシンに関する。

【背景技術】

【0002】

30

スロットマシンは、一般に、外周部に識別情報としての複数種類の図柄が描かれた複数（通常は 3 つ）のリールを有する可変表示装置を備えており、各リールは、遊技者がスタートレバーを操作することにより回転を開始し、また、遊技者が各リールに対応して設けられた停止ボタンを操作することにより、その操作タイミングから予め定められた最大遅延時間の範囲内で回転を停止する。そして、全てのリールの回転を停止したときに導出された表示態様に従って入賞が発生する。

【0003】

入賞となる役の種類としては、小役、ボーナス、リプレイといった種類があるが、各役の入賞が発生するためには、一般的には、事前（通常はスタートレバー操作時）に行われる内部抽選に当選して当選フラグが設定されていなければならない。ここで、リプレイ入賞による賭け数の設定にメダルを消費しないで済むという利益を遊技者が得られることを利用して、予め定められた所定ゲーム数だけ通常の遊技状態とはリプレイ以外の役の当選確率を変えずにリプレイの当選確率を異なるものとする R T（Replay Time）を遊技状態として定めているスロットマシンがある。

40

【0004】

ここで、R Tにおけるリプレイ当選確率が一定程度以上に高くなれば、R Tに制御されている間に遊技者の手持ちのメダルが増え、遊技者にとって有利な遊技状態とすることができ、リプレイ当選確率が一定程度以上に高くないと、遊技者の手持ちのメダルが減少する遊技者にとって不利な遊技状態となる。このようなリプレイ当選確率の違いを利用して、ボーナス終了後などに制御される初期遊技状態において最初に入賞した役に応じて

50

、遊技者に不利な第 1 R T と遊技者に有利な第 2 R T の何れかに制御するものとしたスロットマシンがあった（例えば、特許文献 1 参照）。

【 0 0 0 5 】

また、通常遊技時において所定の一般役（ 1 枚役）に入賞したときに遊技者にとって有利な R T に遊技状態を制御するとともに、この 1 枚役がビッグボーナスまたはレギュラーボーナスと同時に当選し得るものとし、また、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに内部当選することによって内部中 R T に遊技状態を制御するものとしたスロットマシンがあった（例えば、特許文献 2 参照）。

【 0 0 0 6 】

【特許文献 1】特開 2 0 0 7 - 2 7 5 3 7 7 号公報（段落 0 1 2 4 ~ 0 1 2 7 ）

10

【特許文献 2】特開 2 0 0 7 - 2 6 7 9 1 0 号公報（段落 0 1 2 3 ~ 0 1 2 6 ）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 7 】

特許文献 1 のスロットマシンにおいて第 2 R T は、これ自体が遊技者にとって有利な遊技状態であるため、ここでボーナス入賞しなくても遊技者を落胆させてしまうこともない。ボーナス当選は、入賞まで持ち越されるものであるため、むしろ第 2 R T でボーナス当選しても直ぐにはボーナス入賞させずに、規定ゲーム数を消化するまで継続させた方がよい位である。

【 0 0 0 8 】

20

しかし、第 1 R T は、遊技者にとって不利な遊技状態であるため、ボーナス当選しない限り、これが終了して再び有利 R T に制御されるチャンスが得られるようになるまでに第 1 R T で規定ゲーム数を消化しなければならず、この間に遊技者の手持ちのメダルが大きく減少してしまうこととなる。また、規定ゲーム数を消化しなくても第 1 R T を終了させることのできるボーナス当選の確率は、決して高くなく、初期遊技状態から第 1 R T に制御されることで、遊技者を大いに落胆させてしまうこととなる。また、第 1 R T で遊技者が期待できるのは、結局、ボーナス当選だけということになり、遊技に面白みも感じさせないものになってしまう。

【 0 0 0 9 】

また、特許文献 1 のスロットマシンでは、初期遊技状態においてスイカまたはチェリーに入賞すると遊技者にとって有利な第 2 R T に制御されるが、ここでのスイカまたはチェリーの入賞は、有利 R T への制御以外に何らの期待感も遊技者に与えるものではなかった。特許文献 2 のスロットマシンでは、1 枚役に入賞したときには、遊技者は、R T への制御かボーナス当選かの何れかを期待できる。しかし、R T（内部中 R T ではなく）に制御されていることが遊技者に判明すると、そこでボーナス当選に対する期待感はなくなってしまい、さらなる意外性を感じさせることもない。

30

【 0 0 1 0 】

本発明は、初期遊技状態から遊技者にとって有利な有利状態か遊技者にとって不利な不利状態に制御されるスロットマシンにおいて、不利状態に制御されても遊技者を落胆させず、該不利状態に制御されているときにおける遊技の興趣を高めることを目的とする。

40

【 0 0 1 1 】

本発明は、また、初期遊技状態から有利状態に遊技状態を制御させるものとなる有利表示結果が導出されたときに遊技者に大きな期待感を与えるとともに、その後も意外性を与えることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するため、本発明の第 1 の観点にかかるスロットマシンは、

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置（可変表示装置 2）に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変

50

表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシン（スロットマシン１）において、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるよりも前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態（ビッグボーナス、レギュラーボーナス）への移行を伴う特別表示結果（ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナス）とを含む複数種類の入賞表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段（ＣＰＵ１１１：図５（ｂ））と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させる手段であって、前記事前決定手段により所定の有利決定（スイカ当選、チェリー当選）が行われていることを条件として所定の有利表示結果（スイカ、チェリー）を導出させ、前記事前決定手段により所定の不利決定（リプレイＡ当選）が行われていることを条件として前記有利表示結果とは異なる所定の不利表示結果（リプレイＡ）を導出させ、前記事前決定手段により所定の特定決定（リプレイＢ当選、リプレイＣ当選）が行われていることを条件として前記有利表示結果とも前記不利表示結果とも異なる所定の特定表示結果（リプレイＢ、リプレイＣ）を導出させる導出制御手段（ＣＰＵ１１１）と、

前記特別表示結果が導出されたときに、予め定められた特別終了条件が成立するまで、前記特別遊技状態に遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段（図６：ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）に入賞すると、ビッグボーナスに制御され、レギュラーボーナスに入賞すると、レギュラーボーナスに制御される）と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技者にとって有利な有利状態（有利ＲＴ）にも該有利状態よりも遊技者にとって不利な不利状態（不利ＲＴ）にも移行可能な初期遊技状態（通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２）に制御されているときにおいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する有利状態制御手段（図６：通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２でスイカ、チェリーに入賞すると、有利ＲＴに制御される）と、

前記初期遊技状態に制御されているときにおいて前記不利表示結果が導出されたときに、前記不利状態に遊技状態を制御する不利状態制御手段（図６：通常遊技状態、レアＲＴでリプレイＡに入賞すると、不利ＲＴに制御される）と、

前記有利状態に制御されているときにおいて予め定められた有利終了条件が成立したときに、該有利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する有利初期遊技状態制御手段（図６：有利ＲＴで２００ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される）と、

前記不利状態に制御されているときにおいて予め定められた不利規定ゲーム数を消化したときに、該不利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する不利初期遊技状態制御手段（図６：不利ＲＴで３００ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される）と、

前記不利状態に制御されているときにおいて前記特定表示結果が導出されたときに、該不利状態を終了させて、該特定表示結果が導出された後の消化ゲーム数に関わらずに前記有利表示結果または前記不利表示結果が導出されるまで、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する特定初期遊技状態制御手段（図６：不利ＲＴにおいてリプレイＢに入賞するとレアＲＴ１に制御され、リプレイＣに入賞するとレアＲＴ２に制御される。レアＲＴ１、レアＲＴ２には、ゲーム数の制限はない）とを備え、

前記事前決定手段は、前記有利決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定する同時決定手段（図５（ｂ）：ビッグボーナス（Ａ）＋スイカ＋チェリー、ビッグボーナス（Ｂ）＋スイカ＋チェリー、ビッグボーナス（Ｃ）＋スイカ＋チェリー、レギュラーボーナス＋スイカ＋チェリー）と、前記有利決定を単独で行う単独決定手段（図５（ｂ）：スイカ、チェリー）とを含み、

前記スロットマシンは、

前記初期遊技状態において前記同時決定手段による決定に基づいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する旨を報知してから前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を遊技者に報知する特別決定報知手段（液晶表

10

20

30

40

50

示器 4 (図 9 : レギュラーボーナス + スイカに当選したゲームでスイカに入賞すると有利 R T への報知するが、当該ゲームでレギュラーボーナスの当選を報知しない)) をさらに備える

ことを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

上記第 1 の観点にかかるスロットマシンでは、初期遊技状態において有利表示結果が導出されると有利状態に制御され、不利表示結果が導出されると不利状態に制御される。不利状態は、不利表示結果が導出された後に不利規定ゲーム数を消化するまで継続するものであるが、初期遊技状態とは異なり有利表示結果が導出されたとしても有利状態に制御される訳ではなく、有利状態に遊技状態が制御されるチャンスがなくなってしまう。

10

【 0 0 1 4 】

もっとも、不利状態において不利規定ゲーム数を消化する前であっても特定表示結果が導出されると、不利状態が終了させられて初期遊技状態に遊技状態が制御されることとなる。初期遊技状態に遊技状態が制御されれば、有利表示結果の導出により有利状態に制御されるチャンスが再び生じることとなる。つまり、不利状態において不利規定ゲーム数を消化する前でも初期遊技状態に制御されるチャンスがあり、そのチャンスが生かされれば有利状態に制御されるチャンスも生じるので、不利状態に遊技状態が制御されたことで遊技者を落胆させずに済むものとなる。

【 0 0 1 5 】

上記第 1 の観点にかかるスロットマシンにおいて、

20

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段 (図 5 (b) : ビッグボーナス (A) + リプレイ B 、ビッグボーナス (B) + リプレイ B 、ビッグボーナス (C) + リプレイ B 、レギュラーボーナス + リプレイ B) と、前記特定決定を単独で行う単独決定手段 (図 5 (b) : リプレイ B) とを含むものとしてすることができる。

【 0 0 1 6 】

この場合には、特定表示結果が導出されたときには特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている可能性があるので、遊技者の期待感を高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【 0 0 1 7 】

30

なお、前記同時決定手段により前記特別表示結果の導出を許容する旨を決定するのと同時に前記特定決定が行われたときには、該特定決定に基づいて前記特定表示結果が導出されても、前記初期遊技状態に遊技状態を制御させないものとしてすることができる。また、前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されたときに、前記初期遊技状態とは異なる特別決定状態 (内部中 R T) に制御するものとする場合、前記同時決定手段により前記特別表示結果の導出を許容する旨を決定するのと同時に前記特定決定が行われ、該特定決定に基づいて前記特定表示結果が導出されても、前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定に基づいて制御された特別決定状態からは初期遊技状態に制御させないものとしてすることができる。

【 0 0 1 8 】

40

上記第 1 の観点にかかるスロットマシンにおいて、

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段 (図 5 (b) : ビッグボーナス (A) + リプレイ B 、ビッグボーナス (B) + リプレイ B 、ビッグボーナス (C) + リプレイ B 、レギュラーボーナス + リプレイ B) を含み、前記有利状態に制御されているときにおいて、前記同時決定手段により前記特別表示結果の導出を許容する旨を決定するのと同時に前記特定決定を行うとき以外は、該特定決定を行わないものであってもよい (図 5 (b) : 有利 R T ではリプレイ B 、リプレイ C に単独当選しない) 。

【 0 0 1 9 】

この場合には、有利状態において特定表示結果が導出されるのは、特別表示結果の導出

50

を許容する旨が決定されるのと同時に特定決定が行われた場合だけになるので、有利状態における特定表示結果の導出に希少性が生じるものとなる。また、有利状態において特定表示結果が導出されたときには特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることが確定的に分かるものとなるので、遊技者の期待感を大いに高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0020】

上記第1の観点にかかるスロットマシンは、

前記特別遊技状態において予め定められた特別終了条件が成立したときに、該特別遊技状態を終了させて、前記初期遊技状態のうちの特別初期遊技状態（特別RT）に遊技状態を制御する特別初期遊技状態制御手段（図10：ビッグボーナスの終了後は、特別RTに制御される）をさらに備えていてもよい。この場合において、

10

前記特定初期遊技状態制御手段は、前記初期遊技状態のうちの前記特別初期遊技状態とは異なる特定初期遊技状態（レアRT1、レアRT2）に遊技状態を制御し（図10：特別RTにはビッグボーナスの終了後以外には制御されない）、

前記事前決定手段は、前記特定初期遊技状態に制御されているときには、前記特別初期遊技状態に制御されているときとは異なる確率で前記有利決定および／または前記不利決定を行うものとすることができる（図5（b）：通常遊技状態、レアRT1、レアRT2ではリプレイAに当選するのに対して、特別RTではリプレイAに当選しない）。

【0021】

この場合には、有利状態にも不利状態にも移行可能な初期遊技状態であっても、特別遊技状態の終了後に制御された特別初期遊技状態と不利状態における特定表示結果の導出により制御された特定初期遊技状態とでは有利決定および／または不利決定が行われる確率が異なるものとなるので、不利状態における特定表示結果の導出で制御された特定初期遊技状態における遊技の面白みが増し、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

20

【0022】

上記第1の観点にかかるスロットマシンにおいて、

前記特定表示結果は、第1の特定表示結果（リプレイB）と該第1の特定表示結果とは異なる第2の特定表示結果（リプレイC）とを含んでいてもよい。この場合において、

前記特定初期遊技状態制御手段は、前記第1の特定表示結果が導出されたときに前記初期遊技状態のうちの第1の初期遊技状態（レアRT1）に遊技状態を制御するとともに、前記第2の特定表示結果が導出されたときに前記初期遊技状態のうちの前記第1の初期遊技状態とは異なる第2の初期遊技状態（レアRT2）に遊技状態を制御するものとする

30

ことができ、
前記事前決定手段は、前記第1の初期遊技状態に制御されているときには、前記第2の初期遊技状態に制御されているときとは異なる確率で前記有利決定および／または前記不利決定を行うものとする（図5（b）：レアRT1におけるリプレイAの判定値数は8917、レアRT2におけるリプレイAの判定値数は1982）。

【0023】

この場合には、同じように不利状態から制御された初期遊技状態であっても、第1の特定表示結果の導出により制御された第1の初期遊技状態と第2の特定表示結果の導出により制御された第2の初期遊技状態とでは有利決定および／または不利決定が行われる確率が異なるものとなるので、不利状態で特定表示結果が導出されるかどうかだけではなく、何れの種類の特定表示結果が導出されるかにまで遊技者に関心を持たせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

40

【0024】

上記目的を達成するため、本発明の第2の観点にかかるスロットマシンは、

遊技用価値を用いて1ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置（可変表示装置2）に表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシン（スロット

50

マシン 1) において、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるよりも前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態（ビッグボーナス、レギュラーボーナス）への移行を伴う特別表示結果（ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナス）を含む複数種類の入賞表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段（CPU 111：図 5（b））と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させる手段であって、前記事前決定手段により所定の有利決定（リプレイ D 当選）が行われていることを条件として所定の有利表示結果（リプレイ D）を導出させ、前記事前決定手段により所定の不利決定（リプレイ B 当選）が行われていることを条件として前記有利表示結果とは異なる所定の不利表示結果（リプレイ B）を導出させ、前記事前決定手段により所定の特定決定（リプレイ C 当選）が行われていることを条件として前記有利表示結果とも前記不利表示結果とも異なる所定の特定表示結果（リプレイ C）を導出させる導出制御手段（CPU 111）と、

前記特別表示結果が導出されたときに、予め定められた特別終了条件が成立するまで、前記特別遊技状態に遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段（図 6：ビッグボーナス（A）～（C）に入賞すると、ビッグボーナスに制御され、レギュラーボーナスに入賞すると、レギュラーボーナスに制御される）と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技者にとって有利な有利状態（有利 RT）にも該有利状態よりも遊技者にとって不利な不利状態（不利 RT）にも移行可能な初期遊技状態（通常遊技状態、特別 RT）に制御されているときにおいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する有利状態制御手段（図 10：通常遊技状態、特別 RT でリプレイ D に入賞すると、有利 RT に制御される）と、

前記初期遊技状態に制御されているときにおいて前記不利表示結果が導出されたときに、該不利表示結果が導出された後の消化ゲーム数に関わらずに前記特定表示結果が導出されるまで、前記不利状態に遊技状態を制御する不利状態制御手段（図 10：通常遊技状態でリプレイ B に入賞すると不利 RT に制御される。不利 RT には、ゲーム数の制限はない）と、

前記有利状態に制御されているときにおいて予め定められた有利終了条件が成立したときに、該有利状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する有利初期遊技状態制御手段（図 6：有利 RT で 200 ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される）と、

前記不利状態に制御されているときにおいて前記特定表示結果が導出されたときに、前記初期遊技状態とも前記有利状態とも前記不利状態とも異なる初期移行前状態（演出用 RT）に遊技状態を制御する初期移行前状態制御手段（図 10：不利 RT でリプレイ C に入賞すると、演出用 RT に制御される）と、

前記初期移行前状態において予め定められた移行規定ゲーム数を消化したときに、該初期移行前状態を終了させて、前記初期遊技状態に遊技状態を制御する特定初期遊技状態制御手段（図 10：演出用 RT で 3 ゲーム消化すると通常遊技状態に制御される）とを備え、

前記事前決定手段は、前記有利決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定する同時決定手段（図 5（b）：ビッグボーナス（A）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（B）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（C）+ スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + スイカ + チェリー）と、前記有利決定を単独で行う単独決定手段（図 5（b）：スイカ、チェリー）とを含み、

前記スロットマシンは、

前記初期遊技状態において前記同時決定手段による決定に基づいて前記有利表示結果が導出されたときに、前記有利状態に遊技状態を制御する旨を報知してから前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を遊技者に報知する特別決定報知手段（液晶表示器 4（図 9：レギュラーボーナス + スイカに当選したゲームでスイカに入賞すると有利 RT への報知するが、当該ゲームでレギュラーボーナスの当選を報知しない））をさらに

10

20

30

40

50

備える

ことを特徴とする。

【0025】

上記第2の観点にかかるスロットマシンでは、初期遊技状態において有利表示結果が導出されると有利状態に制御され、不利表示結果が導出されると不利状態に制御される。不利状態は、不利表示結果が導出された後の消化ゲーム数に関わらずに制御されるものであるが、不利状態からそのまま有利状態に制御される訳ではなく、有利状態に遊技状態が制御されるチャンスがなくなってしまう。

【0026】

もっとも、不利状態に制御されたときであっても特定表示結果が導出されると、予め定められた移行規定ゲーム数で終了する初期移行前状態に制御され、当該初期移行前状態の後に初期遊技状態に遊技状態が制御されることとなる。初期遊技状態に遊技状態が制御されれば、有利表示結果の導出により有利状態に制御されるチャンスが再び生じることとなる。つまり、不利状態に制御されても初期移行前状態を介して初期遊技状態に制御されるチャンスがあり、そのチャンスが生かされれば有利状態に制御されるチャンスも生じるので、不利状態に遊技状態が制御されたことで遊技者を落胆させずに済むものとなる。

【0027】

上記第2の観点にかかるスロットマシンにおいて、

前記事前決定手段は、前記特定決定を行うときに前記特別表示結果の導出を許容する旨も同時に決定する同時決定手段（ビッグボーナス（A）＋リプレイC、ビッグボーナス（B）＋リプレイC、ビッグボーナス（C）＋リプレイC、レギュラーボーナス＋リプレイC：図10に示す変形例）と、前記特定決定を単独で行う単独決定手段（リプレイC：図10に示す変形例）とを含んでいてもよい。この場合において、

上記第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記特別表示結果の導出を許容する旨を、該特別表示結果が導出されるまで持ち越す特別決定持越手段（ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの当選フラグは、入賞するまで消去されない）と、

前記同時決定手段または前記単独決定手段により前記特定決定が行われたことを条件として、該条件の成立から複数ゲームに亘って継続する連続演出（連続演出）を演出手段（液晶表示器4）に実行させ、該連続演出の終了するゲームにおいて前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨を示す情報か前記初期遊技状態への制御を示す情報を報知する連続演出実行手段（CPU121）とをさらに備えるものとしてすることができる。

【0028】

ここでは、特定表示結果が導出され、不利状態から初期移行前状態に遊技状態が制御されたときには、該特定表示結果を導出させた特定決定が行われるのと同時に特別表示結果の導出を許容する旨が決定された可能性があるということになる。この特別表示結果の導出を許容する旨が決定されたことが考えられる初期移行前状態において継続して行われる連続演出により、特別表示結果の導出を許容する旨の決定に対する遊技者の期待感を効果的に高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【0029】

ここで、前記連続演出の継続ゲーム数は、前記特定規定ゲーム数を越えないゲーム数とすることができる。

【0030】

また、上記第2の観点にかかるスロットマシンは、前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段をさらに備え、前記導出制御手段は、前記特別表示結果の導出を許容する旨と該特別表示結果とは異なる入賞表示結果である一般表示結果のうちの優先表示結果の導出を許容する旨とが決定されているときにおいて前記停止操作手段が該特別表示結果と該優先表示結果の何れも導出可能な操作手順で操作されたときに、該優先表示結果を導出させるものとしてもよい。この場合において、

前記特別表示結果が、互いに導出させるための前記停止操作手段の操作手順が重複しな

10

20

30

40

50

い複数種類の非重複特別表示結果を含む場合には、前記連続演出の継続ゲーム数は、該継続ゲーム数中に前記優先表示結果が導出されるゲーム数の期待値に前記非重複特別表示結果の種類数を加算した数よりも小さいものとすることができる。

そして、この場合に、前記特定規定ゲーム数を、前記連続演出の継続ゲーム数以上とすることができる。

【0031】

この場合において、前記連続演出実行手段は、複数種類の演出態様から選択される何れかの演出態様で前記連続演出を実行させるとともに、該連続演出の開始から終了までの間において前記特定決定が行われたことを条件として、該特定決定が行われた以後の前記連続演出の少なくとも一部の演出態様を他の演出態様に差し替えて実行させる演出態様差替手段（連続演出中にリプレイCに当選すると連続演出のシナリオ変更）を含むものとしてもよい。

10

【0032】

特定表示結果の導出により不利状態から初期移行前状態に遊技状態が制御された場合に該特定表示結果を導出させた特定決定が行われたときに、特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていないこともある。初期移行前状態に制御されているとき（すなわち、所定の演出が行われているとき）に特定表示結果が導出されることもあるが、この場合に特定表示結果を導出させた特定決定が行われたときに、新たに特別表示結果の導出を許容する旨が決定されたという可能性もある。このように既に初期移行前状態に制御されて所定の演出が行われているときでも再び特定表示結果が導出されたときには特別表示結果の導出を許容する旨が決定されたことの可能性が高まるが、ここで所定の演出の演出態様を差し替えることによって、特別表示結果の導出を許容する旨の決定に対する遊技者の期待感をいっそう効果的に高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

20

【0033】

なお、前記演出態様差替手段は、前記特定表示結果の導出を許容する旨が決定されたときに、該決定に基づいて該特定表示結果が導出される（導出された）か否かに関わらずに、前記所定の演出の演出態様を差し替えるものとしてもよい。或いは、前記演出態様差替手段は、前記特定表示結果の導出を許容する旨が決定され、該決定に基づいて該特定表示結果が導出されたときに、前記所定の演出の演出態様を差し替えるものとしてもよい。

30

【0034】

上記第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記特別遊技状態において予め定められた特別終了条件が成立したときに、該特別遊技状態を終了させて、前記初期遊技状態のうちの特別初期遊技状態（特別RT）に遊技状態を制御する特別初期遊技状態制御手段（図10：ビッグボーナスの終了後は、特別RTに制御される）をさらに備えていてもよい。この場合において、

前記特定初期遊技状態制御手段は、前記初期遊技状態のうちの前記特別初期遊技状態とは異なる特定初期遊技状態（図10：特別RTにはビッグボーナスの終了後以外には制御されない）に遊技状態を制御し、

前記事前決定手段は、前記特定初期遊技状態に制御されているときには、前記特別初期遊技状態に制御されているときとは異なる確率で前記有利決定および／または前記不利決定を行うものとすることができる（通常遊技状態ではリプレイBに当選するのに対して、特別RTではリプレイBに当選しない：図10に示す変形例）。

40

【0035】

この場合には、有利状態にも不利状態にも移行可能な初期遊技状態であっても、特別遊技状態の終了後に制御された特別初期遊技状態と不利状態における特定表示結果の導出により初期移行前状態を介して制御された特定初期遊技状態とでは有利決定および／または不利決定が行われる確率が異なるものとなるので、不利状態における特定表示結果の導出で初期移行前状態を介して制御された特定初期遊技状態における遊技の面白みが増し、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

50

【 0 0 3 6 】

また、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンの何れにおいても、初期遊技状態において有利表示結果が導出されると有利状態に制御され、不利表示結果が導出されると不利状態に制御される。初期遊技状態から有利状態に遊技状態を制御させる有利表示結果を導出させるためには、事前決定手段により有利決定が行われている必要があるが、この有利決定が行われるのと同時に特別表示結果の導出を許容する旨が決定されることがある。

【 0 0 3 7 】

つまり、初期遊技状態において有利表示結果が導出されると、有利状態に遊技状態が制御されるとともに、特別表示結果の導出を許容する旨が決定されることも期待できるものとなる。もっとも、特別表示結果の導出を許容する旨が報知されるのは、有利状態に制御される旨が報知された後となる。このため、有利状態への制御の報知で有利表示結果の導出が有利状態への制御を意味するものだと思っていた遊技者に、その後に行われる特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている旨の報知で意外性を感じさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

10

【 0 0 3 8 】

なお、前記特別遊技状態と前記有利状態とは、何れも遊技者にとって有利な遊技状態であるが、前記特別遊技状態は、前記有利状態よりもさらに遊技者にとって有利な遊技状態とすることが好ましい。この場合、有利表示結果の導出が遊技者にとって有利ではあるが特別遊技状態よりも不利な有利状態への制御を意味するものであったと有利状態への制御の報知で思わせた遊技者に、さらに有利な特別有利状態への制御に結びつく特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることを報知することができるので、遊技者の期待感をいっそう高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

20

【 0 0 3 9 】

なお、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンにおいて、前記有利表示結果、前記不利表示結果および / または前記特定表示結果は、入賞表示結果であってもよい。前記有利表示結果が入賞表示結果である場合は、前記有利決定は、該有利表示結果の導出を許容する旨の決定となり、前記不利表示結果が入賞表示結果である場合は、前記不利決定は、該不利表示結果の導出を許容する旨の決定となり、前記特定表示結果が入賞表示結果である場合は、前記特定決定は、該特定表示結果の導出を許容する旨の決定となる。

30

【 0 0 4 0 】

また、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンが、前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段をさらに備え、前記導出制御手段が、さらに該停止操作手段の操作手順に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させるものである場合には、前記有利表示結果、前記不利表示結果および / または前記特定表示結果は、前記事前決定手段により導出を許容する旨が決定された入賞表示結果（それぞれ、有利決定、不利決定、特定決定が行われることにより導出を許容する旨が決定されるもの）が前記停止操作手段の操作手順により導出されなかったときに、該停止操作手段の操作手順に応じて導出される入賞表示結果以外の表示結果とすることができる。

40

【 0 0 4 1 】

さらに、前記所定の有利決定と前記所定の不利決定とは、同一の決定であってもよい。ここで、前記導出制御手段は、例えば、前記所定の有利決定と前記所定の不利決定とを兼ねる決定が前記事前決定手段により行われているときに、前記停止操作手段が第 1 手順で操作されたときには前記有利表示結果を導出させ、該第 1 手順と重複しない第 2 手順で操作されたときには前記不利表示結果を導出させるものとすることができる（この場合において、前記有利表示結果または前記不利表示結果の何れか一方を入賞表示結果としてもよい）。

【 0 0 4 2 】

また、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンにおいて、前記有利状態制御手段は、予め定められた有利規定ゲーム数を消化するまで、前記有利状態に遊技状態を制御す

50

るものとしてもよい。また、上記第2の観点にかかるスロットマシンにおいては、前記特定規定ゲーム数は、前記初期遊技状態、前記有利状態及び前記不利状態の継続ゲーム数の期待値のうちで最小のものよりも少ないゲーム数とすることができ、複数ゲームであっても1ゲームであっても構わない。

【0043】

上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段（停止ボタン12L、12C、12R）をさらに備え、

前記導出制御手段は、さらに前記停止操作手段の操作手順に応じて前記可変表示装置に表示結果を導出させるものであってもよい（停止ボタン12L、12C、12Rの操作から190ミリ秒の最大停止遅延時間（4コマ以内の引き込み）の範囲内でリール3L、3C、3Rを停止）。この場合において、

前記有利表示結果は、前記特別表示結果とは異なる一般表示結果のうちの互いに導出させるための前記停止操作手段の操作手順が重複しない複数種類の有利表示結果（スイカ、チェリー）を含むものとしてすることができ（図4：右のリール3Rの下段に4番～15番の図柄が位置するタイミングで停止ボタン12Rを操作すれば「スイカ」を停止可能で、16番～3番の図柄が位置するタイミングで操作すれば「チェリー」を停止可能）、

前記事前決定手段は、前記有利決定として前記複数種類の有利表示結果の何れかの導出を許容する旨を決定するとともに、前記同時決定手段により前記特別表示結果の導出を許容する旨を同時に決定するときには該複数種類の有利表示結果の全ての導出を許容する旨を決定するものとしてすることができ（図5（b）：ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスとの同時当選はスイカ+チェリーで、スイカだけやチェリーだけではない）。

【0044】

ここでは、有利状態に遊技状態を制御させるための有利表示結果が複数種類あるが、それぞれを導出させるための停止操作手段の操作手順が重複していないので、複数種類の有利表示結果の何れかのみについて導出を許容する旨が決定されているのであれば、他の種類の有利表示結果を導出させるための操作手順で停止操作手段を操作しても、該導出を許容する旨が決定された種類の有利表示結果は導出されない。もっとも、特別表示結果の導出を許容する旨が決定されるのと同時に決定される場合には、複数種類の有利表示結果の全ての導出を許容する旨が決定されるので、特別表示結果の導出を許容する旨と同時に決定されたときには、有利状態に遊技状態を制御させる有利表示結果が導出される機会を多くすることができる。

【0045】

上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において前記遊技用価値付与手段により付与された遊技用価値の数と前記賭数の設定に用いた遊技用価値の数との差を算出する差数算出手段（CPU121（有利RTが最初に開始されてから不利RTに制御されないで遊技が継続している間のメダルの純増枚数をカウント）：図9）をさらに備えるものとしてすることができる。

【0046】

この場合において、上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記有利状態に制御されているときに、演出手段（スピーカ7L、7R、7U）に所定の有利演出（有利RT中楽曲）を実行させる有利演出実行手段（CPU121）をさらに備え、

前記有利演出実行手段は、前記有利状態が新たに開始されるときに前記差数算出手段の算出した差数が所定数（1000枚）を越えているか否かを判定する差数判定手段を含み、該差数が前記所定数を越えていると判定されたときに前記有利演出のうちの特定期間有利演出を実行させるものとしてすることができ（純増枚数が1000枚以下のときは有利RT中楽曲Aを、純増枚数が1000枚を越えるときは有利RT中楽曲Bを再生出力）。

【 0 0 4 7 】

また、この場合において、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンは、

前記特別遊技状態に制御されているときに、演出手段（スピーカ 7 L、7 R、7 U）に所定の特別演出（ボーナス中楽曲）を実行させる特別演出実行手段（CPU 121）をさらに備え、

前記特別演出実行手段は、前記特別遊技状態が新たに開始されるときに前記差数算出手段の算出した差数が所定数（1000 枚）を越えているか否かを判定する差数判定手段を含み、該差数が前記所定数を越えていると判定されたときに前記特別演出のうちの特定特別演出を実行させるものとすることができる（純増枚数が 1000 枚以下のときはボーナス中楽曲 A を、純増枚数が 1000 枚を越えるときはボーナス中楽曲 B を再生出力）。 10

【 0 0 4 8 】

ここでは、上記第 1、第 2 の観点にかかるスロットマシンにおける遊技状態として、初期遊技状態、該初期遊技状態において有利表示結果が導出されることにより制御される有利状態、該初期遊技状態において不利表示結果が導出されることにより制御される不利状態、並びにこれらの遊技状態において特別表示結果が導出されることにより制御される特別遊技状態があるが、遊技者にとって有利な有利状態や特別遊技状態に制御されているときには、通常、遊技用価値付与手段により付与される遊技用価値の数から賭数の設定に用いた遊技用価値の数を減算した差数（純増数）が増えていくが、有利状態に制御されている間に有利演出を行う、および／または特別遊技状態に制御されている間に特別演出を行うことで、遊技用価値の増加を盛り上げることができる。 20

【 0 0 4 9 】

また、初期遊技状態、有利状態、不利状態、及び特別遊技状態という複数種類の遊技状態の制御の流れとして、不利状態に制御されることなく、初期遊技状態、有利状態および／または特別遊技状態の間だけで遊技状態が制御されて遊技が進んでいくことがある。このような不利状態に制御されない流れの中で、有利状態および／または特別遊技状態に制御されればされるほど差数も増加していく。そして、開始時における差数が所定数を越えている有利状態では、有利演出として特定有利演出が実行されるものとなったり、開始時における差数が所定数を越えている特別遊技状態では、特別演出として特定特別演出が実行されるものとなったりするので、遊技者が実際に獲得している遊技用価値の数の増加と実行される有利演出或いは特別演出とを十分にリンクさせることができる。 30

【 0 0 5 0 】

なお、前記差数算出手段が前記不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において前記遊技用価値付与手段により付与された遊技用価値の数と前記賭数の設定に用いた遊技用価値の数との差の算出を開始する起算点は、前記差数算出手段が前記不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において最初に前記有利状態に制御されたときからとすることができる。或いは、前記有利状態よりも先に前記特別遊技状態に制御されたときには、該特別遊技状態に制御されたときとすることもできる。

【 0 0 5 1 】

なお、前記有利演出実行手段は、前記差数算出手段の算出した差数が前記所定数を越え、且つ前記不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において前記有利状態に制御された回数が所定回数を越えているときに、前記有利演出のうちの前記特定有利演出とは異なる特殊有利演出を実行させるものとするることができる（純増枚数が 1000 枚を越え、有利 R T に 5 回以上制御されているときには、有利 R T においてプレミア有利 R T 中楽曲を再生出力）。 40

【 0 0 5 2 】

また、前記特別演出実行手段は、前記差数算出手段の算出した差数が前記所定数を越え、且つ前記不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において前記有利状態に制御された回数が所定回数を越えているときに、前記特別演出のうちの前記特定特別演出とは異なる特殊特別演出を実行させるものとするることができる（純増枚数が 1000 枚を越え、有利 R T に 5 回以上制御されているときには、ボーナスにおいてプレミアボーナ 50

ス中楽曲を再生出力)。

【0053】

これらの場合、遊技用価値付与手段により付与される遊技用価値の数から賭数の設定に用いた遊技用価値の数を減算した差数(純増数)が所定数を越えただけではなく、不利状態に制御されることなく遊技が継続している期間において有利状態に制御された回数(いわゆる有利状態の連荘回数)が所定回数も越えると特殊有利演出或いは特殊特別演出が実行されるので、有利状態に制御された回数が多くなった遊技者に非常な満足感を与えることができる。

【0054】

上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは、

10

前記特別遊技状態とも前記有利状態とも異なる遊技者にとって有利な特定状態(RTナビ)に制御するか否かを決定する抽選(RTナビ抽選)を行い、該抽選により前記特定状態に制御する旨が決定されたときに、前記特別遊技状態が終了した後に前記特定状態に制御する特定状態制御手段(CPU121:RTナビ当選すると、ビッグボーナスの終了後にRTナビが実行される)と、

前記特別遊技状態が新たに開始されるときに、該特別遊技状態において実行される特定演出の種類(キャラクタA、B、C)を遊技者に選択させる特定演出選択手段(停止ボタン12L、12C、12R:ビッグボーナスの開始時に遊技者がキャラクタを選択)と、

前記特別遊技状態に制御されているときに、前記特定演出選択手段により選択された種類の特定演出を演出手段(液晶表示器4)に実行させる特定演出実行手段(CPU121:ビッグボーナス中は、遊技者の選択したキャラクタによるビッグボーナス中演出を実行)とをさらに備えていてもよい。この場合において、

20

前記特定状態制御手段は、前記特定演出選択手段により選択された特定演出の種類に応じて各々当選条件が異なる抽選により前記特定状態に制御するか否かを決定する抽選を行うことができ(図7:キャラクタA選択時はチェリー当選時に必ずRTナビ当選、キャラクタB選択時はスイカ当選時に当選確率1/10.8のRTナビ抽選、キャラクタC選択時はベル当選時に当選確率1/93.9のRTナビ抽選)、

上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは、

前記特定状態制御手段の抽選により前記特定状態に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出選択手段により選択された特定演出の種類に応じた態様で(図7:キャラクタA選択時にはチェリー当選時、キャラクタB選択時にはゲーム終了時、キャラクタC選択時にはビッグボーナス終了時に、それぞれ選択したキャラクタによる画像でRT当選を報知)、該特定状態に制御する旨を遊技者に報知する特定状態報知手段(液晶表示器4:RTナビ権利報知)をさらに備えるものとする。ことができる。

30

【0055】

この場合には、特別遊技状態が開始されるときに遊技者が該特別状態において行われる特定演出の種類を選択するが、特定状態制御手段は、この遊技者が選択した特定演出の種類に応じて当選条件が異なる抽選を行って、特定状態に制御するか否かを決定する。つまり、遊技者自らの選択が特定状態に制御する旨を決定するか否かということに直結するため、特定状態制御手段の抽選による決定で特定状態に制御されることとなった場合に、遊技者に満足感を与えることができるものとなる。

40

【0056】

また、特別遊技状態において特定状態に制御する旨が決定されたときには、該特別遊技状態の開始時において遊技者が選択した特定演出の種類に応じた態様で特定状態に制御する旨が報知される。このように特定状態に制御する旨が決定されたときには、その旨の報知も遊技者自らの選択に応じた態様で行われるので、遊技者に満足感を与えることができるものとなる。

【0057】

この場合において、上記第1、第2の観点にかかるスロットマシンは

前記特別遊技状態が開始される前において所定の条件が成立したときに、該特別遊技状

50

態の終了後に前記特定状態に制御させるための特定移行条件を成立させる特定移行条件成立手段（CPU121：ビッグボーナス（A）～（C）とスイカ＋チェリーまたはリプレイ（B）に同時当選したときは、その時点でRTナビの権利獲得）と、

前記特別遊技状態が新たに開始されるときにおいて既に前記特定移行条件が成立しているときに、所定の演出を前記演出手段に実行させる特定移行条件既成立時演出実行（図7：同時当選の場合は、ビッグボーナス開始時にキャラクタ選択させることなくキャラクタDでRTナビの権利獲得を報知）とをさらに備えるものとすることができ、

前記特定状態制御手段は、前記特別遊技状態が新たに開始されるときにおいて既に前記特定移行条件が成立しているときにも、該特別遊技状態が終了した後に前記特定状態に制御するものとすることができる（CPU121：ビッグボーナス（A）～（C）とスイカ＋チェリーまたはリプレイ（B）に同時当選した場合は、ビッグボーナスの終了後にRTナビが実行される）。

【0058】

この場合、特別遊技状態の終了後に特定状態に制御されることとなるのは、特別遊技状態において行われる特定状態制御手段の抽選で決定が行われた場合だけではなく、特別遊技状態が開始される前に所定の条件が成立していた場合もある。このように特別遊技状態が開始される前に特定状態に制御させることが決定されていた場合には、特別状態の開始時において所定の演出が実行されるので、遊技に意外性が生じて、遊技の興趣を向上させることができる。また、特別遊技状態の開始時において既に特定移行条件が成立しているかどうかについて遊技者の興味を持たせることができるので、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0059】

以下、添付図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

【0060】

図1は、この実施の形態にかかるスロットマシンの全体構造を示す正面図である。スロットマシン1の前面扉は、施錠装置19にキーを差し込み、時計回り方向に回動操作することにより開放状態とすることができる。このスロットマシン1の上部前面側には、可変表示装置2が設けられている。可変表示装置2の内部には、3つのリール3L、3C、3Rから構成されるリールユニット3が設けられている。

【0061】

リール3L、3C、3Rは、それぞれステッピングモータから構成されるリールモータ3ML、3MC、3MR（図2参照）の駆動によって回転／停止させられる。リールモータ3ML、3MC、3MRを構成するステッピングモータの詳細については、後述する。リール3L、3C、3Rの外周部に描かれた図柄は、リール3L、3C、3Rの駆動がそれぞれ停止したときにおいて、可変表示装置2において上中下三段に表示される。また、リール3L、3C、3Rの外周部には、互いに識別可能な複数種類の図柄が21個ずつ、所定の順序で描かれている。リール3L、3C、3Rにおける図柄の配列については、後述する。

【0062】

リールユニット3内には、リール3L、3C、3Rのそれぞれに対して、その基準位置を検出するリールセンサ3SL、3SC、3SR（図2参照）と、背面から光を照射するリールランプ3LP（図2参照）とが設けられている。可変表示装置2には、上中下段の3本及び対角線の2本の合計5本の入賞ラインが設定される。

【0063】

また、可変表示装置2の周囲には、各種表示部が設けられている。可変表示装置2の下側には、払出数表示部21と、クレジット表示部22と、ペイアウト表示部23とが設けられている。払出数表示部21は、7セグメント表示器による払出数表示器51（図2参照）によって構成され、後述するビッグボーナスにおいて払い出されたメダル数の合計を表示する。さらに、払出数表示部21は、エラーが発生したときに、発生したエラーの種

10

20

30

40

50

類に対応したコード（エラーコード）を表示するためにも用いられる。

【 0 0 6 4 】

クレジット表示部 2 2 は、7 セグメント表示器によるクレジット表示器 5 2（図 2 参照）によって構成され、後述するようにメダルの投入枚数及び払い出し枚数に応じてデータとして蓄積されたクレジットの数を表示する。ペイアウト表示部 2 3 は、7 セグメント表示器によるペイアウト表示器 5 3（図 2 参照）によって構成され、入賞が成立した場合に払い出されるメダルの枚数を表示する。

【 0 0 6 5 】

可変表示装置 2 の左側には、1 枚賭け表示部 2 4、2 枚賭け表示部 2 5、及び 3 枚賭け表示部 2 7 が設けられている。1 枚、2 枚、3 枚賭け表示部 2 4、2 5、2 7 は、それぞれ 1 枚、2 枚、3 枚賭けランプ 5 4、5 5、5 7（図 2 参照）が点灯状態となることで、現時点で設定されている賭け数を遊技者に示す。

【 0 0 6 6 】

可変表示装置 2 の右側には、投入指示表示部 2 9 と、スタート表示部 3 0 と、ウェイト表示部 3 1 と、リプレイ表示部 3 2 と、ゲームオーバー表示部 3 3 とが設けられている。投入指示表示部 2 9 は、投入指示ランプ 5 9（図 2 参照）が点灯状態となることで、メダルが投入可能なことを示す。スタート表示部 3 0 は、スタートランプ 6 0（図 2 参照）が点灯状態となることで、スタート可能、すなわちスタートレバー 1 1 の操作受付可能であることを示す。ウェイト表示部 3 1 は、ウェイトランプ 6 1（図 2 参照）が点灯状態となることで、後述するウェイトがかかっていることを示す。リプレイ表示部 3 2 は、リプレイランプ 6 2（図 2 参照）が点灯状態となることで、後述するリプレイ入賞をしたことを示す。ゲームオーバー表示部 3 3 は、ゲームオーバーランプ 6 3（図 2 参照）が点灯状態となることで、スロットマシン 1 が打ち止めになったことを示す。

【 0 0 6 7 】

可変表示装置 2 の上側には、演出手段としての液晶表示器 4 が設けられている。液晶表示器 4 は、遊技状態、当選フラグの設定状況、または可変表示装置 2 に導出された図柄の種類、もしくは遊技者の選択に応じて様々な演出用の画像を表示する。また、液晶表示器 4 には、遊技履歴などの遊技に直接的または間接的に関わる様々な情報を表示することが可能である。

【 0 0 6 8 】

また、可変表示装置 2 の下方に設けられた台状部分の水平面には、メダル投入口 1 3 と、1 枚 B E T ボタン 1 4 と、M A X B E T ボタン 1 5 と、精算ボタン 1 6 とが設けられている。1 枚 B E T ボタン 1 4 及び M A X B E T ボタン 1 5 には、データとして蓄積されたクレジット（最大 5 0）から賭け数の設定を可能としているときに点灯する B E T ボタンランプ 7 0 a、7 0 b（図 2 参照）が内部に配されている。

【 0 0 6 9 】

メダル投入口 1 3 は、遊技者がここからメダルを投入するものであり、投入指示表示部 2 9 が点灯しているときにメダルの投入が投入メダルセンサ 4 4（図 2 参照）によって検出されると、賭け数が設定され、或いはクレジットがデータとして蓄積される。1 枚 B E T ボタン 1 4 及び M A X B E T ボタン 1 5 は、データとして蓄積されているクレジットから賭け数（それぞれ 1、3）を設定する際に遊技者が操作するボタンであり、遊技者によって操作されたことが 1 枚 B E T スイッチ 4 5（図 2 参照）または M A X B E T スイッチ 4 6（図 2 参照）によって検出されると、クレジットからの賭け数の設定が行われる。

【 0 0 7 0 】

精算ボタン 1 6 は、既に賭け数として設定されたメダル、或いは蓄積されたクレジットに対応したメダルの払い出しを指示するためのボタンである。精算ボタン 1 6 の操作が精算スイッチ 4 7（図 2 参照）によって操作が検出されると、賭け数が設定されていれば、まず設定された賭け数に応じたメダルが払い出され、賭け数が設定されていなければ（精算ボタン 1 6 の操作で先に賭け数分のメダルが払い出された場合を含む）、データとして蓄積されたクレジットに応じたメダルが払い出される。

【0071】

その台状部分の垂直面には、スタートレバー11と、停止ボタン12L、12C、12Rとが設けられている。スタートレバー11は、ゲームを開始する際に遊技者が操作するもので、その操作がスタートスイッチ41(図2参照)によって検出されると、リール駆動モータ3ML、3MC、3MRが駆動開始され、リール3L、3C、3Rが回転開始する。リール3L、3C、3Rが回転開始した後所定の条件が成立することにより停止ボタン12L、12C、12Rの操作が可能となると、その内部に備えられた操作有効ランプ63L、63C、63R(図2参照)が点灯状態となって、その旨が遊技者に示される。

【0072】

停止ボタン12L、12C、12Rは、それぞれ遊技者が所望のタイミングでリール3L、3C、3Rの回転を停止させるべく操作するボタンであり、その操作がストップスイッチ42L、42C、42R(図2参照)で検出されると、リール3L、3C、3Rの回転が停止される。停止ボタン12L、12C、12Rの操作から対応するリール3L、3C、3Rの回転を停止するまでの最大停止遅延時間は190ミリ秒である。

【0073】

リール3L、3C、3Rは、1分間に80回転し、 80×21 (1リール当たりの図柄コマ数) = 1680コマ分の図柄を変動させるので、190ミリ秒の間では最大で4コマの図柄を引き込むことができることとなる。つまり、後述する停止制御テーブルにより選択される停止図柄は、停止ボタン12L、12C、12Rが操作されたときに表示されている図柄と、そこから4コマ先までにある図柄、合計5コマ分の図柄である。

【0074】

さらに、停止ボタン12L、12C、12Rを覆うパネルが、ボーナス告知部36として適用されている。ボーナス告知部36は、ボーナス告知ランプ66(図2参照)が点灯状態となることで、後述する各種ボーナスの入賞が可能となっていることを遊技者に告知する。また、停止ボタン12Rの右側には、メダルが詰まったときなどにおいてスロットマシン1に機械的に振動を与えるメダル詰まり解消ボタン18が設けられている。

【0075】

スロットマシン1の下部前面側には、メダル払い出し口71と、メダル貯留皿72とが設けられている。メダル払い出し口71は、ホッパー80(図2参照)によって払い出しが行われたメダルを外部に排出するものである。メダル貯留皿72は、払い出されたメダルを貯めておくためのものである。メダル貯留皿72の上の前面パネルには、内部に設置された蛍光灯6(図2参照)が発した光が照射される。

【0076】

スロットマシン1の下部前面側と、上部前面側の左右とには、それぞれ演出手段としてのスピーカ7U、7L、7Rが設けられている。スピーカ7U、7L、7Rは、スタートレバー11や停止ボタン12L、12C、12Rの操作時、或いは入賞時において所定の効果音を出力する。さらにエラーの発生時、前面扉の解放時、設定値の変更時、並びに賭け数及びクレジットの精算時における警報音の出力を行うと共に、遊技状態に応じた様々な演出音の出力を行う。

【0077】

さらに、スロットマシン1の前面側には、可変表示装置2及び液晶表示器4の周囲を取り囲むように、演出手段としての遊技効果ランプ75A~75M(図2参照)の発光により光による演出を行う遊技効果表示部5A~5Mが設けられている。遊技効果表示部5A~5Mは、遊技の進行状況に応じた様々なパターンで光による演出を行うものである。なお、遊技効果表示部5A~5Mの発光色は、単色からなるものであっても、複数色からなるものであっても構わない。

【0078】

図2は、このスロットマシン1の制御回路の構成を示す図である。図示するように、このスロットマシン1の制御回路は、電源基板100、遊技制御基板101、演出制御基板102、リール中継基板103、リールランプ中継基板104、外部出力基板105、演

10

20

30

40

50

出中継基板 106、及び操作部中継基板 107 に大きく分けて構成される。

【0079】

電源基板 100 は、AC 100V の外部電源電圧を変圧し、遊技制御基板 101 その他のスロットマシン 1 の各部に動作電力を供給する。図 2 では、遊技制御基板 101、ホッパー 80、各スイッチ 91 ~ 94 にのみ接続されているように示しているが、電源基板 100 は、他の各部への電力の供給も行っている。電源基板 100 は、スロットマシン 1 の内部に設けられ、メダルの払い出し動作を行うホッパーモータ 82 と、メダルの払い出しを検知する払い出しセンサ 81 とから構成されるホッパー 80 に接続されている。

【0080】

電源基板 100 は、後述する内部抽選への当選確率を設定し、これに基づいて算出されるメダルの仮想払出率の設定値（設定 1 ~ 設定 6）を変更するための設定スイッチ 91、設定スイッチ 91 を操作有効とする設定キースイッチ 92、内部状態（RAM 112）をリセットする第 2 リセットスイッチ 93、及び電源の ON/OFF 切り替えを行うメインスイッチ 94 にもそれぞれ接続されており、これらのスイッチの検出信号を遊技制御基板 101 へと送る。これらのスイッチ 91 ~ 94 は、スロットマシン 1 の内部に設けられている。

10

【0081】

遊技制御基板 101 は、スロットマシン 1 における遊技の進行全体の流れを制御するメイン側の制御基板であり、CPU 111、RAM 112、ROM 113 及び I/O ポート 114 を含む 1 チップマイクロコンピュータからなる制御部 110 を搭載している。また、乱数発生回路 115、サンプリング回路 116、電源監視回路 117、リセット回路 118 その他の回路を搭載している。

20

【0082】

CPU 111 は、計時機能、タイマ割り込みなどの割り込み機能（割り込み禁止機能を含む）を備え、ROM 113 に記憶されたプログラム（後述）を実行して、遊技の進行に関する処理を行うと共に、スロットマシン 1 内の制御回路の各部を直接的または間接的に制御する。CPU 111 の処理ワードは、1 バイトであり、RAM 112 や ROM 113 のアドレスは、1 バイト単位で付けられている。

【0083】

RAM 112 は、CPU 111 がプログラムを実行する際のワーク領域として使用される。RAM 112 は、バッテリーバックアップされており、スロットマシン 1 が OFF されても、記憶内容を保持するものとなっている。RAM 112 には、リールモータ 3ML、3MC、3MR をそれぞれ構成するステップモータのステップ数をカウントするカウンタのための領域が設けられている。クレジット数に関するデータは、RAM 112 に記憶されるものとなっている。ROM 113 は、CPU 111 が実行するプログラムや固定的なデータを記憶する。I/O ポート 114 は、遊技制御基板 101 に接続された各回路との間で制御信号を入出力する。

30

【0084】

乱数発生回路 115 は、パルスが発生する度にカウントアップして値を更新するカウンタによって構成され、サンプリング回路 116 は、乱数発生回路 115 がカウントしている数値を取得する。乱数発生回路 115 は、遊技の進行に使用される乱数の種類毎に設けられていて、乱数の種類毎にカウントする数値の範囲が定められている。CPU 111 は、その処理に応じてサンプリング回路 116 に指示を送ることで、乱数発生回路 115 が示している数値を乱数として取得する（以下、この機能をハードウェア乱数機能という）。

40

【0085】

電源監視回路 117 は、電源基板 100 から供給される電源電圧を監視し、電圧の低下を検出したときに、電圧低下信号を制御部 110 に対して出力する。制御部 110 は、特に図示はしないが、電源監視回路 117 に接続された割込入力端子を備えており、割込入力端子に電圧低下信号が入力されることで CPU 111 に外部割り込みが発生し、CPU

50

1 1 1 は、電断割込処理を実行する。

【 0 0 8 6 】

リセット回路 1 1 8 は、電源投入時において制御部 1 1 0 が起動可能なレベルまで電圧が上昇したきにリセット信号を出力して制御部 1 1 0 を起動させると共に、制御部 1 1 0 から定期的に出力される信号に基づいてリセットカウンタの値がクリアされずにカウントアップした場合、すなわち制御部 1 1 0 が一定時間動作を行わなかった場合に、制御部 1 1 0 に対してリセット信号を出力し、制御部 1 1 0 を再起動させる。

【 0 0 8 7 】

C P U 1 1 1 は、また、タイマ割り込み処理により、R A M 1 1 2 の特定アドレスの数値を更新し、こうして更新された数値を乱数として取得する機能も有する（以下、この機能をソフトウェア乱数機能という）。C P U 1 1 1 は、I / O ポート 1 1 4 を介して演出制御基板 1 0 2 に、後述する各種のコマンドを送信する。なお、遊技制御基板 1 0 1 から演出制御基板 1 0 2 へ情報（コマンド）は一方方向のみで送られ、演出制御基板 1 0 2 から遊技制御基板 1 0 1 へ向けて情報（コマンド）が送られることはない。

【 0 0 8 8 】

遊技制御基板 1 0 1 から演出制御基板 1 0 2 に送信されるコマンドは、1 つが 2 バイトで構成され、上位 1 バイトがコマンドの種類を示す制御情報、下位 1 バイトが制御状態の内容を示す情報である。遊技制御基板 1 0 1 から演出制御基板 1 0 2 にコマンドを送信する場合、C P U 1 1 1 は、送信すべきコマンドを、上位バイト、下位バイトの順で R A M 1 1 2 に設けられたコマンド送信バッファに設定する。

【 0 0 8 9 】

C P U 1 1 1 は、場合によっては同時期に複数のコマンドを演出制御基板 1 0 2 に送信する必要があるので、R A M 1 1 2 のコマンド送信バッファには、所定数のコマンドを設定することのできるだけの容量がある。例えば、同時期に 2 つのコマンドを送信する場合には、1 つめのコマンドの上位バイト、下位バイト、2 つめのコマンドの上位バイト、下位バイトといった具合に、R A M 1 1 2 のコマンド送信バッファに設定される。コマンド送信バッファに設定された各コマンドの上位バイト、下位バイトは、I / O ポート 1 1 4 からバイト単位で演出制御基板 1 0 2 に送られる。

【 0 0 9 0 】

遊技制御基板 1 0 1 には、操作部中継基板 1 0 7 を介して、1 枚 B E T スイッチ 4 5 、M A X B E T スイッチ 4 6 、スタートスイッチ 4 1 、ストップスイッチ 4 2 L 、4 2 C 、4 2 R 、精算スイッチ 4 7 、第 1 リセットスイッチ 4 8 、投入メダルセンサ 4 4 が接続されており、これらのスイッチ / センサ類の検出信号が入力される。また、リール中継基板 1 0 3 を介して、リールセンサ 3 S L 、3 S C 、3 S R の検出信号が入力される。I / O ポート 1 1 4 を介して入力されるこれらスイッチ / センサ類の検出信号、或いは前述したように電源基板 1 0 0 を介して入力される各種スイッチの検出信号に従って、遊技制御基板 1 0 1 上の C P U 1 1 1 は、処理を行っている。

【 0 0 9 1 】

遊技制御基板 1 0 1 には、また、操作部中継基板 1 0 7 を介して、流路切り替えソレノイド 4 9 、払出数表示器 5 1 、クレジット表示器 5 2 、ペイアウト表示器 5 3 、投入指示ランプ 5 9 、1 枚賭けランプ 5 4 、2 枚賭けランプ 5 5 、3 枚賭けランプ 5 7 、ゲームオーバーランプ 6 3 、スタートランプ 6 0 、リプレイランプ 6 2 、B E T ボタンランプ 7 0 a 、7 0 b 、操作有効ランプ 6 3 L 、6 3 C 、6 3 R が接続されており、C P U 1 1 1 は、遊技の進行状況に従ってこれらの動作を制御している。

【 0 0 9 2 】

また、遊技制御基板 1 0 1 には、リール中継基板 1 0 3 を介してリールモータ 3 M L 、3 M C 、3 M R が接続されている。C P U 1 1 1 は、後述する内部抽選により R A M 1 1 2 に設定される当選フラグに従って選択される停止制御テーブルを参照して、リール中継基板 1 0 3 を介してリールモータ 3 M L 、3 M C 、3 M R を制御して、リール 3 L 、3 C 、3 R を停止させる。遊技制御基板 1 0 1 には、さらに演出中継基板 1 0 6 を介して演出

制御基板 102 が接続されている。

【0093】

演出中継基板 106 は、遊技制御基板 101 から演出制御基板 102 へ送信される情報の一方向性を担保するために設けられた基板である。演出中継基板 106 は、この状態を調べることによって遊技制御基板 101 や演出制御基板 102 を調べなくても、遊技制御基板 101 の制御部 110 に不正な信号（特に演出制御基板 102 に外部から入力されるようになっている信号）が入力されるような改造がなされていないかどうかをチェックすることができるようにするものである。

【0094】

演出制御基板 102 は、スロットマシン 1 における演出の実行を制御するサブ側の制御基板であり、CPU 121、RAM 122、ROM 123 及び I/O ポート 124 を含む 1 チップマイクロコンピュータからなる制御部 120 を搭載している。また、乱数発生回路 125 及びサンプリング回路 126 を搭載しており、CPU 121 は、サンプリング回路 126 により乱数発生回路 125 がカウントしている値を取得することにより、遊技制御基板 101 と同様のハードウェア乱数機能を形成している。割り込み処理によるソフトウェア乱数機能も有している。

10

【0095】

CPU 121 は、ROM 123 に記憶されたプログラム（後述）を実行して、演出の実行に関する処理を行うと共に、演出制御基板 102 内の各回路及びこれに接続された各回路を制御する。RAM 122 は、CPU 121 がプログラムを実行する際のワーク領域として使用される。RAM 122 も、バッテリバックアップされており、スロットマシン 1 が OFF されても、記憶内容を保持するものとなっている。ROM 123 は、CPU 121 が実行するプログラムや固定的なデータを記憶する。I/O ポート 124 は、演出制御基板 102 に接続された各回路との間で制御信号を入出力する。

20

【0096】

CPU 121 による演出の実行は、I/O ポート 124 を介して遊技制御基板 101 から受信したコマンドに基づいて行われる。遊技制御基板 101 から送信されたコマンドが I/O ポート 124 に届くと、CPU 121 に対してコマンド受信割り込みが発生し、このコマンド受信割り込み処理によって、当該受信したコマンドを RAM 122 のコマンド受信バッファに順次入れていく。CPU 121 は、コマンド受信バッファに入れられたコマンドを 2 バイト単位で取り出し、その上位バイトでコマンドの種類を、下位バイトでコマンドの示す内容を判断して処理を行う。

30

【0097】

遊技制御基板 101 から同時期に複数のコマンドが送信されている場合などは、CPU 121 は、当然のことながら複数のコマンドを同時に処理することができない。このため、RAM 122 のコマンド受信バッファも、複数のコマンドを入れておけるだけの容量があり、CPU 121 は、コマンド受信バッファから取り出した 1 つのコマンドに基づく処理が終了した時点で未だ別のコマンドがコマンド受信バッファに入れられていれば、次のコマンドに基づく処理を行うものとする。なお、RAM 122 のコマンド受信バッファの容量は、RAM 112 のコマンド送信バッファの容量よりも大きくなっている。

40

【0098】

演出制御基板 102 には、遊技効果ランプ 75A ~ 75M、液晶表示器 4、スピーカ 7L、7R、7U、蛍光灯 6、ウェイトランプ 61、ボーナス告知ランプ 66 が接続されている。また、リールランプ中継基板 104 を介してリールランプ 3LP が接続されている。演出制御基板 102 の制御部 120 は、これら各部をそれぞれ制御して、演出を行っている。

【0099】

リール中継基板 103 は、遊技制御基板 101 と外部出力基板 105 及びリールユニット 3 との間を中継している。リールランプ中継基板 104 は、演出制御基板 102 とリールユニット 3 との間を中継している。リール中継基板 103 には、また、満タンセンサ 9

50

0 が接続されており、その検出信号が入力される。満タンセンサ 90 は、スロットマシン 1 の内部に設けられ、ホッパー 80 からオーバーフローしたメダルを貯留するオーバーフロータンク内のメダルが満タンになったことを検知するものである。

【0100】

満タンセンサ 90 により満タンが検知されると、満タンエラーとなる。なお、満タンセンサ 90 により満タンが検出されているかどうかは、1 ゲームに 1 回、例えば、賭け数の確定したタイミングでチェックするものとするができる。もっとも、前回のゲームでリプレイに入賞していたときには、満タンセンサ 90 により満タンが検出されているかどうかをチェックしないものとなっている。

【0101】

外部出力基板 105 は、後述する情報提供端子板を介してホールの管理コンピュータなどの外部装置に接続されており、遊技制御基板 101 からリール中継基板 103 を介して入力された各種のボーナス中信号、メダル IN 信号、メダル OUT 信号、及びセキュリティ信号を、当該外部装置に出力する。セキュリティ信号には、後述するようにドア開放信号、設定値変更信号、投入エラー信号、払い出しエラー信号、他のエラー信号、及び精算中信号が含まれる。

【0102】

外部出力基板 105 には、前面扉が開放状態にあることを検出する扉開放センサ 95 が搭載されており、扉開放センサ 95 の検出信号に基づいてセキュリティ信号のうちのドア開放信号が出力される。外部出力基板 105 は、スロットマシン 1 への電力の供給が行われているとき（すなわち、スロットマシン 1 が ON のとき）に蓄電するとともに、電力の供給が遮断されているとき（すなわち、スロットマシン 1 が OFF のとき）に、該蓄電した電力を外部出力基板 105 に供給する蓄電池から構成されるバックアップ電源を搭載している。

【0103】

スロットマシン 1 の電源が ON されているときには、外部出力基板 105 は、電源基板 101 からの電力供給で、扉開放センサ 95 により前面扉が開放状態にあることを検出し、前面扉が開放状態にあることを示すドア開放信号を含むセキュリティ信号を外部装置に出力する。一方、スロットマシン 1 の電源が OFF されているときには、外部出力基板 105 は、このバックアップ電源から電力供給で、扉開放センサ 95 により前面扉が開放状態にあることを検出し、前面扉が開放状態にあることを示すドア開放信号を含むセキュリティ信号を外部装置に出力する。

【0104】

外部出力基板 105 は、メダル投入口 13 からメダルが投入される度、或いは 1 枚 BET ボタン 14 または MAX BET ボタン 15 が操作される度にメダル IN 信号を出力するのではなく、スタートレバー 11 の操作時にまとめてメダル IN 信号を出力するものとしている。図 3 (a) は、メダル IN 信号の出力状況を示すタイミングチャートである。図示するように、CPU 111 は、スタートレバー 11 の操作が検出された時点、すなわち当該ゲームにおける賭け数が確定した時点で、設定された賭け数分のメダル IN 信号をまとめて出力する。詳しくは、メダルの投入が許可された状態においてメダルの投入が 1 枚検出される毎に、賭け数が 1 ずつ加算される。

【0105】

その後、スタートレバー 11 の操作が検出された時点、すなわち当該ゲームに用いられる賭け数が確定した時点で、設定された賭け数分のメダル IN 信号をまとめて出力する。図 3 (a) では、3 枚のメダルが投入された場合を示しており、スタートレバー 11 の操作時にメダル IN 信号が続けて 3 回出力される様子を示している。また、賭け数の全部または一部がクレジットを用いて設定された場合も、スタートレバー 11 の操作が検出された時点で、設定された賭け数分のメダル IN 信号をまとめて出力するものとなっている。

【0106】

一方、メダル OUT 信号は、メダルの払い出しを伴う小役の入賞により、ホッパー 80

10

20

30

40

50

からメダルを1枚払い出す度に出力するものとしている。ホッパー80からメダルを払い出すのではなく、クレジットを加算する場合も、クレジットを1加算する毎に、メダルOUT信号を出力するものとしている。図3(b)は、ホッパー80からメダルが払い出される場合を例としたメダルOUT信号の出力状況を示すタイミングチャートである。

【0107】

図示するように、メダルOUT信号は、1枚ずつのメダルの払い出しが払い出しセンサ81によって検出される度に、1パルスのメダルOUT信号を出力する。このため、図3(b)に示すように、メダルの払い出し中に最後のメダルの払い出しが検出されてから予め定められた払い出しメダルなし時間が経過してメダル切れと判定されたり、メダルの連続検出時間が予め定められたメダル詰まりと判定され、払い出しエラー状態となって払い出し動作が停止した場合には、払い出し動作の停止までに実際に払い出された枚数分のメダルOUT信号のみが出力される。

10

【0108】

払い出しエラーが解除され、残りの払い出しが再開すると、残りのメダルの払い出しが1枚ずつ払い出しセンサ81によって検出される度に、残りのメダルの払い出しに伴うメダルOUT信号が出力されることとなる。そして、最後のメダルの払い出しが検出され、メダルOUT信号の出力が完了した時点で1ゲームの制御が終了し、この時点でメダルの投入が許可される。

【0109】

ところで、遊技制御基板101や演出制御基板102等は、機種変更の際には交換が必要となるため、その際には本体から取り外される。遊技制御基板101を取り外す際には各種遊技用電子部品(1枚BETスイッチ45、MAXBETスイッチ46、スタートスイッチ41、ストップスイッチ42L、42C、42R、投入メダルセンサ44、リールセンサ3SL、3SC、3SR、リールモータ3ML、3MC、3MR、ホッパーモータ82、払い出しセンサ81など)との接続を解除する必要があるため、故障等が発生しない限り本体から取り外して交換する必要がないのでスロットマシンの本体所定箇所に固設されている各種遊技用電子部品と遊技制御基板101とは、中継基板100、103、106、107を経由して接続されているとともに、これら基板同士及び基板と遊技用電子部品とは中継ケーブルを介して接続されている。また中継ケーブルと基板とは、中継ケーブルの端部に設けられたケーブル側コネクタと基板の配線パターンと電氣的に接続された基板側コネクタとの接続により電氣的に接続されている。

20

30

【0110】

遊技制御基板101には、電源基板100の電圧生成回路により生成された直流電圧が供給される。電源基板100から供給される直流電圧は、コンデンサからなるバックアップ電源に蓄電され、これによってRAM112の記憶状態が保持されるようになっている。バックアップ電源の供給ラインは、バックアップ電源に蓄積された電圧は、遊技制御基板101、操作部中継基板107、投入メダルセンサ44、操作部中継基板107を経由した後、遊技制御部110に供給され、遊技制御部110におけるRAM112の記憶状態が保持されるようになっている。このため、スロットマシン1に対する電力供給が遮断されている状態で、遊技制御基板101の基板側コネクタと中継ケーブルのケーブル側コネクタとの接続、中継ケーブルのケーブル側コネクタと操作部中継基板107の基板側コネクタとの接続、操作部中継基板107の基板側コネクタと中継ケーブルのケーブル側コネクタとの接続、のいずれかの接続を解除することで、バックアップ電源の供給ラインが切断され、遊技制御部110のRAM112のデータを保持できず、消失することとなる。

40

【0111】

また、この実施の形態にかかるスロットマシン1では、遊技制御基板101と遊技用電子部品との間のコネクタ接続の解除を規制することで、各種電子部品から不正に信号を取り出し、また、各種電子部品に不正に信号を入力する打ち込み器具の接続を困難としている。具体的には、遊技制御基板101の基板側コネクタと中継ケーブルのケーブル側コネ

50

クタとの接続、中継ケーブルのケーブル側コネクタと操作部中継基板 107 の基板側コネクタとの接続、操作部中継基板 107 の基板側コネクタと中継ケーブルのケーブル側コネクタとの接続についてこれらコネクタ同士の接続の解除を、コネクタ規制部材によって規制するようになっている。コネクタ規制部材は、規制解除部位を破壊しない限り取り外し不能とされており、遊技制御基板 101 と投入メダルセンサ 44 との間のコネクタ接続を解除するためには、解除規制部位を破壊しなければならず、これにより、遊技制御基板 101 と投入メダルセンサ 44 との間のコネクタ接続が 1 つでも解除されると、その痕跡が残るとともに、その痕跡を消すことが極めて困難となっている。

【0112】

また、遊技制御基板 101 は基板ケースに収容され、該基板ケースに収容された状態にスロットマシン 1 の本体に取り付けられるとともに、基板ケースを構成する上部ケースの封止片と下部ケースの封止片とを固着することにより、封止片を破壊しなければ、基板ケースを解放し、収容された遊技制御基板 101 へのアクセスを不能とすることで遊技制御基板 101 への不正を困難なものとする。もっとも、このままでは、封止片が外部に露呈するため、封止片を破壊して基板ケースを開放することが比較的容易になる。そこで、基板ケースの封止片を覆う被覆部材を取り付け、これにより基板ケースの封止片が被覆部材に被覆され、封止片に直接アクセスすることが不可能となり、封止片を破壊し、上部ケースと下部ケースとを開放して遊技制御基板 101 を取り出すのに非常に困難な作業を要することとなるため、遊技制御基板 101 を不正な基板に交換するという不正行為がされるのを防止している。

【0113】

次に、リールモータ 3ML、3MC、3MR を構成するステッピングモータについて説明する。リールモータ 3ML、3MC、3MR をそれぞれ構成するステッピングモータは、例えば、ハイブリッド型ステッピングモータであり、ステータと、これに対向するロータとで構成される。ロータは、多数の歯車状突起を有し、これに回転軸と同方向に磁化された永久磁石が組み込まれている。

【0114】

ステッピングモータは、遊技制御基板 101 の CPU 111 からパルス信号（励磁パルス）を受け、ステータの各励磁相 1 ~ 4 に順次励磁電流が流れて、これらの励磁相 1 ~ 4 が所定の順序に従って励磁されることによりロータを回転駆動させ、回転軸の回転によりリール 3L、3C、3R を回転させる。ステッピングモータを回転駆動するための制御方法としては、例えば、1 - 2 相励磁方式が適用される。1 - 2 相励磁方式は、励磁相 1 ~ 4 のうちでパルス信号を入力する励磁相を（1, 2）、（1）、（4, 1）、（4）、（3, 4）、（3）、（2, 3）、（2）、（1, 2）... と順次切り替えており、パルス信号を入力する励磁相を 1 相または 2 相とすることを交互に繰り返すものとなっている。

【0115】

このように励磁相 1 ~ 4 に励磁電流を与えるためのパルス信号を入力する度に、ステッピングモータの回転軸は、1 ステップずつ回転することとなる。ステッピングモータの回転ステップは、リールモータ 3ML、3MC、3MR のそれぞれについて RAM 112 に設けられたカウンタによりカウントされるものとなる。そして、カウントされているステッピングモータの回転ステップに応じて入力するパルス信号の励磁相をどのように切り替えればよいかが分かるものとなる。

【0116】

また、リール 3L、3C、3R の回転に伴ってリールセンサ 3SL、3SC、3SR により基準位置が検出されると、カウンタの値がクリアされるものとなる。従って、リールモータ 3ML、3MC、3MR の回転角度、すなわちリール 3L、3C、3R の図柄位置は、その回転ステップによりカウントされるカウンタの値（ステップ数）を参照すれば分かることとなる。

【0117】

10

20

30

40

50

ステッピングモータの回転を停止させる場合には、目標停止位置に合わせて詳細を後述する2相励磁制御によりロータの回転を急制動させた後、後述する3相励磁制御によりロータを停止させる。これにより、リールモータ3ML、3MC、3MRのロータと一体的に結合されているリール3L、3C、3Rの回転を停止させるものである。

【0118】

次に、設定値の変更について説明する。設定キースイッチ92をON状態としてスロットマシン1を起動すると、設定変更モードに移行し、ここでRAM112の格納領域のうち、リールモータ3ML、3MC、3MRをそれぞれ構成するステッピングモータのステップ数をカウントするカウンタと使用中スタック領域を除く全ての格納領域を初期化する。設定変更モードにおいて、設定スイッチ91により新たな設定値を設定し、スタートレバー11の操作により新たな設定値を確定させてから設定キースイッチ92をOFF状態とすると、ゲームを実行するための処理を開始させることができる。

【0119】

一方、設定キースイッチ92をOFF状態としてスロットマシン1を起動した場合は、RAM112のデータが壊れているかどうかを診断し、RAM112のデータが壊れていなかった場合、すなわち前回のスロットマシン1の電源をOFFしたときのデータが正常なままに残っている場合には、RAM112に記憶されているデータはそのままとして、前回にスロットマシン1の電源をOFFしたときの状態から、ゲームを実行するための処理を開始させることができる。ゲームを実行するための処理は、1ゲーム毎に繰り返して行われるものとなる。

【0120】

次に、可変表示装置2を構成するリール3L、3C、3Rにおける図柄配列について説明する。図4は、この実施の形態にかかるスロットマシン1において、可変表示装置2を構成するリール3L、3C、3Rに描かれた図柄の配列を示す図である。図示するように、リール3L、3C、3Rの外周部には、それぞれ「赤7」（図中、黒で表示している7）、「青7」（図中、斜線で示している7）、「白7」（図中、白抜きで表示している7）、「BAR」、「スイカ」、「チェリー」、「ベル」、「JAC」、「 」といった互いに識別可能な複数種類の図柄が、それぞれに21個ずつ所定の順序で描かれている。

【0121】

図面での都合上、これらの図柄はリール3L、3C、3R毎に縦に並べて記載されているが、実際には円筒形のリール3L、3C、3Rの外周部に描かれているものであるため、図柄の配列としては循環しており、20番の図柄と0番の図柄は隣あっている。また、例えば、20番の図柄から4コマを引き込んだ位置にある図柄というのは、3番の図柄ということになる。

【0122】

図示するように、リール3L、3C、3Rの何れについても「JAC」は、互いに5コマ以内の間隔で配置されている。「ベル」は、左のリール3Lについては6コマ間隔で配置されている箇所があるが、中と右のリール3C、3Rについては5コマ以内の間隔で配置されている。「スイカ」は、中のリール3Cについては5コマ以内の間隔で配置されているが、左のリール3Lについては0番と7番と12番の3箇所にはしか配置されていない。右のリール3Rについて、「チェリー」は、1つだけしか配置されてなく、「スイカ」同士での配置間隔は5コマ以内となっている箇所があるが、「スイカ」と「チェリー」との互いの配置間隔は7コマ以上ある。

【0123】

「赤7」、「青7」、「白7」、「BAR」は、リール3L、3C、3Rの何れについても、配置間隔が5コマより大きくなっている箇所がある（1つのリール上で1個しか配置されていないこともある）。特に左のリール3Lについては、「赤7」と「青7」、「赤7」と「BAR」の互いの配置間隔が7コマ以上となっている。中のリール3Cについては、「赤7」と「青7」、「青7」と「白7」、「白7」と「BAR」の互いの配置間隔が7コマ以上となっている。右のリール3Rについては、「赤7」と「青7」、「赤

7」と「白7」、「青7」と「BAR」の互いの配置間隔が7コマ以上となっている。

【0124】

上記スロットマシン1においては、可変表示装置2の何れかの入賞ライン上に役図柄が揃うと、入賞となる。入賞となる役の種類は、遊技状態に応じて定められている。遊技状態としては、通常遊技状態の他に、特別遊技状態としてのビッグボーナス、レギュラーボーナスと、通常遊技状態よりもリプレイ当選確率（後述するリプレイA～Cの当選確率の合計）が高くなるRTとしての特別RT、レアRT1、レアRT2、有利RT、不利RTとがある。ビッグボーナス中でレギュラーボーナスが提供される場合を除いて、複数種類の遊技状態に同時に制御されることはなく、新たな遊技状態が開始されれば、これまで制御されていた遊技状態は終了となる。なお、遊技状態の遷移については、後ほど詳しく説明する。

10

【0125】

また、入賞となる役の種類には、大きく分けて、特別遊技状態への移行を伴う特別役（ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）、レギュラーボーナス）と、メダルの払い出しを伴う小役（スイカ、ベル、チェリー）と、賭け数の設定を必要とせずに次のゲームを開始可能となる再遊技役（リプレイA、リプレイB、リプレイC）とがある。図5（a）は、このスロットマシン1において入賞となる役の種類と可変表示装置2における図柄の組み合わせを説明する図である。

【0126】

ビッグボーナス（A）は、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス以外の遊技状態において何れかの入賞ラインに「赤7 - 赤7 - 赤7」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。ビッグボーナス（B）は、ビッグボーナス以外の遊技状態において「青7 - 青7 - 青7」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。ビッグボーナス（C）は、ビッグボーナス以外の遊技状態において何れかの入賞ラインに「白7 - 白7 - 白7」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）またはビッグボーナス（C）に入賞すると、遊技状態がビッグボーナスに移行する。

20

【0127】

レギュラーボーナスは、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス以外の遊技状態において何れかの入賞ラインに「BAR - BAR - BAR」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。レギュラーボーナス入賞すると、遊技状態がレギュラーボーナスに移行する。レギュラーボーナスでは、小役（特にベル）の当選確率が他の遊技状態に比べて高くなる。

30

【0128】

レギュラーボーナスは、12ゲームを消化したとき、または8ゲーム入賞（役の種類は、いずれでも可）したときの何れか早いほうで終了する。ビッグボーナスにおいては、メダルの払い出し枚数が465枚を越えるまで、レギュラーボーナスが繰り返して提供される（ビッグボーナス中の各ゲームの開始時（内部抽選を行う前）にレギュラーボーナスに制御されているかどうかをチェックし、レギュラーボーナスに制御されていないければ、レギュラーボーナスに制御する）。

【0129】

なお、後述する内部抽選においてビッグボーナス（A）～（C）、或いはレギュラーボーナスに当選していても、リール3L、3C、3Rについて「赤7」、「青7」、「白7」、「BAR」が必ずしも必ずしも5コマ以内の間隔で配置されている訳ではないので、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順によってはこれらの役に入賞しない場合がある。もっとも、ビッグボーナス（A）～（C）、或いはレギュラーボーナスの当選は、入賞するまで持ち越される。

40

【0130】

スイカは、何れの遊技状態においても何れかの入賞ラインに「スイカ - スイカ - スイカ」の組み合わせが揃ったときに入賞となり、8枚のメダルが払い出される。リール3L、3Rについて「スイカ」が必ずしも5コマ以内の間隔で配置されている訳ではないので、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順によってはスイカに入賞しない場合がある

50

。小役であるスイカの当選は、入賞しなくても持ち越されない。

【 0 1 3 1 】

ベルは、何れの遊技状態においても何れかの入賞ラインに「ベル - ベル - ベル」の組み合わせが揃ったときに入賞となり、15枚のメダルが払い出される。リール3Lについて「ベル」の配置間隔は最大で6コマであるものの、リール3C、3Rについて「ベル」が5コマ以内の間隔で配置されているため、左のリール3Lを3番目に操作する場合を除いて、ベルに当選しているときには停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順に関わらずにベルに入賞する（但し、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスに当選しているときに、これらの役の入賞を優先してリール制御を行うことで、ベルを取りこぼすことがある）。

10

【 0 1 3 2 】

チェリーは、何れの遊技状態においても右のリール3Rについて何れかの入賞ラインに「チェリー」の図柄が導出されたときに入賞となり、1入賞ラインについて2枚のメダルが払い出される。チェリーに入賞したときには、1入賞ライン当たりで2枚のメダルの払い出しとなるが、チェリーに入賞するときには必ず右のリール3Rの上段または下段に「チェリー」が停止されるので、合計4枚のメダルが払い出されることとなる。

【 0 1 3 3 】

右のリール3Rについて「チェリー」は、7コマ以内の間隔で配置されている訳ではないので、停止ボタン12Rの操作タイミングによってはチェリーに当選していても入賞しないことがある。また、詳細を後述するように、チェリーに当選しているときには、右のリール3Rに「チェリー」を停止させることができるか否かに関わらず、停止ボタン12Lの操作タイミングによって左のリール3Lに「チェリー」が停止されることがある。ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかに当選しているときも、左のリール3Lに「チェリー」が停止されることがある。

20

【 0 1 3 4 】

リプレイAは、何れかの入賞ラインに「JAC - JAC - JAC」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。リプレイBは、何れかの入賞ラインに「JAC - JAC - ベル」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。リプレイCは、何れかの入賞ラインに「JAC - ベル - JAC」の組み合わせが揃ったときに入賞となる。なお、リプレイA～Cをまとめて、単に「リプレイ」と呼ぶ場合がある。

30

【 0 1 3 5 】

リプレイに入賞したときには、メダルの払い出しはないが次のゲームを改めて賭け数を設定することなく開始できる。レギュラーボーナス（ビッグボーナス中に提供された場合を含む）では、リプレイA～Cの何れにも入賞することはないが、他の遊技状態では、詳細を後述するように、遊技状態毎に抽選対象となるリプレイの種類が定められている。例えば、リプレイAは、特別RT以外で入賞し得るが、リプレイCは、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスとの同時当選の場合を除いて、不利RTでしか入賞し得ない。

【 0 1 3 6 】

リール3L、3C、3Rについての「JAC」、リール3C、3Rについての「ベル」は、5コマ以内の間隔で配置されているため、内部抽選においてリプレイA、リプレイBまたはリプレイCに当選しているときには、必ずこれらの役に入賞する。また、リプレイA、リプレイB及びリプレイCは、当選時において他の如何なる役よりも優先して入賞するようにリール制御が行われるため、リプレイA、リプレイBまたはリプレイCに当選しているときには、さらに他の役に当選（ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの当選の持ち越しを含む）していても、必ずこれらの役に入賞する。

40

【 0 1 3 7 】

ビッグボーナス及びレギュラーボーナス以外の遊技状態のうちでゲーム数の制限がない通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2においてスイカまたはチェリーに入賞すると、有利RTに遊技状態が制御される。有利RTは、ビッグボーナス（A）～（

50

C)、レギュラーボーナス、またはリプレイBの入賞によって終了させられる場合の他、200ゲームを消化するまで制御される。既に有利RTに制御されているときにスイカまたはチェリーに入賞しても、改めて有利RTに制御されることはなく、これまでの有利RTがそのまま継続するだけである。ゲーム数に制限のある不利RTにおいてスイカまたはチェリーに入賞しても、ゲーム数に制限のある有利RTには制御されない。

【0138】

ビッグボーナス及びレギュラーボーナス以外の遊技状態のうちでゲーム数の制限がない通常遊技状態、レアRT1またはレアRT2においてリプレイAに入賞すると(特別RTもゲーム数の制限がないが、リプレイAが抽選対象とならない)、不利RTに遊技状態が制御される。不利RTは、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナス、リプレイB、またはリプレイCの入賞によって終了させられる場合の他、300ゲームを消化するまで制御される。既に不利RTに制御されているときにリプレイAに入賞しても、改めて不利RTに制御されることはなく、これまでの不利RTがそのまま継続するだけである。ゲーム数の制限のある有利RTにおいてリプレイAに入賞しても、ゲーム数に制限のある不利RTには制御されない。

10

【0139】

また、不利RTにおいてリプレイBに入賞すると、レアRT1に遊技状態が制御される。ビッグボーナス、レギュラーボーナス及び不利RT以外の遊技状態では、リプレイBに入賞するのがビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスとの同時当選となる場合だけであり、リプレイBに入賞してもレアRTに遊技状態が制御されることはない。また、不利RTにおいてリプレイCに入賞すると、レアRT2に遊技状態が制御される。既にレアRT2に制御されている場合は、当該レアRT2がそのまま継続するだけである。通常遊技状態、特別RT、レアRT1及び有利RTは、リプレイCを抽選対象としないので、レアRT2には、不利RTにおいてリプレイCに入賞した場合にのみ制御される。

20

【0140】

ビッグボーナスの遊技状態が終了した後に制御される特別RTで15ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される。レギュラーボーナス(ビッグボーナス中に提供されたものを含まず)が終了した後は、特別RTを介することなく通常遊技状態に制御される。また、有利RT、不利RTが、それぞれの規定ゲーム数(200ゲーム、300ゲーム)を消化することにより終了したときには、通常遊技状態に制御される。

30

【0141】

以下、内部抽選について説明する。内部抽選は、上記した各役への入賞を許容するかどうかを、可変表示装置2の表示結果が導出表示される以前に(実際には、スタートレバー11の操作時)、決定するものである。内部抽選では、乱数発生回路115から内部抽選用の乱数(0~65535の整数)が取得される。そして、遊技状態に応じて定められた各役について、取得した内部抽選用の乱数と、遊技者が設定した賭け数と、設定スイッチ91により設定された設定値に応じて定められた各役の判定値数に応じて行われる。内部抽選における当選は、排他的なものである。

【0142】

内部抽選では、各役について遊技状態及び設定値毎に登録されている判定値数を、内部抽選用の乱数に順次加算し、加算の結果がオーバーフローしたときに、その対象となっている役に当選したものと判定される。当選と判定されると、当該役の当選フラグがRAM112に設定される。判定値数は、ROM113に遊技状態別当選役テーブルに登録されている。内部抽選の結果に応じて設定された当選フラグのうち、特別役の当選フラグは、入賞するまで次のゲーム以降に持ち越される。また、各種小役、再遊技役の当選フラグは、入賞したか否かに関わらずに、当該ゲーム限りで消去される。

40

【0143】

図5(b)は、遊技状態別当選役テーブルを示す図である。遊技状態別当選役テーブルは、ROM113に予め格納され、内部抽選において遊技状態毎に各抽選対象となる役の

50

判定値数を登録したテーブルである。ここでは、所定の設定値のものだけを示しているが、設定値の違いに応じて微妙に異なる値が登録されている（設定値 1 ～ 6 のうちでは、設定値 1 が最も判定値数が小さく、設定値 6 が最も判定値数が大きい（但し、設定値に関わらずに同じ判定値数となっている役もある））。内部抽選においては、複数の役が同時に抽選対象となる場合もある。

【 0 1 4 4 】

この遊技状態別当選役テーブルに従って、内部抽選では、ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（A）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（A）+ リプレイ B、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（B）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（B）+ リプレイ B、ビッグボーナス（C）、ビッグボーナス（C）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（C）+ リプレイ B、レギュラーボーナス、レギュラーボーナス + スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + リプレイ B、スイカ、ベル、チェリー、リプレイ A、リプレイ B、リプレイ C の判定値数が順番に遊技状態に応じて取得される。

10

【 0 1 4 5 】

もっとも、レギュラーボーナス（ビッグボーナス中に提供されるものを含む）に対しては、ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（A）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（A）+ リプレイ B、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（B）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（B）+ リプレイ B、ビッグボーナス（C）、ビッグボーナス（C）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（C）+ リプレイ B、レギュラーボーナス、レギュラーボーナス + スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + リプレイ B の判定値数として 0 が登録されているため、これらの役に当選することはない。

20

【 0 1 4 6 】

また、ビッグボーナス及びレギュラーボーナス以外の遊技状態では、ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）、レギュラーボーナスが抽選の対象となるが、前回以前のゲームでビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）またはレギュラーボーナスに当選し、その当選フラグが持ち越されているゲームでは、ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）またはレギュラーボーナスの当選となることはない。

【 0 1 4 7 】

前回以前のゲームからビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）またはビッグボーナス（C）の当選が持ち越されている状態でビッグボーナス（A）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（A）+ リプレイ B、ビッグボーナス（B）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（B）+ リプレイ B、ビッグボーナス（C）+ スイカ + チェリー、ビッグボーナス（C）+ リプレイ B、レギュラーボーナス + スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + リプレイ B 判定値数を加算したときにオーバーフローしたときは、スイカ + チェリーまたはリプレイ B のみの当選となる（ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの当選は、そのまま持ち越し）。

30

【 0 1 4 8 】

ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）またはレギュラーボーナスの当選が持ち越されている状態で、スイカ + チェリー（同時に抽選対象となるビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスについては当選と判定されない）、スイカ、ベル、チェリー、リプレイ A、リプレイ B、またはリプレイ C に当選したときには、これらの役の当選フラグが、ビッグボーナス（A）、ビッグボーナス（B）、ビッグボーナス（C）またはレギュラーボーナスの当選フラグに重ねて設定されるものとなる。

40

【 0 1 4 9 】

各種小役の判定値数について説明すると、レギュラーボーナスにおいてベルの判定値数が 5 8 2 1 0 と他の遊技状態の 1 0 2 5 4 よりも極めて高い値となっており、また、レギュラーボーナス毎にビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスとの同時当選となるスイカ + チェリーの判定値数が 0 となっているのを除いて、何れの遊技状態においても変わりがない。

50

【 0 1 5 0 】

ビッグボーナス（Ａ）＋スイカ＋チェリー、ビッグボーナス（Ｂ）＋スイカ＋チェリー、ビッグボーナス（Ｃ）＋スイカ＋チェリー、レギュラーボーナス＋スイカ＋チェリーの判定値数がそれぞれ 21、スイカの判定値数が 6699、チェリーの判定値数が 620 であるので、 $(21 \times 4 + 6699 + 620) / 65536 = 1 / 8.85$ の確率でスイカおよび／またはチェリーに当選する（もっとも、スイカ、チェリーは、取りこぼしのある役なので、当選したからといって必ずしも入賞するとは限らない）。

【 0 1 5 1 】

リプレイの単独当選についての判定値数について説明すると、通常遊技状態では、リプレイＡの判定値数として 8916 が登録され、リプレイＢ、Ｃの判定値数として 0 が登録されている。つまり、通常遊技状態では、 $8916 / 65536 = 1 / 7.35$ の確率で不利ＲＴに遊技状態を制御させるリプレイＡに当選する（当選＝入賞となる）。特別ＲＴでは、リプレイＢの判定値数として 8917 が登録され、リプレイＡ、Ｃの判定値数として 0 が登録されている。つまり、特別ＲＴでは、不利ＲＴに遊技状態を制御させるリプレイＡには当選しない。

【 0 1 5 2 】

レアＲＴ１では、リプレイＡの判定値数として 8917 が登録され、リプレイＢ、Ｃの判定値数として 0 が登録されている。つまり、レアＲＴ１では、通常遊技状態とほぼ同じ $8917 / 65536 = 1 / 7.35$ の確率で不利ＲＴに遊技状態を制御させるリプレイＡに当選する（当選＝入賞となる）。一方、レアＲＴ２では、リプレイＡの判定値数として 1982 が登録され、リプレイＣの判定値数として 6934 が登録され、リプレイＢの判定値数として 0 が登録されている。つまり、レアＲＴ２では、不利ＲＴに遊技状態を制御させるリプレイＡには $1982 / 65536 = 1 / 33.1$ の確率でしか当選しない。

【 0 1 5 3 】

不利ＲＴでは、リプレイＡの判定値数として 8775 が登録され、リプレイＢの判定値数として 88 が登録され、リプレイＣの判定値数として 54 が登録されている。ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスとの同時当選の場合を含めると、リプレイＢの判定値数の合計は $88 + 19 \times 4 = 164$ ということになる。不利ＲＴからはリプレイＡに入賞しても有利ＲＴに制御されることはないものの、 $164 / 65536 = 1 / 399.6$ の確率でレアＲＴ１に遊技状態を制御させるリプレイＢに当選し、 $54 / 65536 = 1 / 1213.6$ の確率でレアＲＴ２に遊技状態を制御させるリプレイＣに当選する。

【 0 1 5 4 】

また、不利ＲＴ以外ではリプレイＢの単独当選の判定値としては 0 が登録されているものの、ビッグボーナス（Ａ）、ビッグボーナス（Ｂ）、ビッグボーナス（Ｃ）またはレギュラーボーナスと同時当選となる判定値数として、それぞれ 19 が登録されている。従って、不利ＲＴ以外からも $(19 \times 4) / 65536 = 1 / 862.3$ の確率でリプレイＢに当選する（当選＝入賞となる）が、この場合は、必ずビッグボーナス（Ａ）、ビッグボーナス（Ｂ）、ビッグボーナス（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選していることとなる。不利ＲＴでリプレイＢに入賞した場合でも、そのうちの $(19 \times 4) / 164 = 1 / 2.16$ の確率でビッグボーナス（Ａ）、ビッグボーナス（Ｂ）、ビッグボーナス（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選していることとなる。

【 0 1 5 5 】

また、リプレイの判定値数の合計数は、通常遊技状態では 8992、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２及び不利ＲＴでは 8993、有利ＲＴでは 50605 となっている。何れかの種類のリプレイに当選する確率は、有利ＲＴ以外においてはおよそ $1 / 7.29$ 、有利ＲＴではおよそ $1 / 1.30$ となっている。

【 0 1 5 6 】

このようにリプレイの合計当選確率が設定されることで、有利ＲＴ以外の遊技状態ではメダルの払出率が 1 よりもかなり小さい（すなわち、賭け数の設定のために投入するメダ

10

20

30

40

50

ルの数に対して内部抽選で当選する小役に対して払い出されることとなるメダルの方
が小さい)が、有利 R T ではメダルの払出率が 1 よりもかなり大きくなる(すなわち、賭
け数の設定のために投入するメダルの数に対して内部抽選で当選する小役に対して払い出
されることとなるメダルの数の方が大きい)。もっとも、ビッグボーナスやレギュラーボ
ーナスにおけるメダルの払出率は、有利 R T よりもさらに大きい。この遊技状態毎のメダ
ルの払出率の関係は、何れの設定値でも同じである。

【0157】

次に、この実施の形態にかかるスロットマシン 1 における遊技状態の遷移について詳し
く説明する。図 6 は、スロットマシン 1 における遊技状態の遷移図である。スロットマシ
ン 1 においては、有利 R T にも不利 R T にも移行可能な初期遊技状態としての通常遊技状
態、特別 R T、レア R T 1 及びレア R T 2 があり、また、特別遊技状態としてのビッグボ
ーナス及びレギュラーボーナスがある。また、図 6 においては区分していないが、上記区
分の各遊技状態のうちでビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスに当選して
いる状態は、当選していない状態とは別の遊技状態として考えられる。

10

【0158】

通常遊技状態は、ゲーム数の制限なく制御される遊技状態であり、通常遊技状態におい
てビッグボーナス(A)~(C)の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボ
ーナスに入賞するとレギュラーボーナスに、スイカまたはチェリーに入賞すると有利 R T
に、リプレイ A に入賞すると不利 R T に遊技状態が制御される。リプレイ B に入賞しても
、必ずビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスとの同時当選となっているので、
レア R T 1 に制御されることはない。また、通常遊技状態ではリプレイ C に入賞し得
ないので、通常遊技状態からレア R T 2 に制御されることはない。

20

【0159】

特別 R T は、ゲーム数の制限なく制御される遊技状態であり、特別 R T においてビッグ
ボーナス(A)~(C)の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボーナスに
入賞するとレギュラーボーナスに、スイカまたはチェリーに入賞すると有利 R T に、15
ゲームを消化すると通常遊技状態に遊技状態が制御される。リプレイ B に入賞しても、必
ずビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスとの同時当選となっているので、
レア R T 1 に制御されることはない。また、特別 R T ではリプレイ A、リプレイ C に入賞
し得ないので、特別 R T から不利 R T、レア R T 2 に制御されることはない。

30

【0160】

レア R T 1 は、ゲーム数の制限なく制御される遊技状態であり、レア R T 1 においてビ
ッグボーナス(A)~(C)の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボ
ーナスに入賞するとレギュラーボーナスに、スイカまたはチェリーに入賞すると有利 R T に、
リプレイ A に入賞すると不利 R T に制御される。レア R T 1 においてリプレイ B に入賞
(但し、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスとの同時当選のみ)しても、
そのままレア R T 1 が継続されるだけである。

【0161】

レア R T 2 は、ゲーム数の制限なく制御される遊技状態であり、レア R T 2 においてビ
ッグボーナス(A)~(C)の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボ
ーナスに入賞するとレギュラーボーナスに、スイカまたはチェリーに入賞すると有利 R T に、
リプレイ A に入賞すると不利 R T に遊技状態が制御される。リプレイ B に入賞しても、必
ずビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスとの同時当選となっているので、
レア R T 1 に制御されることはない。また、レア R T 2 においてリプレイ C に入賞しても
、そのままレア R T 2 が継続されるだけである。

40

【0162】

有利 R T は、200 ゲームを限度として制御される遊技状態であり、有利 R T において
ビッグボーナス(A)~(C)の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボ
ーナスに入賞するとレギュラーボーナスに遊技状態が制御される。リプレイ B に入賞しても
、必ずビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスとの同時当選となっているの

50

で、レア R T 1 に制御されることはない。また、これらの役に入賞することなく有利 R T において 2 0 0 ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される。

【 0 1 6 3 】

また、有利 R T ではリプレイ C に入賞し得ないので、有利 R T からレア R T 2 に制御されることはない。有利 R T においてスイカまたはチェリーに入賞しても、改めて最初から有利 R T に制御されるのではなく、これまでの有利 R T がそのまま継続するだけである。有利 R T においてリプレイ A に入賞しても、不利 R T もゲーム数に制限のある遊技状態であるため、不利 R T に制御されることはない。

【 0 1 6 4 】

不利 R T は、3 0 0 ゲームを限度として制御される遊技状態であり、不利 R T においてビッグボーナス (A) ~ (C) の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボーナスに入賞するとレギュラーボーナスに、リプレイ B に入賞するとレア R T 1 に、リプレイ C に入賞するとレア R T 2 に遊技状態が制御される。これらの役に入賞することなく不利 R T において 3 0 0 ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される。

【 0 1 6 5 】

また、不利 R T においてリプレイ A に入賞しても、改めて最初から不利 R T に制御されるのではなく、これまでの不利 R T がそのまま継続するだけである。不利 R T においてスイカまたはチェリーに入賞しても、有利 R T もゲーム数に制限のある遊技状態であるため、有利 R T に制御されることはない。

【 0 1 6 6 】

ビッグボーナスは、メダルの払い出し総数が 4 6 5 枚を越えるまで制御される遊技状態であり、メダルの払い出し総数が 4 6 5 枚を越えると、特別 R T に遊技状態が制御される。レギュラーボーナスは、8 ゲームの入賞または 1 2 ゲームの消化まで制御される遊技状態であり、8 ゲームに入賞または 1 2 ゲームを消化すると、通常遊技状態に遊技状態が制御される。

【 0 1 6 7 】

次に、リール 3 L、3 C、3 R の停止制御について説明する。可変表示装置 2 を構成するリール 3 L、3 C、3 R は、スタートレバー 1 1 が操作され、且つ前回のゲームにおけるリール 3 L、3 C、3 R の回転開始から所定時間を経過していることを条件に、回転開始される。そして、遊技者によって停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R が操作されると、対応するリール 3 L、3 C、3 R の回転が停止されるものとなる。

【 0 1 6 8 】

リール 3 L、3 C、3 R の回転停止は、対応する停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作から 1 9 0 ミリ秒の最大停止遅延時間の範囲内で当選フラグの設定されている役の図柄を入賞ライン上に揃えるように、また、1 9 0 ミリ秒の最大停止遅延時間の範囲内で当選フラグの設定されていない役の図柄を入賞ライン上に揃えないように制御される。

【 0 1 6 9 】

ここで、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかの当選フラグが持ち越された状態でリプレイ A に当選することによってリプレイ A 当選フラグも重複して設定されているときには、リプレイ A の図柄を優先して入賞ライン上に揃えるように制御される。停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作手順に関わらずに、リプレイ A に入賞するので、この場合においてビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスに入賞することはない。

【 0 1 7 0 】

ビッグボーナス (A) ~ (C) の何れかの当選フラグが持ち越された状態でリプレイ B に当選すること、或いはビッグボーナス (A) ~ (C) の何れかとリプレイ B に同時当選することによって、ビッグボーナス (A) ~ (C) の何れかの当選フラグと重複してリプレイ B 当選フラグが設定されている場合も、リプレイ B の図柄を優先して、停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作手順に関わらずに、リプレイ B に入賞するものとしている。リプレイ C についても、同様にビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスに優

先して入賞させられる。

【0171】

なお、リプレイA～リプレイCに必ず入賞してビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスに入賞することがないのは、リプレイA～リプレイCに優先して入賞させる停止制御を行うと、リール3L、3C、3Rにおける「JAC」、リール3Rにおける「ベル」の配列ではリプレイA～リプレイCを取りこぼすことがないからそうになっているのであって、リプレイA～リプレイCを優先して入賞させる停止制御がリプレイA～リプレイCを取りこぼさない停止制御ということの意味するのではない。例えば、図4と異なり、左、中、右のリール3L、3C、3Rについて「JAC」、中と右のリール3C、3Rについて「ベル」の図柄間隔が5コマよりも大きくなっている配列であれば、リプレイA～リプレイCを優先して入賞させる停止制御でもリプレイA～リプレイCを取りこぼすことは生じ得る。

10

【0172】

また、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかの当選フラグが持ち越された状態でスイカまたはベルに当選することによって、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかの当選フラグとスイカまたはベルの当選フラグとが重複して設定されている場合には、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順に応じてビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスのうちの当選しているものへの入賞可能性が残っているときにはビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスに入賞するようにリール3L、3C、3Rの停止制御を行い、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順によりビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの入賞が不能となったが当選しているスイカまたはベルに入賞させることができるのであれば、当選しているスイカまたはベルに入賞させるようにリール3L、3C、3Rの停止制御を行う。

20

【0173】

例えば、ビッグボーナス(A)当選フラグとスイカ当選フラグとが重複して設定されている場合において、左から右の順で停止ボタン12L、12C、12Rが操作されるものとする、左の停止ボタン12Lの操作タイミングが左のリール3Lについて10番～18番の図柄が下段に位置するタイミングであれば、16番および/または18番の「赤7」を左のリール3Lに停止させる。これ以外のタイミングでは「赤7」を停止させることができないが、0番、7番または12番の「スイカ」を停止させることができるので、「スイカ」を停止させる。左のリール3Lについて「赤7」と「スイカ」が同時に停止される場合はない。

30

【0174】

左のリール3Lについて、例えば、16番の「赤7」が下段に停止されている場合において、中の停止ボタン12Cが中のリール3Cについて12番～17番の図柄が下段に位置するタイミングで操作されたのであれば、18番の「赤7」を上段または中段に停止させる。中の停止ボタン12Cがそれ以外のタイミングで操作されたのであれば、「赤7」をテンパイさせることができず、左のリール3Lに「スイカ」も停止されていないので、ここで何れの役にも入賞する可能性がなくなる。一方、左のリール3Lについて、例えば、「スイカ」が停止されていれば、当該「スイカ」の停止している入賞ラインに中のリール3Cの何れかの「スイカ」を引き込んでテンパイさせる。

40

【0175】

左と中のリール3L、3Cについて、例えば、「赤7」が右下がりの対角線方向の入賞ラインにテンパイしている場合において、右の停止ボタン12Rが右のリール3Rについて14番～18番の図柄が下段に位置するタイミングで操作されたのであれば、18番の「赤7」を下段に停止させて、ビッグボーナス(A)に入賞させる。右の停止ボタン12Rがそれ以外のタイミングで操作されたのであれば、何れの役にも入賞しない。

【0176】

一方、左と中のリール3L、3Cについて、例えば、「スイカ」が右下がりの対角線方向の入賞ラインにテンパイしている場合においては、右の停止ボタン12Rが右のリール

50

3 R について 6 番 ~ 15 番の図柄が下段に位置するタイミングで操作されたのであれば、10 番、13 番または 15 番の「スイカ」を下段に停止させて、スイカに入賞させる。右の停止ボタン 12 R がそれ以外のタイミングで操作されたのであれば、何れの役にも入賞しない。

【0177】

また、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスとスイカ + チェリーに同時当選した場合は、停止ボタン 12 L、12 C、12 R の操作手順に応じてビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスのうちの当選しているものへの入賞可能性が残っているときにはビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスに入賞するようにリール 3 L、3 C、3 R の停止制御を行い、停止ボタン 12 L、12 C、12 R の操作手順によりビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの入賞が不能となったがスイカに入賞させることができるのであれば、スイカに入賞させるようにリール 3 L、3 C、3 R の停止制御を行い、スイカに入賞させることもできないがチェリーに入賞させることができるのであれば、チェリーに入賞させるようにリール 3 R の停止制御を行う。

【0178】

例えば、ビッグボーナス (A) + スイカ + チェリーに当選し、ビッグボーナス (A)、スイカ及びチェリーの当選フラグが重複して設定されている場合においては、ビッグボーナス (A) とスイカの当選フラグが重複して設定されている場合と同様に停止制御を行うが、右の停止ボタン 12 R の操作タイミングによりチェリーに入賞する可能性だけがあれば、チェリーに入賞させる。

【0179】

上記の例と同様の場合、左と中のリール 3 L、3 C について、例えば、「赤 7」が右下がりの対角線方向の入賞ラインにテンパイしている場合において、右の停止ボタン 12 R が右のリール 3 R について 19 番 ~ 1 番の図柄が下段に位置するタイミングで操作されたのであれば、1 番の「チェリー」を上段または下段に停止させて、2 つの入賞ラインでチェリーに入賞させる。「スイカ」が右下がりの対角線方向の入賞ラインにテンパイしている場合においては、右の停止ボタン 12 R が右のリール 3 R について 16 番 ~ 1 番の図柄が下段に位置するタイミングで操作されたのであれば、1 番の「チェリー」を上段または下段に停止させて、2 つの入賞ラインでチェリーに入賞させる。

【0180】

また、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかの当選フラグが持ち越された状態でチェリーに当選することによって、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかの当選フラグとチェリー当選フラグとが重複して設定されている場合には、停止ボタン 12 L、12 C、12 R の操作手順に応じてビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスのうちの当選しているものへの入賞可能性が残っているときにはビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスに入賞するようにリール 3 L、3 C、3 R の停止制御を行い、停止ボタン 12 L、12 C、12 R の操作手順によりビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの入賞が不能となったがチェリーに入賞させることができるのであれば、チェリーに入賞させるようにリール 3 R の停止制御を行う。

【0181】

チェリーは、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかと同時当選することが可能な小役 (スイカとも同時当選となる) であって、右のリール 3 R に「チェリー」が導出されるだけで入賞となる小役である。チェリーに当選しているときには、左の停止ボタン 12 L の操作タイミングが左のリール 3 L に「チェリー」を停止できるタイミング、すなわち左のリール 3 L の下段に 4 番 ~ 17 番の図柄が位置するタイミングであると、左のリール 3 L の上段または下段に「チェリー」が停止されるものとなっている。

【0182】

また、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかに当選しているとき (チェリーを含む他の役に当選しているときを含む) にも、停止ボタン 12 L の操作タ

10

20

30

40

50

イメージにより左のリール 3 L の上段または下段に「チェリー」が停止されることがある。チェリーにも当選せず、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れにも当選していないときには、左のリール 3 L に「チェリー」が停止されることはない。もっとも、左のリール 3 L に「チェリー」を停止させることよりも、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの当選しているものの図柄、或いは他に当選しているものの図柄を左のリール 3 L に停止させることの方が優先される。但し、当選している役の図柄を導出できる限りにおいて、可能な限り「チェリー」も左のリール 3 L に停止されるものとなる。

【0183】

例えば、ビッグボーナス (C) に当選しているときにおいて左のリール 3 L の下段に 17 番の「チェリー」が位置するタイミングで停止ボタン 12 L が 1 番目に操作された場合、4 コマの引き込み範囲で 1 番の「白 7」を引き込めるので、17 番の「チェリー」が下段に停止されることはない。また、ビッグボーナス (B) に当選しているときにおいて左のリール 3 L の下段に 7 番の図柄が位置するタイミングで停止ボタン 12 L が 1 番目に操作された場合は、1 コマまたは 2 コマの引き込みで左のリールの中段と上段、または下段と中段に、それぞれ「青 7」、「チェリー」を停止させるものとなる。

10

【0184】

また、この実施の形態にかかるスロットマシン 1 では、停止ボタン 12 L、12 C、12 R の操作手順によっては取りこぼしが生じる役に当選しているときにおいて、先に停止したリールに導出された図柄で当該当選している役への入賞の可能性がなくなっても、残りのリールを停止させるときには、可能な限り当選している役の図柄を引き込む制御を行う。

20

【0185】

例えば、スイカに単独で当選しているときに停止ボタン 12 L、12 C、12 R が左から右に順次操作されたものとした場合、1 番目に操作した停止ボタン 12 L の操作タイミングが左のリール 3 L の下段に 13 番または 14 番の図柄が位置するタイミングであると、左のリール 3 L には「スイカ」が停止されない。この時点でスイカに入賞する可能性は、全くなってしまう。

【0186】

スイカに入賞する可能性がなくなっても、4 コマの引き込み範囲で可能な限り「スイカ」を引き込み、例えば、2 番目に中の停止ボタン 12 C を操作したときに、リール 3 C について「スイカ」を中段の何れかに停止させる。最後に操作される停止ボタン 12 R の操作タイミングが右のリール 3 R の下段に 6 番 ~ 15 番の図柄が位置するタイミングであれば、右のリール 3 R の上中下段の何れかに「スイカ」を停止させる。

30

【0187】

なお、上記のリール 3 L、3 C、3 R の停止制御は、遊技状態及び当選フラグの設定状況 (及び既に停止しているリールに導出された図柄) に応じて未だ停止していないリールの停止操作位置と停止位置との関係を定めた停止制御テーブルを未停止のリールについて予め作成し、停止ボタン 12 L、12 C、12 R がそれぞれ操作されたときに、予め作成された停止制御テーブルを参照して、対応するリールの回転を停止させるものとしている。なお、停止制御テーブルでは、停止操作位置に対して停止位置が一意に定められている。

40

【0188】

この実施の形態にかかるスロットマシン 1 では、上記したようにリール 3 L、3 C、3 R の停止制御が行われるが、ボーナスへの移行を伴う特別役として、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの 4 種類が用意されている。前述したように、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスのそれぞれの図柄組み合わせは、「赤 7 - 赤 7 - 赤 7」、「青 7 - 青 7 - 青 7」、「白 7 - 白 7 - 白 7」、「BAR - BAR - BAR」となっている。

【0189】

50

ここで、ビッグボーナス（Ａ）とビッグボーナス（Ｂ）について検討すると、リール３Ｌ、３Ｃ、３Ｒの何れについても「赤７」と「青７」の図柄には７コマ以上の配置間隔がある。例えば、左のリール３Ｌを例にすると、これが１番目に停止されるとしても４コマの引き込み範囲内で「赤７」を上中下段の何れかに停止させることができ、且つ「白７」を上中下段の何れかに停止させることのできる停止ボタン１２Ｌの操作タイミングはない。従って、ビッグボーナス（Ａ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とビッグボーナス（Ｂ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とは排他的なものとなる。

【０１９０】

ビッグボーナス（Ａ）とビッグボーナス（Ｃ）について検討すると、左と中のリール３Ｌ、３Ｃについては「赤７」と「白７」の配置間隔が７コマよりも小さくなっている箇所があるが、右のリール３Ｒについては、「赤７」と「白７」の図柄には７コマ以上の配置間隔があるので、ビッグボーナス（Ａ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とビッグボーナス（Ｃ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とも排他的なものとなる。

【０１９１】

ビッグボーナス（Ｂ）とビッグボーナス（Ｃ）について検討すると、右のリール３Ｒについては「青７」と「白７」の配置間隔が７コマよりも小さくなっている箇所があるが、左と中のリール３Ｌ、３Ｃについては「青７」と「白７」の図柄には７コマ以上の配置間隔がある。従って、ビッグボーナス（Ｂ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とビッグボーナス（Ｃ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とも排他的なものとなる。

【０１９２】

ビッグボーナス（Ａ）とレギュラーボーナスについて検討すると、中と右のリール３Ｃ、３Ｒについては「赤７」と「ＢＡＲ」の配置間隔が７コマよりも小さくなっている箇所があるが、左のリール３Ｌについては「赤７」と「ＢＡＲ」の図柄には７コマ以上の配置間隔がある。従って、ビッグボーナス（Ａ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とレギュラーボーナスに入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とも排他的なものとなる。

【０１９３】

ビッグボーナス（Ｂ）とレギュラーボーナスについて検討すると、左と中のリール３Ｌ、３Ｃについては「青７」と「ＢＡＲ」の配置間隔が７コマよりも小さくなっている箇所があるが、右のリール３Ｒについては「青７」と「ＢＡＲ」の図柄には７コマ以上の配置間隔がある。従って、ビッグボーナス（Ｂ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とレギュラーボーナスに入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とも排他的なものとなる。

【０１９４】

ビッグボーナス（Ｃ）とレギュラーボーナスについて検討すると、左と右のリール３Ｌ、３Ｒについては「白７」と「ＢＡＲ」の配置間隔が７コマよりも小さくなっている箇所があるが、中のリール３Ｃについては「白７」と「ＢＡＲ」の図柄には７コマ以上の配置間隔がある。従って、ビッグボーナス（Ｃ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とレギュラーボーナスに入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とも排他的なものとなる。

【０１９５】

つまり、ビッグボーナス（Ａ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順と、ビッグボーナス（Ｂ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順と、ビッグボーナス（Ｃ）に入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順と、レギュラーボーナスに入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順とは、互いに排他的なものとなっている。従って、ビッグボーナス（Ａ）に入賞可能な操作手順で停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒを操作してハズレとな

った、または小役に入賞したとしても、ビッグボーナス（Ａ）には当選していないことが分かるのみで、ビッグボーナス（Ｂ）、（Ｃ）、レギュラーボーナスに当選しているか否かは分からない。

【０１９６】

次のゲームでビッグボーナス（Ｂ）に入賞可能な操作手順で停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒを操作してハズレとなった、または小役に入賞したとしても、ビッグボーナス（Ｂ）にも当選していないことが分かるのみで、ビッグボーナス（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選しているか否かは依然として分からない。さらに次のゲームでビッグボーナス（Ｃ）に入賞可能な操作手順で停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒを操作してハズレとなった、または小役に入賞したとしても、ビッグボーナス（Ｃ）にも当選していないことが分かるのみで、レギュラーボーナスに当選しているか否かは依然として分からない。さらに次のゲームでレギュラーボーナスに入賞可能な操作手順で停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒを操作してハズレとなった、または小役に入賞したときに、レギュラーボーナスにも当選していないということが分かる。

10

【０１９７】

このように４種類のビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスのそれぞれに入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順が排他的なものであることから、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れにも当選していないことが分かる（最初にビッグボーナス（Ａ）を狙ったゲームよりも後からビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）に当選することはあるが、確率的に低いのでこれを無視して考える）までには４ゲームを要することとなる。

20

【０１９８】

一方、リプレイＡ～リプレイＣに当選しているときには、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選しているか否かに関わらず、停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順に関わらずに、必ずリプレイＡ～リプレイＣに入賞することとなる。従って、リプレイＡ～リプレイＣに入賞したゲームでは、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに入賞可能な操作手順で停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒを操作していたとしても、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスに当選しているかどうかは分かることはない。

【０１９９】

次に、遊技制御基板１０１から演出制御基板１０２に送信されるコマンドについて説明する。遊技制御基板１０１から演出制御基板１０２に送信されるコマンドには、少なくともＢＥＴコマンド、当選状況通知コマンド、入賞情報コマンド、及び遊技状態コマンドが含まれている。遊技制御基板１０１から演出制御基板１０２に送信されるコマンドには、これ以外のコマンドも含まれているが、本発明に直接関わるものではないため、詳細な説明を省略している。

30

【０２００】

ＢＥＴコマンドは、メダルの投入等により賭け数の設定が１増加する毎に送信される。当選状況通知コマンドは、ＲＡＭ１１２における当選フラグの設定状況を示すもので、スタートレバー１１が操作されて内部抽選が行われたときに送信される。入賞情報コマンドは、可変表示装置２の表示結果に応じて発生した入賞の種別を示すもので、可変表示装置２に表示結果が導出されて入賞判定が行われたときに送信される。入賞情報コマンドは、また、チャンス目の導出の有無に関する情報も示すものである。遊技状態コマンドは、次のゲームで適用される遊技状態と設定値を示すものであり、１ゲームの終了時において送信される。

40

【０２０１】

次に、この実施の形態にかかるスロットマシン１において、演出制御基板１０２のＣＰＵ１２１により実行される演出の処理について説明する。演出制御基板１０２のＣＰＵ１２１により実行される演出としては、液晶表示器４への画像の表示による演出、スピーカ７Ｌ、７Ｒ、７Ｕからの音声出力による演出、リールランプ３ＬＰや遊技効果ランプ７５

50

A ~ 7 5 Mといったランプ類の点灯態様の制御による演出がある。

【 0 2 0 2 】

この実施の形態にかかるスロットマシン 1 に特有の演出を行うため、演出制御基板 1 0 2 の C P U 1 2 1 は、各ゲームの当選状況及び当選状況の変化、各ゲームの遊技状態及び遊技状態の変化、小役入賞により払い出されたメダルの枚数、並びにリプレイ入賞に基づかない賭け数の設定、スロットマシン 1 において設定されている設定値を把握できなければならない。これらは、当選状況通知コマンド、遊技状態コマンド、入賞情報コマンド、B E T コマンドにより判断されるものである。

【 0 2 0 3 】

当選状況の変化と遊技状態の変化は 2 回分のゲームの当選状況、遊技状態を判断しなければならないため、当選状況通知コマンドが示す当選状況と、遊技状態コマンドが示す遊技状態とは、それぞれ最新の 2 ゲーム分のものが R A M 1 2 2 に保存されるものとなっている。また、賭け数の設定がリプレイ入賞に基づくものか否かは、B E T コマンドを受信したときに、先に受信した入賞情報コマンドが示す入賞状況 (R A M 1 2 2 に保存される) がリプレイ A ~ C の当選を示しているかどうかにより判断される。

10

【 0 2 0 4 】

スピーカ 7 L、7 R、7 U からの音声の出力による演出として、スタートレバー 1 1 を操作して 1 ゲームが開始するときに、所定の効果音を出力する演出がある。スタートレバー 1 1 の操作時における効果音の出力は、後述する R T ナビのために利用されている。また、遊技状態に応じた楽曲を継続して再生出力する演出があり、遊技状態がボーナス (ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス) に制御されているときと、有利 R T に制御されているときには、それぞれ他の遊技状態に制御されているときに再生出力される通常楽曲とは異なるボーナス中楽曲、有利 R T 中楽曲がスピーカ 7 L、7 R、7 U から再生出力される。

20

【 0 2 0 5 】

ボーナス中楽曲には、ボーナス中楽曲 A、ボーナス中楽曲 B、プレミアボーナス中楽曲の 3 種類があり、これらは、メロディーラインが異なるものであっても、メロディーラインは同じでアレンジだけが異なるだけのものであってもよい。一方、有利 R T 中楽曲には、有利 R T 中楽曲 A、有利 R T 中楽曲 B、プレミア有利 R T 中楽曲の 3 種類があり、これらも、メロディーラインが異なるものであっても、メロディーラインは同じでアレンジだけが異なるだけのものであってもよい。

30

【 0 2 0 6 】

ボーナス中に何れのボーナス中楽曲が再生出力されるか、有利 R T 中に何れの有利 R T 中楽曲が再生出力されるかは、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間における最初に有利 R T に制御されたときからのメダルの純増枚数 (小役入賞により払い出されたメダルの枚数から賭け数の設定に消費したメダルの枚数を減算した枚数 (通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 に制御されている間も算出対象 : 以下、これを純増総数と呼ぶ)) と、その間に有利 R T に制御された回数 (以下、有利 R T 連荘数と呼ぶ) によって決められる。

40

【 0 2 0 7 】

ボーナスの開始時点における純増総数が 1 0 0 0 枚以下であるときには、当該ボーナスが終了するまでボーナス中楽曲 A が再生出力され、有利 R T の開始時点における純増枚数が 1 0 0 0 枚以下であるときには、当該有利 R T が終了するまで有利 R T 中楽曲 A が再生出力される。ボーナスの開始時点における純増総数が 1 0 0 0 枚を越え、且つ有利 R T 連荘数が 5 回未満であるときには、当該ボーナスが終了するまでボーナス中楽曲 B が再生出力され、有利 R T の開始時点における純増総数が 1 0 0 0 枚を越え、且つ有利 R T 連荘数が 5 回未満であるときには、当該有利 R T が終了するまで有利 R T 中楽曲 B が再生出力される。

【 0 2 0 8 】

さらに、ボーナスの開始時点における純増総数が 1 0 0 0 枚を越え、且つ有利 R T 連荘

50

数が5回以上であるときには、当該ボーナスが終了するまでプレミアボーナス中楽曲が再生出力され、有利RTの開始時点における純増総数が1000枚を越え、且つ有利RT連荘数が5回以上であるときには、当該有利RTが終了するまでプレミア有利RT中楽曲が再生出力される。有利RT連荘数が5回以上であっても、純増総数が1000枚を越えていなければ、ボーナス中楽曲A、有利RT中楽曲Aが再生出力される。

【0209】

また、液晶表示器4への画像の表示による演出は、遊技状態がボーナスであるか否かに応じて異なる演出が行われるものとなっている。レギュラーボーナスにおいては、レギュラーボーナス中演出が行われ、ビッグボーナスにおいては、ビッグボーナス中演出が行われる。ビッグボーナス中演出は、キャラクタA、B、C、Dによる4種類のパターンがある。また、ビッグボーナス中演出において、後述するRTナビの権利(ナビ権利)を付与するためのRTナビ抽選が行われ、ナビ権利の付与の有無が遊技者に報知されるものとなる。

10

【0210】

図7は、ビッグボーナス中演出のキャラクタ選択、RTナビ抽選の契機及び当選確率、並びにナビ権利の付与の有無の報知タイミング及び報知態様の関係、並びに同時当選に基づくナビ権利の付与の報知タイミング及び報知態様の関係を示す図である。

【0211】

図示するように、スイカ+チェリーまたはリプレイBと同時当選したビッグボーナス(A)~(C)の入賞に基づいてビッグボーナスに遊技状態が制御されたときには、この同時当選によってナビ権利が遊技者に付与されるので、ビッグボーナス中演出において改めてRTナビ抽選を行うことはない。また、ビッグボーナスの開始時において遊技者がキャラクタの種類を選択することはなく、キャラクタDの画像でナビ権利の付与が遊技者に報知される。また、この場合におけるビッグボーナス演出は、キャラクタDによるパターンで行われる。

20

【0212】

一方、単独当選したビッグボーナス(A)~(C)の入賞に基づいてビッグボーナスに遊技状態が制御されたときには、ビッグボーナスの開始時においては未だナビ権利は遊技者に付与されていない。このようなビッグボーナスの開始時において、遊技者は、ビッグボーナス中演出を行うキャラクタをキャラクタA~Cの3種類のうちから停止ボタン12L、12C、12Rの何れかを操作するなどして選択する。ボーナス中演出は、遊技者が選択したキャラクタのパターンで行われるが、RTナビ抽選やナビ権利の付与の有無の報知も、選択したキャラクタによって異なるものとなっている。

30

【0213】

遊技者がキャラクタAを選択した場合には、チェリーに当選したときに当選確率1/1のRTナビ抽選を行い、これに当選すると遊技者にナビ権利を付与するものとしている(実際には、抽選の処理を行わず、チェリーの当選でナビ権利を付与するものとしてもよい)。また、RTナビ抽選の結果によりナビ権利が付与されたことは、チェリーに当選したタイミングで、キャラクタAの画像によって報知される。そもそもチェリーに当選せずにビッグボーナスが終了した場合は、ナビ権利が付与されない。ビッグボーナスの終了まで報知が行わなければ、ナビ権利が付与されなかったということになる。

40

【0214】

遊技者がキャラクタBを選択した場合には、スイカに当選したときに当選確率1/10.8のRTナビ抽選を行い、これに当選すると遊技者にナビ権利を付与するものとしている。また、RTナビ抽選の結果によりナビ権利が付与されたことは、スイカに当選したゲームが終了したタイミングで、キャラクタBの画像によって報知される。そもそもスイカに当選せずにビッグボーナスが終了した場合は、ナビ権利が付与されない。ビッグボーナスの終了までに報知が行われなければ、ナビ権利が付与されなかったということになる。

【0215】

遊技者がキャラクタCを選択した場合には、ベルに当選したときに当選確率1/93.

50

9のRTナビ抽選を行い、これに当選すると遊技者にナビ権利を付与するものとしている。また、RTナビ抽選の結果によりナビ権利が付与された場合も、ビッグボーナスの終了時においてキャラクタCの画像により報知が行われる。ビッグボーナス中におけるベルの当選確率は非常に高いので、ベルに当選することなくビッグボーナスが終了する場合はほとんどないが、仮にベルに当選することなくビッグボーナスが終了した場合には、ナビ権利が付与されなかったことが遊技者に報知される。

【0216】

ところで、単独当選したビッグボーナス(A)~(C)の入賞に基づいて制御されたビッグボーナスにおけるRTナビ抽選は、選択したキャラクタの種類に応じてチェリー、スイカまたはベルに当選したときであっても、既にビッグボーナスの開始から内部抽選で当選した小役に全て入賞したと仮定した場合に払い出されることとなるメダルの枚数(以下、払出仮定数という)が466枚を越えるとは行われなくなる。

10

【0217】

例えば、ビッグボーナスの開始からベルに29ゲーム入賞し、それまでの間にスイカを4ゲーム取りこぼしていた場合には、払出仮定数は467枚となるので、ビッグボーナスの開始からのメダルの払い出し総数は未だ435枚なのでビッグボーナスは終了しないが、そこからビッグボーナスの終了までRTナビ抽選は行われなくなる。

【0218】

また、払出仮定数が466枚を越えていなくても、メダルの払い出し総数が465枚を越えてビッグボーナスが終了すれば、RTナビ抽選は行われなくなる。例えば、ビッグボーナスの開始からベルに30ゲーム、スイカに2ゲーム入賞し、スイカまたはチェリーの取りこぼしなかった場合には、メダルの払い出し総数も払出仮定数も466枚なので、払出仮定数は466枚を越えていないこととなるが、これでビッグボーナスの終了となるので、RTナビ抽選は行われなくなる。

20

【0219】

なお、ナビ権利が付与されたことをCPU121が認識できるようにするため、スイカ+チェリーまたはリプレイBと同時当選したとき、またはRTナビ抽選に当選したときには、ナビ権利付与フラグがRAM122に設定される。ビッグボーナスの開始時においてナビ権利付与フラグが既に設定されていれば、それはスイカ+チェリーまたはリプレイBとビッグボーナス(A)~(C)に同時当選していたということを示すものとなり、ビッグボーナスの開始時において遊技者にキャラクタを選択させることなくナビ権利の付与を報知するものとなる。このナビ権利付与フラグは、ビッグボーナスの終了後に最初にスイカ、チェリー、リプレイAの何れかに入賞したときに消去される。

30

【0220】

ビッグボーナスの終了までに遊技者にナビ権利が付与され、RAM122にナビ権利フラグが設定されていた場合には、ビッグボーナス終了後の特別RTまたは通常遊技状態においてRTナビが行われる。このRTナビは、有利RTに遊技状態を制御させるものとなるが、取りこぼしのあるスイカまたはチェリーに当選したときに、何れに当選したのかを遊技者に報知するものである。

【0221】

特別RTまたは通常遊技状態におけるゲームでスタートレバー11を操作したときに、このタイミングで行われる内部抽選でスイカに当選したときには、通常スタート音とは異なる特別スタート音Aがスピーカ7L、7R、7Uから出力される。チェリーに当選したときには、通常スタート音とも特別スタート音Aとも異なる特別スタート音Bがスピーカ7L、7R、7Uから出力される。

40

【0222】

ビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスと同時にスイカ+チェリーに当選したときには、特別スタート音Aと特別スタート音Bの何れかが選択されて出力される。例えば、特別スタート音Aが出力されてチェリーに入賞したときには、有利RTに遊技状態が制御されるとともに、そこでビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボナ

50

スの何れかに当選していることも分かるものとなる。もっとも、特別スタート音 A が出力されたときには、遊技者は、スイカに入賞させるための操作手順で停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R を操作しようとするので、遊技者が操作手順を誤らない限りビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの何れかに当選していることが分かることはない。

【0223】

ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスの何れにも制御されていないときには、通常は、液晶表示器 4 に所定の背景画像が表示されており、ゲーム毎の決定で行われる演出 (当該ゲーム限りで終了する単発演出) により、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知が行われる。通常表示されている背景画像、ゲーム毎の決定で行われる演出の態様は、ステージ 1 ~ ステージ 3 の 3 つの演出ステージのうちの何れが選択されているかによって異なる。演出ステージの選択については、後述する。

10

【0224】

また、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスを確定的に示す告知と、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに可能性があることを示す予告とが含まれている。当選報知を行うかどうか、さらにはどのような当選報知を行うかは、各ゲームを開始したときに (すなわち、スタートレバー 1 1 の操作により送信された当選状況通知コマンドを受信したときに)、決定される。

【0225】

告知は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているときのみに行うことが所定の確率で決定され、予告は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているときと、当選していないときに、それぞれ所定の確率で行うことが決定される。告知、予告を実行することを決定する確率は、演出高確率モードと演出低確率モードとの何れの演出モードに振り分けられているかによって異なっている。演出モードの振り分けは、各ゲームのための賭け数を設定したときに (すなわち、賭け数の設定により送信された B E T コマンドを受信したときに)、演出ステージの決定に先立って行われる。

20

【0226】

演出モードを変更するか否か、及び演出モードの選択は、遊技の進行状況に応じて異なり、また、スロットマシン 1 の電源を ON した後 (設定値の変更をしたかどうかを問わない) に最初に行われるゲーム (電源投入後ゲーム) のために賭け数を設定したのか、それより後のゲーム (後続ゲーム) のために賭け数を設定したのかで異なっている。そして、電源投入後ゲームか後続ゲームかに応じて異なるテーブルを用いて、演出モードの振り分けが行われる。また、演出モードの振り分けのために乱数発生回路 1 2 5 から乱数 (0 ~ 1 2 7) を取得し、取得した乱数の値に基づいて振り分けが行われる。

30

【0227】

図 8 (a) は、演出高確率モードと演出低確率モードとを振り分けるための演出モードテーブルを示す図である。演出モードの振り分けを異ならせる遊技の進行状況の区分として、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または不利 R T の残りゲーム数が 1 ~ 5 0 ゲームであるとき (以下、状況 1)、有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているとき (以下、状況 2)、不利 R T の残りゲーム数が 5 1 ゲーム以上であるときまたは有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) 及びレギュラーボーナスに当選していないとき (以下、状況 3)、の 3 つの区分がある。

40

【0228】

電源投入後ゲームにおいては、必ず演出高確率モードか演出低確率モードの何れかが選択されるが、状況 1 では演出高確率モードが 1 2 0 / 1 2 8、演出低確率モードが 8 / 1 2 8 の確率で選択され、状況 2 では演出高確率モードが 1 2 7 / 1 2 8、演出低確率モードが 1 / 1 2 8 の確率で選択され、状況 3 では演出高確率モードが 2 4 / 1 2 8、演出低確率モードが 1 0 4 / 1 2 8 の確率で選択されるものとなっている。

50

【0229】

一方、後続ゲームにおいては、演出高確率モードまたは演出低確率モードを新たに選択する場合他に、前回のゲームと同じ演出モードで変化なしとするものが選択されるものとなっている。状況1では変化なしが64/128演出高確率モードが32/128、演出低確率モードが32/128の確率で選択され、状況3では変化なしが64/128演出高確率モードが60/128、演出低確率モードが4/128の確率で選択され、状況3では変化なしが32/128演出高確率モードが8/128、演出低確率モードが88/128の確率で選択される。

【0230】

このように演出高確率モードが選択される確率は、通常遊技状態、特別RT、レアRT1、レアRT2または不利RTの残りゲーム数が1～50ゲームであるときの状況1では、不利RTの残りゲーム数が51ゲーム以上であるときまたは有利RTに制御されていてビッグボーナス(A)～(C)及びレギュラーボーナスに当選していないときよりも高くなっていることが分かる。有利RTに制御されていてビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに当選しているときの状況2では、状況1よりもさらに高くなっていることが分かる。また、電源投入後ゲームと後続ゲームとを比べると、電源投入後ゲームの方が高くなっていることが分かる。

【0231】

次に、演出ステージの選択について詳しく説明する。演出ステージの決定は、各ゲームにおいて賭け数を設定したときに、演出モードの決定に続いて行われる。ここでは、演出ステージを変更するか否か、変更する場合には変更後の演出ステージの種類が決定される(但し、演出ステージを変更しないと決定されなかった場合でも、これまでの演出ステージと同じ種類の演出ステージが選択され、結果として演出ステージが変更されない場合がある)。

【0232】

演出ステージを変更するか否か、及び演出ステージの種類の選択は、遊技の進行状況と、先に選択の確定した演出モードとに応じて異なっている。そして、演出高確率モードか演出低確率モードかに応じて異なるテーブルを用いて、演出ステージの振り分けが行われる。また、演出ステージの振り分けのために乱数発生回路125から乱数(0～255)を取得し、取得した乱数の値に基づいて振り分けが行われる。なお、スロットマシン1の電源を投入したとき(設定値を変更したかどうかは問わない)には、必ずステージ1が選択されるものとなっている。

【0233】

図8(b)は、演出高確率モードにおいて演出ステージの振り分けを行うための演出高確率モードテーブルを示す図である。図8(c)は、演出低確率モードにおいて演出ステージの振り分けを行うための演出低確率モードテーブルを示す図である。演出高確率モードでも演出低確率モードでも、演出ステージの振り分けは、設定値が1～6のいずれに設定されているかによって異なり、遊技の状況によっても異なっている。遊技の状況の区分は、演出モードの場合と同じである。演出高確率モードテーブル及び演出低確率モードテーブルの各枠内において、1段目から4段目がそれぞれ、演出ステージの変更なし、ステージ1の選択、ステージ2の選択、ステージ3の選択に対応する判定値数を示している。

【0234】

例えば、設定値が6で遊技の進行状況が有利RTに制御されていてビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに当選しているものとなっている状況2にあるときの演出高確率モードでは、48/256の割合で演出ステージの変更はなく、16/256の割合でステージ1に、64/256の割合でステージ2に、128/256の割合でステージ3に振り分けられる。一方、同じように設定値が6で状況2にあるときでも演出低確率モードでは、103/256の割合では演出ステージの変更はなく、57/256の割合でステージ1に、32/256の割合でステージ2に、64/256の割合でステージ3に振り分けられるものとなっている。

【0235】

また、有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているものとなっている状況 2 にあるときの演出高確率モードであっても設定値が 5 であると、32 / 256 の割合で演出ステージの変更はなく、32 / 256 の割合でステージ 1 に、96 / 256 の割合でステージ 2 に、96 / 256 の割合でステージ 3 に振り分けられる。同様に、設定値が 1 ~ 4 の場合も、各演出ステージに振り分けられる割合が異なっている。

【0236】

また、状況 2 のときの演出低確率モードであっても設定値が 5 であると、108 / 256 の割合では演出ステージの変更はなく、52 / 256 の割合でステージ 1 に、48 / 256 の割合でステージ 2 に、48 / 256 の割合でステージ 3 に振り分けられるものとなっている。同様に、設定値が 1 ~ 4 の場合も、演出ステージの変更がない割合と、各演出ステージに振り分けられる割合が異なっている。

10

【0237】

さらに設定値が 6 に設定されているときの演出高確率モードであっても通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または不利 R T の残りゲーム数が 1 ~ 50 ゲームであるときの状況 1 であると、103 / 256 の割合で演出ステージの変更はなく、57 / 256 の割合でステージ 1 に、32 / 256 の割合でステージ 2 に、64 / 256 の割合でステージ 3 に振り分けられる。同様に、不利 R T の残りゲーム数が 51 ゲーム以上であるときまたは有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) 及びレギュラーボーナスに当選していないときの状況 3 でも、各演出ステージに振り分けられる割合が異なっている。

20

【0238】

また、設定値が 6 に設定されているときの演出低確率モードであっても通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または不利 R T の残りゲーム数が 1 ~ 50 ゲームであるときの状況 1 であると、167 / 256 の割合で演出ステージの変更はなく、41 / 256 の割合でステージ 1 に、16 / 256 の割合でステージ 2 に、32 / 256 の割合でステージ 3 に振り分けられる。同様に、不利 R T の残りゲーム数が 51 ゲーム以上であるときまたは有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) 及びレギュラーボーナスに当選していないときの状況 3 でも、各演出ステージに振り分けられる割合が異なっている。

30

【0239】

演出高確率モードの方が演出低確率モードよりも高い確率でこれまで選択されていた演出ステージとは異なる演出ステージに振り分けられ、また、直前の演出ステージとは異なる演出ステージに変更される場合でも、各種類の演出ステージに振り分けられる割合が演出高確率モードと演出低確率モードとでは異なることが分かる。前回のゲームでステージ 3 となっていて今回のゲームで演出ステージの変更なしとなる場合を含めて考えても、演出高確率モードの方が演出低確率モードよりも高い割合でステージ 3 が選択されることが分かる。

【0240】

また、設定値が高いほど演出ステージの変更される確率が高いことが分かり、設定値に応じて各種類の演出ステージに振り分けられる割合も異なっていることが分かる。前回のゲームでステージ 3 となっていて今回のゲームで演出ステージの変更なしとなる場合を含めて考えても、設定値 (設定値 1 が最低で設定値 6 が最高) が高いほど高い割合でステージ 3 が選択されることが分かる。

40

【0241】

さらに、遊技の進行状況の違いに応じて各種類の演出ステージに振り分けられる割合も異なっていることが分かる。前回のゲームでステージ 3 となっていて今回のゲームで演出ステージの変更なしとなる場合を含めて考えても、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または不利 R T の残りゲーム数が 1 ~ 50 ゲームであるときの状況 1 では、

50

不利 R T の残りゲーム数が 51 ゲーム以上であるときまたは有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) 及びレギュラーボーナスに当選してないときの状況 3 よりも高い割合でステージ 3 が選択されることが分かる。また、有利 R T に制御されていてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているときの状況 2 では、状況 1 よりもさらに高い割合でステージ 3 が選択されることが分かる。

【 0 2 4 2 】

演出ステージが変更された場合には、その後にスタートレバー 11 が操作されてゲームが開始されたときに、これまで選択されていた演出ステージに対応した画像から新たに選択された演出ステージに対応した画像 (旧画像) に、液晶表示器 4 に表示される画像 (新画像) が切り替えられる。この画像の切り替えは、1 フレーム期間で旧画像から新画像に
10 全て切り替えてしまう場合と、数フレーム期間の間に旧画像をワイプアウトさせながら新画像をワイプインさせて切り替えていく場合とがある。

【 0 2 4 3 】

前者の切り替え手法と後者の切り替え手法の何れによって画像を切り替えるかは、演出ステージが変更される度に選択されるが、演出モードが演出高確率モードとなっているときには、1 / 4 の確率で前者の手法が選択され、3 / 4 の確率で後者の手法が選択されるものとなっている。一方、演出モードが演出低確率モードとなっているときには、3 / 4 の確率で前者の手法が選択され、1 / 4 の確率で後者の手法が選択されるものとなっている。

【 0 2 4 4 】

また、通常遊技状態、特別 R T 、レア R T 1 またはレア R T 2 でスイカまたはチェリーに入賞したとき、すなわち次のゲームから有利 R T に遊技状態が制御されることとなるときには、そのスイカまたはチェリーの入賞時において有利 R T に遊技状態が制御される旨が液晶表示器 4 にて報知される。
20

【 0 2 4 5 】

ビッグボーナス (A) + スイカ + チェリー、ビッグボーナス (B) + スイカ + チェリー、ビッグボーナス (C) + スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + スイカ + チェリーに当選したゲームでは、当該ゲームにおいてスイカまたはチェリーに入賞し、有利 R T に制御される旨の報知が行われる可能性があるので、その前にビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知が行われることはない。
30

【 0 2 4 6 】

次のゲーム以降のゲーム (当該ゲームでスイカまたはチェリーに入賞していたなら、有利 R T に制御される旨の報知が行われた後のゲーム) で、改めてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知が行われるものとなる。なお、ビッグボーナス (A) + スイカ + チェリー、ビッグボーナス (B) + スイカ + チェリー、ビッグボーナス (C) + スイカ + チェリー、レギュラーボーナス + スイカ + チェリーに当選したゲームで行われることのないビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスを確定的に示す告知だけとしても、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに可能性があることを示す予告も含むものとしてもよい。
40

【 0 2 4 7 】

以下、この実施の形態にかかるスロットマシン 1 における遊技の進行を、具体的な例に基づいて詳細に説明する。図 9 は、この実施の形態にかかるスロットマシン 1 における遊技の進行の例を示す図である。スロットマシン 1 においては、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス以外の遊技状態においても液晶表示器 4 にて上記したような演出が行われるものとなるが、この例の中では、演出モード及び演出ステージの変更についての説明を省略する。

【 0 2 4 8 】

この例での最初の状態は、通常遊技状態に制御されているものとする。このときにスピーカー 7 L 、 7 R 、 7 U から再生出力される楽曲は、通常楽曲である。この通常遊技状態に
50

において、スイカまたはチェリーに入賞するよりも前に（スイカまたはチェリーの当選はあってもよい）、リプレイAに入賞したものとす。このリプレイAの入賞により、通常の遊技状態から不利RTに遊技状態が制御される。スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲は、通常楽曲のままである。また、純増総数のカウントは0に初期化される。

【0249】

次に、不利RTにおいて300ゲームを消化する前に、リプレイCに入賞したものとす（リプレイCに入賞する前にスイカおよび／またはチェリーに入賞しているが、不利RTのまま遊技状態は変更されない）。このリプレイCの入賞により、不利RTからレアRT2に遊技状態が制御される。スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲は、通常楽曲のままである。

10

【0250】

次に、レアRT2においてリプレイAまたはリプレイBに入賞するよりも前にスイカに入賞したものとす。このスイカの入賞により、レアRT2から有利RTに遊技状態が制御される。レアRT2でスイカに入賞したときに、有利RTに遊技状態が制御されることが液晶表示器4にて報知される。また、有利RTに制御されることで純増総数のカウントが開始され、ここでの有利RT連荘数が1となるので、スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲が、有利RT中楽曲Aに変更される。有利RTに制御されている間において純増総数が徐々に増えていくが、この有利RT中に1000枚を越えることはない。

【0251】

次に、有利RTにおいて200ゲームを消化する前に、ビッグボーナス（A）に入賞したものとす（ビッグボーナスAに入賞する前にリプレイAに入賞しているが、有利RTのまま遊技状態は変更されない）。このビッグボーナス（A）の入賞により、有利RTからビッグボーナスに遊技状態が制御される。このビッグボーナス開始時における純増総数は1000枚を越えてなく、有利RT連荘数が1であるので、スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲が、ボーナス中楽曲Aに変更される。

20

【0252】

また、入賞したビッグボーナス（A）が単独当選に基づくものであったとすると、ビッグボーナスの遊技状態が開始される際に遊技者がキャラクタを選択し、これに従って払出仮定数が466枚を越えるまで（但し、ビッグボーナスが終了するまで）RTナビ抽選が行われることとなる。このビッグボーナスにおいては、RTナビ抽選に当選するものとす。ビッグボーナスに制御されている間において純増総数がさらに増えていくが、このビッグボーナス中に1000枚を越えることはない。

30

【0253】

ビッグボーナスにおけるメダルの払い出し総数が465枚を越えると、特別RTに遊技状態が制御される。ここで、スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲は、通常楽曲に変更される。特別RTにおいて15ゲームを消化する前に、チェリーに当選したものとす。ここでは、その前のビッグボーナスでRTナビ抽選に当選し、ナビ権利が付与されているので、特別スタート音Bによりチェリーの当選が遊技者に報知される。遊技者が特別スタート音Bに従って停止操作を行うことにより、チェリーに入賞することとなる。特別RTに制御されている間に、純増総数は僅かに減少する。

40

【0254】

特別RTにおいてチェリーに入賞したことにより、特別RTから有利RTに遊技状態が制御される。特別RTにおいてチェリーに入賞したときに、有利RTに遊技状態が制御されることが液晶表示器4にて報知される。また、この有利RTに制御されたときの純増総数は未だ1000枚を越えておらず、ここでの有利RT連荘数も2となるので、スピーカ7L、7R、7Uから出力される楽曲が、有利RT中楽曲Aに変更される。有利RTに制御されている間においてさらに純増総数が徐々に増えていくが、この有利RT中でも1000枚を越えることはない。

【0255】

ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナス、リプレイBの何れにも入賞する

50

ことなく有利 R T において 2 0 0 ゲームを消化すると、通常遊技状態に遊技状態が制御される。ここで、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲に変更される。この通常遊技状態に制御されている間に、純増総数は、少しずつ減少していく。

【 0 2 5 6 】

次に、通常遊技状態において、リプレイ A に入賞するよりも前に、R T ナビは行われなくても遊技者が自力でスイカに入賞させることができたものとする。このスイカの入賞により、通常遊技状態から有利 R T に遊技状態が制御される。スイカに入賞したときに、有利 R T に遊技状態が制御されることが液晶表示器 4 にて報知される。この有利 R T に制御されたときの純増総数は未だ 1 0 0 0 枚を越えておらず、ここでの有利 R T 連荘数も 3 となるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、有利 R T 中楽曲 A に変更される。有利 R T に制御されている間においてさらに純増総数が徐々に増えていくが、この有利 R T 中でも 1 0 0 0 枚を越えることはない。

10

【 0 2 5 7 】

有利 R T においてビッグボーナス (C) + リプレイ B に当選し、これに基づいてリプレイ B に入賞したものとする。リプレイ B に入賞しても、ビッグボーナス (C) との同時当選であり、有利 R T への制御から未だ 2 0 0 ゲームを消化していないなら、ここで有利 R T が終了することはない。従って、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲も、有利 R T 中楽曲 A のままとなる。また、リプレイ B に入賞したゲームでビッグボーナス (C) + リプレイ B の同時当選となっているため、ここで当選したビッグボーナス (C) に基づくビッグボーナスの遊技状態が終了した後におけるナビ権利は、この時点で発生する。

20

【 0 2 5 8 】

次に、ビッグボーナス (C) の当選が持ち越されている有利 R T でビッグボーナス (C) に入賞すると、有利 R T からビッグボーナスに遊技状態が制御される。このビッグボーナスでは、開始前に既にナビ権利が発生しているため、遊技者にキャラクタの選択を行わせることなく、ビッグボーナスの終了後に R T ナビが行われることが遊技者に報知される。このビッグボーナス開始時における純増総数は 1 0 0 0 枚を越えてなく、有利 R T 連荘数が 3 であるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、ボーナス中楽曲 A に変更される。ビッグボーナスに制御されている間において純増総数がさらに増え、このビッグボーナス中に 1 0 0 0 枚を越えるが、開始時においては 1 0 0 0 枚を越えていなかったもので、そのままボーナス中楽曲 A が再生出力される。

30

【 0 2 5 9 】

ビッグボーナスにおけるメダルの払い出し総数が 4 6 5 枚を越えると、特別 R T に遊技状態が制御される。ここで、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲に変更される。特別 R T においてスイカまたはチェリーに入賞する前に (スイカまたはチェリーの当選はあってもよい)、1 5 ゲームを消化したものとする。1 5 ゲームの消化により、特別 R T から通常遊技状態に遊技状態が制御される。スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲のままである。特別 R T 及び通常遊技状態にある間に純増総数は少しずつ減少していくが、1 0 0 0 枚は下回らない。

【 0 2 6 0 】

通常遊技状態においてリプレイ A に入賞する前に、レギュラーボーナス + スイカ + チェリーに入賞し、これに基づいてスイカに入賞したものとする。このスイカの入賞により、通常遊技状態から有利 R T に遊技状態が制御される。スイカに入賞したときに、有利 R T に遊技状態が制御されることが液晶表示器 4 にて報知されるが、このゲームでは、レギュラーボーナスの当選が報知されず、有利状態に制御された後のゲームで報知される。この有利 R T に制御されたときの純増総数は 1 0 0 0 枚を越えており、ここでの有利 R T 連荘数が 4 となるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、有利 R T 中楽曲 B に変更される。同時当選ではあったが、レギュラーボーナスであるので、ナビ権利の付与はない。

40

【 0 2 6 1 】

次に、レギュラーボーナスの当選が持ち越されることとなる有利 R T でレギュラーボー

50

ナスに入賞すると、有利 R T からレギュラーボーナスに遊技状態が制御される。このレギュラーボーナスに制御されたときの純増総数は 1 0 0 0 枚を越えており、ここでの有利 R T 連荘数が 4 となるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、ボーナス中楽曲 B に変更される。この有利 R T からレギュラーボーナスまでの期間で、純増総数は 1 0 0 0 枚からさらに大きく増える。

【 0 2 6 2 】

レギュラーボーナスにおいて 8 ゲーム入賞すると、通常遊技状態に遊技状態が制御される。ここで、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲に変更される。

【 0 2 6 3 】

通常遊技状態において、リプレイ A に入賞するよりも前に、R T ナビは行われなくても遊技者が自力でスイカに入賞させることができたものとする。このスイカの入賞により、通常遊技状態から有利 R T に遊技状態が制御される。スイカに入賞したときに、有利 R T に遊技状態が制御されることが液晶表示器 4 にて報知される。この有利 R T に制御されたときの純増総数は 1 0 0 0 枚を越えており、ここでの有利 R T 連荘数が 5 となるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、プレミア有利 R T 中楽曲に変更される。

10

【 0 2 6 4 】

次に、有利 R T において 2 0 0 ゲームを消化する前に、ビッグボーナス (B) に入賞したものとする (ビッグボーナス B に入賞する前にリプレイ A に入賞しているが、有利 R T のまま遊技状態は変更されない)。このビッグボーナス (B) の入賞により、有利 R T からビッグボーナスに遊技状態が制御される。このビッグボーナス開始時における純増総数は 1 0 0 0 枚を越えており、ここでの有利 R T 連荘数が 5 となるので、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲が、プレミアボーナス R T 中楽曲に変更される。

20

【 0 2 6 5 】

また、入賞したビッグボーナス (B) が単独当選に基づくものであったとすると、ビッグボーナスの遊技状態が開始される際に遊技者がキャラクタを選択し、これに従って払出仮定数が 4 6 6 枚を越えるまで (但し、ビッグボーナスが終了するまで) R T ナビ抽選が行われることとなる。このビッグボーナスにおいては、R T ナビ抽選に当選しないものとする。

【 0 2 6 6 】

ビッグボーナスにおけるメダルの払い出し総数が 4 6 5 枚を越えると、特別 R T に遊技状態が制御される。ここで、スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲に変更される。この特別 R T で 1 5 ゲームを消化するよりも前にチェリーに当選したが、R T ナビが行われないためにチェリーに入賞させることができなかったものとする。この場合、特別 R T がそのまま継続する。その後、特別 R T において 1 5 ゲームを消化したものとする。1 5 ゲームの消化により、特別 R T から通常遊技状態に遊技状態が制御される。スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲のままである。

30

【 0 2 6 7 】

通常遊技状態に移行してから、スイカまたはチェリーに入賞するよりも前に (スイカまたはチェリーの当選はあってもよい)、リプレイ A に入賞したものとする。このリプレイ A の入賞により、通常の遊技状態から不利 R T に遊技状態が制御される。スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲のままである。また、純増総数のカウントは 0 に初期化される。ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナス、リプレイ B の何れにも入賞することなく不利 R T において 3 0 0 ゲームを消化すると、通常遊技状態に遊技状態が制御される。スピーカ 7 L、7 R、7 U から出力される楽曲は、通常楽曲のままである。

40

【 0 2 6 8 】

以上説明したように、この実施の形態にかかるスロットマシン 1 では、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 においてスイカまたはチェリーに入賞すると有利 R T に遊技状態が制御され、通常遊技状態、レア R T 1 またはレア R T 2 においてリプレイ A に入賞すると不利 R T に遊技状態が制御される。不利 R T は、3 0 0 ゲームの間継続

50

する遊技状態となっているが、この不利 R T においてスイカまたはチェリーに入賞しても有利 R T に遊技状態が制御されることはなく、一旦不利 R T に遊技状態が制御されてしまうと、ここから有利 R T に遊技状態が制御されるチャンスがなくなってしまう。

【0269】

不利 R T においてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選し、これらに入賞させることでビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されれば、300 ゲームの消化を待たずに不利 R T を終了させることができるが、不利 R T においてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選するチャンスは、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または有利 R T においてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選するチャンスと全く変わりがない。

10

【0270】

もっとも、不利 R T においては、リプレイ B 及びリプレイ C に当選する可能性があり、300 ゲームを消化する前であってもリプレイ B、リプレイ C に入賞すると、それぞれレア R T 1、レア R T 2 に遊技状態が制御される。レア R T 1 またはレア R T 2 に遊技状態が制御されれば、ここでスイカまたはチェリーに入賞すれば有利 R T に遊技状態が制御されるので、有利 R T に制御されるチャンスが再び生じるものとなる。

【0271】

つまり、不利 R T において300 ゲームを消化する前であっても、また、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しなくても、リプレイ B またはリプレイ C の入賞によってレア R T 1 またはレア R T 2 に遊技状態が制御されるチャンスがあり、そのチャンスを生かしてレア R T 1 またはレア R T 2 に遊技状態が制御されれば、再び有利 R T に遊技状態が制御されるチャンスも生じるものとなる。このため、不利 R T に遊技状態が制御されたときであっても、遊技者を落胆させずに済むものとなる。

20

【0272】

また、不利 R T からの脱出を可能とするリプレイ B、リプレイ C のうちでレア R T 1 に遊技状態を制御させることとなるリプレイ B は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスと同時に当選し得る役となっている。すなわち、リプレイ B に入賞すると、単に不利 R T から脱出して有利 R T への制御のチャンスが生まれるレア R T 1 に制御されるというだけではなく、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの何れかに当選している可能性もあるということになるので、遊技者の期待感を高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

30

【0273】

ところで、リプレイ B は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスと同時に当選し得る役となっているので、同時当選であることを条件とすれば、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 2 または有利 R T に遊技状態が制御されているときにもリプレイ B に入賞することがある。通常遊技状態、特別 R T、レア R T 2 または有利 R T においてリプレイ B に入賞するのは、この同時当選の場合だけであるので、リプレイ B の入賞に希少性が生じるものとなる。また、この希少なリプレイ B の入賞で、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの何れかに当選していることが確定的に分かるものとなるので、遊技者の期待感を大いに高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

40

【0274】

また、有利 R T におけるメダルの払出率が1を越えるのに対して、レア R T 1 におけるメダルの払出率が1を下回っているが、有利 R T におけるリプレイ B の入賞は、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスとの同時当選でしか発生し得ず、レア R T 1 に遊技状態を制御させることがない。このため、メダルの払出率が1を越える有利 R T でレア R T 1 の図柄であるリプレイ B に入賞しても、有利 R T における遊技者の利益を失わせることがなく、遊技者の期待感を削いでしまうことがない。

【0275】

また、ビッグボーナスの終了後に制御される特別 R T では、不利 R T に遊技状態を制御

50

させるリプレイ A の当選確率が 0 となっているが、通常遊技状態ではおおよそ $1/7.3$ 、リプレイ B の入賞により不利 R T から制御されるレア R T 1 でもおおよそ $1/7.3$ 、リプレイ C の入賞により不利 R T から制御されるレア R T 2 ではおおよそ $1/33.1$ となっている。

【0276】

このように通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 及びレア R T 2 の間で不利 R T に遊技状態を制御させるリプレイ A の当選確率に差があり、特にビッグボーナスの終了後に制御される特別 R T では再び不利 R T に制御される危険がないのに対して、不利 R T から制御されたレア R T 1、レア R T 2 では再び不利 R T に制御される危険もあるものとなることで、特別 R T の比較での遊技における面白みが増し、さらに遊技の興趣を向上させることができる。また、レア R T 1 とレア R T 2 でも再び不利 R T に制御される危険度に違いがあるので、不利 R T においてリプレイ B とリプレイ C の何れに入賞するかにまで遊技者に関心を持たせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

10

【0277】

また、スロットマシン 1 における遊技状態のうちで、ビッグボーナス、レギュラーボーナス及び有利 R T は、メダルの払出率が 1 を越える遊技者にとって有利な遊技状態であるが、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 及び不利 R T は、メダルの払出率が 1 を下回る遊技者にとって不利な遊技状態である。ここで、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 及びレア R T 2 は、不利 R T と同様にメダルの払出率が 1 を下回る遊技状態であるといっても、それぞれのスイカ、チェリー、リプレイ A の当選確率を考えれば、比較的短期間で終了する遊技状態である。一方、不利 R T は、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナス、リプレイ B またはリプレイ C に入賞しない限り 300 ゲーム継続すること、及びこれらの役の当選確率を考えれば、比較的長期間継続する遊技状態である。

20

【0278】

ところで、上記した遊技状態のうちのビッグボーナス、レギュラーボーナス及び有利 R T は、メダルの払出率が 1 を越えるので、これらの遊技状態に制御されている間は、通常、小役入賞により払い出されるメダルの数の方が賭け数の設定に用いられるメダルの数よりも多く、遊技者の手持ちのメダルが増えていくことになる。このようなビッグボーナスまたはレギュラーボーナス、若しくは有利 R T に制御されている間に、それぞれボーナス中楽曲、有利 R T 中楽曲をスピーカ 7 L、7 R、7 U から再生出力することによって、遊技者の手持ちのメダルが増加していく過程を盛り上げていくことができる。

30

【0279】

また、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 及びレア R T 2 は、メダルの払出率が 1 を下回るといっても短期間で終了するため、これらの遊技状態に制御されている間における遊技者の手持ちのメダルの減少は極少数に限られている。従って、不利 R T に制御されることなく、ビッグボーナス、レギュラーボーナスまたは有利 R T、若しくは通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 の間だけで遊技状態が制御されている間は、遊技者の手持ちのメダルが大きな増加傾向にあるということになる。

【0280】

このように不利 R T に制御されることなくビッグボーナス、レギュラーボーナスまたは有利 R T、若しくは通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 の間だけで遊技状態が制御されている間には、そこで最初に有利 R T に制御されたときからの純増メダルの枚数 (純増総数) が 1000 枚を越えるようなこともある。

40

【0281】

開始時において純増総数が 1000 枚以下のときのビッグボーナスまたはレギュラーボーナス、若しくは有利 R T では、それぞれボーナス中楽曲 A、有利 R T 中楽曲 A が再生出力されるが、開始時において純増総数が 1000 枚を越えているときのビッグボーナスまたはレギュラーボーナス、若しくは有利 R T では、それぞれボーナス中楽曲 B、有利 R T 中楽曲 B が再生出力される。このように純増総数が 1000 枚を越えているかどうかによっ

50

て再生出力される楽曲を変更することで、遊技者の手持ちのメダルの枚数の増加と再生される楽曲の変化を十分にリンクさせることができるものとなる。

【 0 2 8 2 】

さらに、不利 R T に制御されることなくビッグボーナス、レギュラーボーナスまたは有利 R T、若しくは通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 の間だけで遊技状態が制御されている間において有利 R T に制御された回数（有利 R T 連荘数）が 5 回を越え、純増総数も 1 0 0 0 枚を越えていると、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス、若しくは有利 R T において再生出力される楽曲が、それぞれプレミアボーナス中楽曲、プレミア有利 R T 中楽曲に変更される。このように有利 R T 連荘数が 5 回も越えるとプレミアボーナス中楽曲、プレミア有利 R T 中楽曲が再生出力されることにより、有利 R T 連荘数が多くなった遊技者に非常な満足感を与えることができる。

10

【 0 2 8 3 】

また、上記のスロットマシン 1 において通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 から有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄はスイカまたはチェリーであるが、スイカ及びチェリーは、ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスと同時に当選し得る役となっている。つまり、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 から有利 R T においてスイカまたはチェリーに入賞したときには、有利 R T に遊技状態が制御されるだけでなく、ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの当選も期待できるものとなる。

【 0 2 8 4 】

20

また、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 においてスイカまたはチェリーに入賞したときには、これによって有利 R T に遊技状態が制御されることとなるので、その旨が液晶表示器 4 において遊技者に報知されるものとなっている。ここで、スイカまたはチェリーに入賞したゲームでは、仮にビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに同時に当選していたとしても、有利 R T に制御される旨の報知が行われるだけで、ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの当選報知が行われない。

【 0 2 8 5 】

このようにスイカまたはチェリーに入賞したゲームでは、有利 R T に制御される旨の報知しか行われないものとするので、当該スイカまたはチェリーの入賞が有利 R T への制御を意味するものだとして遊技者に感じさせることができる。そして、実際にビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスにも当選していたのであれば、それ以降のゲームでビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの当選報知が行われることとなる。この後から行われたビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの当選報知で遊技者に意外性を感じさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

30

【 0 2 8 6 】

しかも、有利 R T は、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスと同様にメダルの払出率が 1 を越える遊技者に有利な遊技状態だとしても、その有利度は、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに比べれば低い。このように最初に有利度が低い（不利ではないが）有利 R T であると遊技者に思わせておいて、後から有利度がより高いビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに直結するビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの当選を報知することで、遊技者の期待感をより効果的に高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

40

【 0 2 8 7 】

さらに、有利 R T に遊技状態を制御させるためのスイカとチェリーは、それぞれ入賞させるための停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作手順（特に右の停止ボタン 1 2 R の操作タイミング）が重複していないものとなっているので、チェリーだけが当選しているときにスイカを狙っても何れにも入賞し得ず、スイカだけが当選しているときにチェリーを狙っても何れにも入賞してない。

50

【0288】

もっとも、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスと同時当選となるのがスイカだけ、チェリーだけといったことはあり得ず、スイカとチェリーの両方がビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスと同時に当選することになる。スイカとチェリーの両方が当選しているのなら、スイカを狙えばスイカに入賞し、チェリーを狙えばチェリーに入賞する（但し、これらを狙った停止操作が適切であれば）ので、有利ＲＴに遊技状態を制御させる図柄が導出される機会を多くすることができる。

【0289】

この実施の形態にかかるスロットマシン１では、ビッグボーナスに制御されているときにはビッグボーナス中演出が、レギュラーボーナスに制御されているときにはレギュラーボーナス中演出が、液晶表示器４において行われるものとなる。ここで、単独当選したビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞に基づくビッグボーナスである場合には、当該ビッグボーナスの開始時において、ビッグボーナス中演出で登場するキャラクタの種類を遊技者が選択するものとなっている。

10

【0290】

また、単独当選したビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞に基づくビッグボーナスでは、ビッグボーナスの終了後の特別ＲＴ、通常遊技状態においてスイカまたはチェリーの当選を報知するＲＴナビを行うかどうかを決定するＲＴナビ抽選を行うものとなっている。このＲＴナビ抽選を行う機会は、遊技者がビッグボーナスの開始時に選択したキャラクタの種類に応じて異なっており、キャラクタＡを選択したときにはチェリー当選時、キャラクタＢを選択したときにはスイカ当選時、キャラクタＣを選択したときにはベル当選時に行われるものとなっている。また、それぞれのＲＴナビ抽選の当選確率も異なっている（各々の役の当選確率を考慮すると、ビッグボーナス全体ではほぼ同じ確率で当選する）。

20

【0291】

このようにビッグボーナスの開始時における遊技者自らのキャラクタの選択が、ビッグボーナス終了後のＲＴナビの有無に直結することとなるので、ＲＴナビの権利を得た遊技者が自らの選択に満足感を得ることができるものとなる。さらに、ＲＴナビが行われる旨の報知も、キャラクタＡ、Ｂ、Ｃのそれぞれを選択した場合に、チェリーに当選したゲームの開始時、スイカに当選したゲームの終了時、ビッグボーナスの終了時という具合に異なるものとなっており、さらにその報知も選択したキャラクタの画像で行われるので、ＲＴナビの権利を得た遊技者が自らの選択に満足感を得ることができるものとなる。

30

【0292】

一方、スイカ＋チェリーまたはリプレイＢと同時当選したビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞に基づくビッグボーナスでは、既に同時当選の際に遊技者にナビ権利が付与されており、ビッグボーナスの終了後にＲＴナビが行われることが決まっている。このようにビッグボーナスの開始前からビッグボーナスの終了後にＲＴナビが行われることが決まっていた場合には、ビッグボーナスの開始時において遊技者にキャラクタを選択させず、ＲＴナビが行われることがここで報知される。さらに、当該ビッグボーナスにおけるビッグボーナス中演出は、単独当選したビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞に基づくビッグボーナスにおけるビッグボーナス中演出については選択し得ないキャラクタＤの画像で行われるものとなっている。

40

【0293】

このようにビッグボーナスの開始前に既にＲＴナビが行われることが決まっていた場合には、ビッグボーナスの開始時に遊技者にキャラクタを選択させることなくＲＴナビが行われることを報知するので、遊技に意外性を生じさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。さらに、ビッグボーナスの開始時においてキャラクタの種類を選択しなければならないのか、それとも既にＲＴナビが行われていることが決まっているのかについて遊技者に興味を持たせることができるので、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0294】

50

ところで、遊技者の選択に従ってＲＴナビ抽選が行われることがあるビッグボーナスは、その終了条件を払い出しメダル枚数が４６５枚を越えたときとしているため、小役に入賞したか否かや入賞した小役の種類が何であるかによって継続ゲーム数が異なってくる。ここで、メダルの払い出しを伴う小役としてはスイカ、ベル、チェリーの３種類があるが、何れも停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順によって取りこぼしのある役となっている（ベルは、停止ボタン１２Ｌを１番目または２番目に操作すれば取りこぼすことはないが、３番目に操作すれば取りこぼすこともある）。

【０２９５】

このため、ビッグボーナスにおいて内部抽選で当選した小役を遊技者が停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作で態と取りこぼすようなことを行えば、ビッグボーナスにおいて実行されるゲーム数を増加させることができる。ここで、ビッグボーナスに制御されている限り遊技者の選択に従って無制限にＲＴナビ抽選を行うものとする、ビッグボーナスのゲーム数が増加されれば、ＲＴナビ抽選が行われるゲーム数も増加し、ビッグボーナスの終了までにＲＴナビ抽選に当選する確率が高くなる。こうなると、スロットマシン１の提供者側が想定していなかったような高確率で、ビッグボーナスの終了後にＲＴナビが行われることになってしまう虞がある。

【０２９６】

これに対して、この実施の形態にかかるスロットマシン１では、ビッグボーナスにおいてＲＴナビ抽選を行うのを、当選した小役に必ず入賞するものと仮定した場合に払い出されることとなるメダルの総数である払出仮定数が４６６枚を越えるまでとしている。このため、ビッグボーナスの開始からの払い出しメダル総数が４６５枚を越える前であっても、払出仮定数が４６６枚を越えていればＲＴナビ抽選が行われることがないので、ビッグボーナスの継続ゲーム数の引き延ばしが行われて、想定外の高確率でビッグボーナスの終了後にＲＴナビが行われることになってしまうようなことがなくなる。

【０２９７】

また、ビッグボーナスが終了される払い出しメダル総数は４６５枚を越えたときとしているのに対して、ＲＴナビ抽選が行われなくなる払出仮定数は４６６枚を越えたときとなっている。このため、場合によっては、当選した小役に全て入賞させた場合に実行されるゲーム数よりも多くのゲーム数をＲＴナビ抽選が行われなくなるまでに実行させることも可能となる。このため、この払い出しメダル総数の４６５枚越えと、払出仮定数の４６６枚越えとをできる限り生かすという遊技における攻略要素が生じてくるので、遊技の興趣を向上させることができる。

【０２９８】

また、ビッグボーナス、レギュラーボーナス以外の通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２、有利ＲＴまたは不利ＲＴに制御されているときには、液晶表示器４に通常は背景画像が表示され、また、ゲーム毎の決定で当該ゲーム限りで終了する演出が行われる。背景画像の態様、ゲーム毎の決定で行われる演出の態様は、ステージ１～ステージ３の３つの演出ステージのうちの何れが選択されているかによって異なるものとなっている。また、演出の実行モードとして、演出高確率モードと演出低確率モードとの２種類がある。

【０２９９】

ところで、通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２、有利ＲＴまたは不利ＲＴのうちで有利ＲＴに制御されているときには有利ＲＴ中楽曲がスピーカ７Ｌ、７Ｒ、７Ｕから再生出力されるが、通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２または不利ＲＴに制御されているときには何れも通常楽曲が再生出力されるので、楽曲の違いでは、通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２及び不利ＲＴのうちで何れの遊技状態に制御されているかが分かることはない。特に新たに遊技を開始した遊技者にとっては、通常楽曲が再生出力されている限り、通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２及び不利ＲＴのうちで何れの遊技状態に制御されているのかは全く分からない。

【０３００】

また、ビッグボーナス、レギュラーボーナス以外の通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２、有利ＲＴまたは不利ＲＴに制御されているときの各ゲームで賭け数を設定したときに、そのときの遊技の状況に応じて演出モードがまず選択され、ここで選択の確定した演出モードと遊技の状況とに応じて演出ステージが選択されるものとなっている。その後、ゲームを開始したときに液晶表示器４で演出を行うかどうかは、直前の賭け数の設定時に選択された演出モードに応じた確率で決定され、背景画像の表示や実行される演出の演出ステージは、直前の賭け数の設定時に選択された演出ステージに従うものとなっている。

【０３０１】

ここで、スイカまたはチェリーの入賞により有利ＲＴに制御されるものとなる通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利ＲＴの残りゲーム数が５０ゲーム以下のときには、不利ＲＴの残りゲーム数が５１ゲーム以上である場合に比べて、演出モードとして演出高確率モードが選択される確率が高くなっている。演出高確率モードが選択される確率が高いということは、スイカまたはチェリーの入賞により有利ＲＴに制御されるものとなる通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利ＲＴの残りゲーム数が５０ゲーム以下のときには、液晶表示器４で演出が実行される確率も高くなる。

【０３０２】

つまり、このように液晶表示器４で演出が実行される確率が高い（演出高確率モードが選択されていると考えられる）か低い（演出低確率モードが選択されていると考えられる）かによって現時点で通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されて有利ＲＴに制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利ＲＴの終了が近く、有利ＲＴに制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器４にて行われる演出の実行確率に遊技者の注目を集めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【０３０３】

また、演出ステージについても、スイカまたはチェリーの入賞により有利ＲＴに制御されるものとなる通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利ＲＴの残りゲーム数が５０ゲーム以下のときには、不利ＲＴの残りゲーム数が５１ゲーム以上である場合に比べて、ステージ３が選択される確率が高くなっており、また、ステージ２とステージ１についても選択確率に違いがある。

【０３０４】

さらに、スイカまたはチェリーの入賞により有利ＲＴに制御されるものとなる通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利ＲＴの残りゲーム数が５０ゲーム以下のときに選択されやすい演出高確率モードでは、不利ＲＴの残りゲーム数が５１ゲーム以上であるときに選択されやすい演出低確率モードに比べて、ステージ３が選択される確率が高くなっており、また、ステージ２とステージ１についても選択確率に違いがある。

【０３０５】

つまり、このように液晶表示器４に表示される背景画像や実行される演出の演出ステージの違いによって現時点で通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１またはレアＲＴ２に制御されて有利ＲＴに制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利ＲＴの終了が近く、有利ＲＴに制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器４に表示される背景画像や演出の演出ステージの違いにも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【０３０６】

さらに、演出ステージが変更された場合には、これまで選択されていた演出ステージに対応した旧画像から新たに選択された新画像に表示が切り替えられるが、この画像の切り

10

20

30

40

50

替えが、1フレーム期間で完全に切り替えられる場合と、数フレーム期間の間に旧画像をワイプアウトさせながら新画像をワイプインさせて切り替えられる場合とがある。前者と後者のそれぞれの確率は、スイカまたはチェリーの入賞により有利RTに制御されるものとなる通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利RTの残りゲーム数が50ゲーム以下のときに選択されやすい演出高確率モードでは、1/4と3/4であるのに対して、不利RTの残りゲーム数が51ゲーム以上であるときに選択されやすい演出低確率モードでは、3/4と1/4となっている。

【0307】

つまり、液晶表示器4に表示されている画像がこれまでと異なるステージの画像に切り替えられる場合にも、その切り替え態様の違いで現時点で通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2に制御されて有利RTに制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利RTの終了が近く、有利RTに制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器4に表示される画像が切り替えられる際の態様にも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0308】

また、前述したとおり、有利RTにあることは有利RT中楽曲の再生出力で分かるが、有利RTに制御されているときにおいてビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスに当選していることは、可変表示装置2にいわゆるリーチ目が導出された場合などを除いては、告知が行われない限り演出からでは全く分からない。ここで、ビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスの何れかに当選しているときには、有利RTにおいてこれらに当選していないときに比べて演出高確率モードが選択される確率が高くなっている。

【0309】

また、有利RTにおいてビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスの何れかに当選しているときには、これらに当選していないときに比べてステージ3が選択される確率が高く、ステージ2とステージ1の選択確率にも違いがある。さらに、有利RTにおいてビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスの何れかに当選しているときに選択されやすい演出高確率モードでは、これらに当選していないときに選択されやすい演出低確率モードに比べて、ステージ3が選択される確率が高くなっており、異なるステージへの画像の切り替え時にワイプアウト/ワイプインが行われる確率も高くなっている。

【0310】

このように有利RTに制御されているときにおいて、演出の実行確率の違い、選択されたステージの違い、さらにはステージの切り替え時の態様の違いによってビッグボーナス(A)~(C)またはレギュラーボーナスに当選しているかどうかを推測できるようになるので、有利RTに制御されているときにも液晶表示器4での演出の実行確率、実行される演出の演出ステージ、画像が切り替えられる際の態様にも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0311】

また、スロットマシン1を起動した直後の状態としては、設定キースイッチ92をON状態とすることで設定値を変更して全くの初期状態から遊技を開始させるものとなっている状態と、設定キースイッチ92をOFF状態とすることで設定値を変更せずに電源を遮断する前の状態から遊技を再開させるものとなっている状態がある。遊技店が新たな日の営業のために開店した直後は、通常、この何れかの状態となっている。

【0312】

ここで、スロットマシン1を起動した後は、設定キースイッチ92をON状態として設定値を変更したか否かに関わらず、最初のゲームを開始するための賭け数を設定すれば同じ比率で演出高確率モードか演出低確率モードかが選択されるものとなっているため、

10

20

30

40

50

スロットマシン 1 を起動した後の状態が設定キースイッチ 9 2 を ON 状態とすることで設定値を変更して全くの初期状態から遊技を開始させるものとなっている状態と、設定キースイッチ 9 2 を OFF 状態とすることで設定値を変更せずに電源を遮断する前の状態から遊技を再開させるものとなっている状態との何れかであるかが遊技者に知られてしまうことがない（但し、電源を遮断したときの状態がビッグボーナス、レギュラーボーナスまたは有利 RT となっていた場合に、その状態から遊技を再開させた場合を除く）。

【 0 3 1 3 】

さらに演出ステージの選択については、遊技の状況が同じ区分にあるのであれば、設定値が高いほどステージ 3 が選択される確率が高くなっており、また、ステージ 2 とステージ 1 が選択される確率にも違いがある。このため、液晶表示器 4 に表示される背景画像やここで実行される演出の演出ステージの違いによって設定値も推測することができるようになり、液晶表示器 4 に表示される背景画像や演出の演出ステージの違いに対してよりいっそうの遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

10

【 0 3 1 4 】

また、設定値を変更することによって遊技制御基板 1 0 1 の RAM 1 1 2 が初期化されるが、リールモータ 3 M L、3 M C、3 M R をそれぞれ構成するステッピングモータのステップ数をカウントするためのカウンタの値は初期化されない。このため、設定値の変更後においても CPU 1 1 1 が把握するリールモータ 3 M L、3 M C、3 M R をそれぞれ構成するステッピングモータのステップ数（RAM 1 1 2 のカウンタでカウントされているステップ数）が実際のステップ数と異なることがなく、パルス信号の励磁相が異なってリール 3 L、3 C、3 R が滑らかに回転開始ができずに設定値の変更がされていることが遊技者に察知されてしまうというのを防ぐことができる。

20

【 0 3 1 5 】

また、満タンセンサ 9 0 によりオーバーフロータンクの満タンが検出されているかどうかを 1 ゲームに 1 回ずつチェックし、満タンが検出されている場合には、満タンエラーに制御する。もっとも、前回のゲームでリプレイ入賞していた場合（すなわち RAM 1 1 2 にリプレイゲーム中フラグが設定されている場合）には、このチェックを行っていない。前回のゲームでリプレイ入賞していた場合は、遊技者がメダルを投入せずに賭け数が設定されるので、発生可能性の低い満タンエラーのチェックを省くことで遊技制御基板 1 0 1 の制御部 1 1 0 にかかる負荷を小さくすることができる。

30

【 0 3 1 6 】

また、外部出力基板 1 0 5 は、スタートレバー 1 1 の操作時にまとめてメダル IN 信号を出力するものとしている。賭け数として設定するメダルの投入の度にメダル IN 信号を出力するものとした場合には、精算ボタン 1 6 の操作により既に設定した賭け数がキャンセルされると、出力したメダル IN 信号の取消が必要となってしまう。また、1 枚 BET ボタン 1 4 または MAX BET ボタン 1 5 の操作によりクレジットから賭け数を設定した場合と、メダル投入口 1 3 からメダルの現物を投入して賭け数を設定した場合とで、メダル IN 信号を出力するためのプログラムが別々に必要になってしまう。この実施の形態にかかるスロットマシン 1 のようにスタートレバー 1 1 の操作時にまとめてメダル IN 信号を出力することで、このような不都合が生じるのを防ぐことができる。

40

【 0 3 1 7 】

一方、外部出力基板 1 0 5 は、ホッパー 8 0 からメダルを 1 枚払い出す度にメダル OUT 信号を出力するものとしている。仮に小役入賞に基づいてメダルを払い出すときに、払い出すメダルの数だけメダル OUT 信号をまとめて出力するものとした場合には、ホッパー 8 0 においてメダル切れエラーが発生したときなどに、実際に払い出されたメダルとの間に誤差が生じてしまう。また、メダルの払い出しの終了時に払い出したメダルの数だけメダル OUT 信号をまとめて出力するものとした場合には、次のゲームが開始されてからもメダル OUT 信号の出力が継続されているという可能性が生じる。この実施の形態にかかるスロットマシン 1 のようにホッパー 8 0 からメダルを 1 枚払い出す度にメダル OUT

50

信号を出力することで、このような不都合が生じるのを防ぐことができる。

【0318】

また、遊技の進行状況に応じて、各種のコマンドが遊技制御基板101から演出制御基板102へと送信されるものとなっているが、遊技制御基板101のRAM112に設けられたコマンド送信バッファよりも、演出制御基板102のRAM122に設けられたコマンド受信バッファの方が容量が大きくなっている。このため、遊技制御基板101から一度に大量のコマンドが送られてきても、演出制御基板102の側では未処理のコマンドを十分に貯めておくことができるので、演出制御基板102のCPU121が処理しきれないコマンドが生じ、演出の実行に支障が生じてしまうのを防ぐことができる。

【0319】

本発明は、上記の実施の形態に限られず、種々の変形、応用が可能である。以下、本発明に適用可能な上記の実施の形態の変形態様について説明する。

【0320】

上記の実施の形態では、特別RT、通常遊技状態、レアRT1またはレアRT2においてスイカまたはチェリーに入賞したときに、有利RTに遊技状態を制御するものとし、通常遊技状態、レアRT1またはレアRT2においてリプレイAに入賞したときに、不利RTに遊技状態を制御するものとしていた。さらに、特別RTにおいて15ゲームを消化したときに、通常遊技状態に遊技状態を制御するものとし、不利RTにおいてリプレイBに入賞したときに、レアRT1に遊技状態を制御するものとし、不利RTにおいてリプレイCに入賞したときに、レアRT2に遊技状態を制御するものとしていた。

【0321】

もっとも、このように遊技状態を制御させるための図柄は、入賞役である小役や再遊技役の図柄に限るものではなく、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順により取りこぼしのある所定の役に当選し、該役を取りこぼすことによって導出され得るものとなるハズレの図柄としてもよい。例えば、スイカは、停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順（特に右の停止ボタン12Rの操作タイミング）に応じて入賞する役であるが、これを取りこぼすと「スイカ - スイカ - ベル」の図柄組み合わせが何れかの入賞ラインに導出されるものとすることができる。

【0322】

そして、「スイカ - スイカ - ベル」の図柄組み合わせを、特別RT、通常遊技状態、レアRT1またはレアRT2から有利RTに制御させるための有利RT図柄として適用することができる。また、通常遊技状態、レアRT1またはレアRT2から不利RTに遊技状態を制御させるための不利RT図柄や、300ゲームの消化を待たずに不利RTからレアRT1やレアRT2に遊技状態を制御させるための不利RTバンク図柄についても、所定の小役または再遊技役の取りこぼしにより導出可能となる所定のハズレ図柄を適用することができる。

【0323】

また、通常遊技状態またはレアRTから有利RTに遊技状態を制御させるための有利RT図柄と、不利RTに遊技状態を制御させるための不利RT図柄とは、同一の役の当選フラグに基づいて導出されるものとすることができる。例えば、スイカを有利RT図柄とするが、スイカの取りこぼしによってのみ導出され得る図柄組み合わせを不利RT図柄とすることができる。不利RT図柄を所定の入賞役の図柄とし、有利RT図柄をこれの取りこぼしにより導出される図柄としてもよい。

【0324】

上記の実施の形態では、不利RTに遊技状態を制御させるための図柄をリプレイAとしていたが、このリプレイAの当選確率は、レアRT1とレアRT2とで異なっていた。これに対して、有利RTに遊技状態を制御させるための図柄をスイカまたはチェリーといった小役の図柄ではなく、何れかの種類のリプレイの図柄とした場合には、有利RTに遊技状態を制御させるものとなる種類のリプレイの当選確率が、レアRT1とレアRT2とで異なるようにしてもよい。

10

20

30

40

50

【 0 3 2 5 】

上記の実施の形態では、有利 R T に遊技状態を制御させるためのスイカ及びチェリーには、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスと同時に当選することがあるものとなっていたが、不利 R T に遊技状態を制御させるためのリプレイ A には、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスと同時に当選することはなかった。もっとも、不利 R T に遊技状態を制御させるためのリプレイ A も、単独で当選するだけではなく、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスと同時に当選することもある役としてもよい。

【 0 3 2 6 】

また、通常遊技状態、レア R T 1 またはレア R T 2 においてリプレイ C に入賞し、不利 R T に制御されることとなる場合には、上記の実施の形態におけるスイカまたはチェリーの入賞で有利 R T に制御される旨を報知するのと同様に、不利 R T に制御される旨を報知してもよい。ここで、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスとリプレイ A に同時当選したときゲームでは、当該ゲームでリプレイ A に入賞したときに不利 R T に制御される旨を報知するものとし、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知を行わないものとすることができる。

【 0 3 2 7 】

このようにスイカまたはリプレイ A に入賞したゲームでは、不利 R T に制御される旨の報知しか行われないものとするので、当該リプレイ A の入賞が不利 R T への制御を意味するものだと遊技者に感じさせることができる。そして、実際にビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスにも当選していたのであれば、それ以降のゲームでビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知が行われることとなる。この後から行われたビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知で遊技者に意外性を感じさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。しかも、不利 R T に制御される旨の報知を先に行ってからビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選報知を行うので、不利 R T に制御されるものと落胆していた遊技者に突然期待感を与えることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【 0 3 2 8 】

上記の実施の形態では、各遊技状態の区分においてビッグボーナス (A) ~ (C) 、レギュラーボーナスに当選している状態は、これらに当選していないと別の状態として扱うものとしていたが、通常遊技状態、特別 R T 、レア R T 1 、レア R T 2 、有利 R T または不利 R T においてビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選したときに (スイカ + チェリーとの同時当選、リプレイ B との同時当選を含む) 、これらの遊技状態とは異なる内部中 R T に遊技状態を制御するものとしてもよい。

【 0 3 2 9 】

内部中 R T は、例えば、リプレイ当選確率が有利 R T よりも低いが他の遊技状態よりも高く、メダルの払出率がほぼ 1 となるものとしてもよい。また、内部中 R T 中はリプレイ B に入賞してもレア R T 1 に遊技状態が制御されないものとするので、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスとリプレイ B に同時当選したときには、まず、内部抽選時のビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選に基づいて内部中 R T に制御されるので、当該ゲームの終了時にリプレイ B に入賞してもレア R T 1 に遊技状態が制御されないものとすることができる。

【 0 3 3 0 】

上記の実施の形態では、有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるスイカ及びチェリーは、停止ボタン 1 2 L 、 1 2 C 、 1 2 R の操作手順により取りこぼしの発生する役であるのに対して、不利 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるリプレイ A は、停止ボタン 1 2 L 、 1 2 C 、 1 2 R の操作手順による取りこぼしがない役であるので、R T ナビで当選の報知される役は、有利 R T に遊技状態を制御させるスイカまたはチェリーだけとなっていた。これに対して、不利 R T に遊技状態を制御させるための図柄も停止ボタン 1 2 L 、 1 2 C 、 1 2 R の操作手順により取りこぼしの発生する役である場合には、

この役の当選も R T ナビにおいて報知するものとしてもよい。

【0331】

さらに、不利 R T を終了させて、有利 R T にも制御可能となるレア R T 1、レア R T 2 に遊技状態を制御させるためのリプレイ B および / またはリプレイ C が停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作手順により取りこぼしの発生する役である場合には、不利 R T においてリプレイ B および / またはリプレイ C の当選を報知する不利 R T 終了ナビを行ってもよい。不利 R T 終了ナビは、不利 R T において必ず行うものとしても、所定の条件が成立したときにだけ行うものとしてもよい。例えば、上記の実施の形態と異なり、不利 R T に遊技状態を制御させるための図柄が 2 種類ある場合には、その何れか一方の図柄によって制御された不利 R T において不利 R T 終了ナビを行うものとしてもよい。

10

【0332】

上記の実施の形態では、単独当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づくビッグボーナスで行われる R T ナビ抽選は、当該ビッグボーナスの開始時において遊技者が選択したキャラクタの種類に応じてチェリー、スイカ、ベルに当選したときに実行されるものとしていたが、R T ナビ抽選の実行契機は、これに限るものではない。例えば、遊技者が選択したキャラクタの種類に応じてチェリー、スイカ、ベルに当選するだけでなく実際に入賞したときに、R T ナビ抽選が実行されるものとしてもよい。

【0333】

また、例えば、キャラクタ A を選択したときにはビッグボーナス中の各ゲームで当選確率 $1/X$ の R T ナビ抽選を行い、キャラクタ B を選択したときには 2 ゲーム毎に当選確率 $2/X$ の R T ナビ抽選を行い、キャラクタ C を選択したときには 5 ゲーム毎に当選確率 $5/X$ の R T ナビ抽選を行うものとしてもよい (X は、5 よりも大きな定数)。何れにしても、ビッグボーナスが終了するまでに発生する可能性がある所定の事象が発生したときに、R T ナビ抽選を行うものとすることができる。

20

【0334】

上記の実施の形態では、単独当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づくビッグボーナスにおいて、例えば、遊技者がキャラクタ B を選択していたときには、払出仮定数が 4 6 6 枚を越えないことを条件に、スイカに当選したゲームでは何回でも R T ナビ抽選が行われるものとなっていた。もっとも、このようにビッグボーナス中に R T ナビ抽選が行われる機会が複数あるものに限るものではなく、例えば、ビッグボーナス中における 1 回目のスイカの当選ゲームに限り、R T ナビ抽選が行われるものとしてもよい。

30

【0335】

ビッグボーナスにおいて 1 回もスイカに当選することがないまま、メダルの払い出し総数が 4 6 5 枚を越えてビッグボーナスが終了してしまう可能性もあるが、ビッグボーナスのゲーム数が増えれば、1 回もスイカに当選せずにビッグボーナスが終了してしまう確率が低くなる (すなわち、1 回はスイカに当選する確率が高くなる)。この場合も、R T ナビ抽選が行われるのは、払出仮定数が 4 6 6 枚を越えないことを条件とすることで、ビッグボーナスの終了後に R T ナビが行われることとなる確率が想定外に高くなってしまふことがなくなる。

【0336】

上記の実施の形態では、単独当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づくビッグボーナスにおいて払出仮定数が 4 6 6 枚を越える前まで R T ナビ抽選が行われるものとしていたが、ビッグボーナスにおいて R T ナビ抽選を行う限度は、このように払出仮定数によって定めるものに限らない。例えば、ビッグボーナスにおける消化ゲーム数が予め定められた規定のゲーム数に到達するまでなど、ビッグボーナスの終了条件とは異なる予め定められた条件が成立するまで、R T ナビ抽選を行うものとしてもよい。

40

【0337】

ここで、ビッグボーナスにおける消化ゲーム数を条件として R T ナビ抽選を行うものとするものとする場合、R T ナビ抽選が行われることとなるゲーム数は、ビッグボーナスの終了までに必要な最低ゲーム数 (この例では、 $466 \div 15 = 31.06 \dots$ よりも大

50

きい最低の整数である 3 2 ゲーム) よりも大きいゲーム数 (3 3 ゲーム以上) とすることが好ましい。例えば、R T ナビ抽選が行われるゲーム数を 3 3 ゲームとした場合、仮にビッグボーナス中の全てのゲームでベル (1 5 枚役) に当選しても、そのうちの 1 ゲームを取りこぼせばビッグボーナス中のゲームを増やすことができる。

【 0 3 3 8 】

このように消化ゲーム数などのビッグボーナスの終了条件とは異なる条件で R T ナビ抽選が行われる限度として定めることで、消化ゲーム数などの定められた条件が成立すればビッグボーナスが継続中でも R T ナビ抽選が行われることがなくなるので、想定外の高確率で R T ナビが行われることがなくなる。一方、ビッグボーナス中の消化ゲーム数を R T ナビ抽選が行われる限度として定める場合も、これをビッグボーナスの終了までに必要な最低ゲーム数よりも大きいゲーム数とすることで、この払い出しメダル総数の 4 6 5 枚越えと、R T ナビ抽選が行われるまでの 3 3 ゲームをできる限り生かすという遊技における攻略要素が増えるので、遊技の興趣を向上させることができる。

10

【 0 3 3 9 】

上記の実施の形態では、スイカ + チェリーまたはリプレイ B とビッグボーナス (A) ~ (C) に同時当選したときに、R T ナビ抽選によらずにビッグボーナスが開始されるよりも前に遊技者にナビ権利を付与するものとしていたが、ビッグボーナスの開始前に遊技者にナビ権利を付与することとなる契機は、これに限るものではない。例えば、ビッグボーナス (A) ~ (C) のうちのビッグボーナス (A) の入賞に基づくビッグボーナスでは、ビッグボーナスの開始前に (ここでは、ビッグボーナス (A) の当選時に) 遊技者にナビ権利を付与するものとしてもよい。或いは、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナス以外の何れの遊技状態においても非常に低い確率 (例えば、1 / 5 0 0 程度) で当選するリプレイ E を設け、前回のビッグボーナスまたはレギュラーボーナスの終了から今回のビッグボーナスの開始までの間にリプレイ E に当選していたときに、ナビ権利を遊技者に付与するものとしてもよい。

20

【 0 3 4 0 】

上記の実施の形態では、単独当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づくビッグボーナスにおける払出仮定数が、ビッグボーナスの終了条件となる払い出しメダル総数の規定値の 4 6 5 枚よりも大きい 4 6 6 枚を越えたときに、未だビッグボーナスが継続していても R T ナビ抽選を行わないものとするとしていた。しかしながら、R T ナビ抽選が行われないものとなる払出仮定数の規定値とビッグボーナスの終了条件となる払い出しメダル総数の規定値との関係は、これに限るものではない。

30

【 0 3 4 1 】

払出仮定数の規定値は、ビッグボーナスの終了条件となる払い出しメダル総数の規定値よりも大きい任意の数に定めることができる。もっとも、その差は、あまり大きすぎないように適度に定める必要があり、例えば、当選した小役を数回程度 (1 回でも可) 取りこぼしたときに、ビッグボーナス中の払い出しメダル総数が規定数に達するゲームと、払出仮定数が規定数に達するゲームと同じになる程度に定めることが好ましい。

【 0 3 4 2 】

また、ビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞により制御されるビッグボーナスの終了条件となる払い出しメダル総数の規定数は、入賞したビッグボーナスの種類に応じて異なるものとしていてもよく、R T ナビ抽選を行わなくなる払出仮定数も、ビッグボーナスの種類毎に異なるものに定めることができる。例えば、ビッグボーナス (C) の入賞により制御されるビッグボーナスが払い出しメダル総数が 1 2 0 枚を越えたときに終了するものである場合は、当該ビッグボーナスでは払出仮定数が 1 2 1 枚を越える前まで R T ナビ抽選を行うものとするができる。

40

【 0 3 4 3 】

なお、本発明においては、払出仮定数が、ビッグボーナスの終了条件となる払い出しメダル総数の規定値と同じ 4 6 5 枚を越えたときに R T ナビ抽選を行わないものとしたり、4 6 5 枚よりも少ない所定数を越えたときに R T ナビ抽選を行わないものとするを、

50

除外するものではない。

【 0 3 4 4 】

上記の実施の形態では、単独当選したビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞に基づくビッグボーナスの終了後には、該ビッグボーナス中のＲＴナビ抽選に当選しているとＲＴナビが行われたが、ＲＴナビ抽選にハズレとなるとＲＴナビは全く行われなかった。しかしながら、このようにビッグボーナス後に特典が有る／無いを決定するものだけではなく、例えば、ビッグボーナスの終了後に必ず一定量の特典（例えば、３回のＲＴナビ）が付与されるが、ビッグボーナス中の抽選によって特典の追加（例えば、ＲＴナビの回数を１回ずつ追加）があるものであってもよい。

【 0 3 4 5 】

上記の実施の形態では、特別役の入賞により制御されるボーナスの遊技状態として、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の入賞により制御されるビッグボーナスと、レギュラーボーナスの入賞により制御されるレギュラーボーナスとがあったが、これらに代えて、或いはこれらに加えて、特別役としてチャレンジボーナスを設け、その入賞によりチャレンジボーナスの遊技状態に制御するものとすることができる。

【 0 3 4 6 】

遊技状態がチャレンジボーナスにあるときには、右のリール３Ｒについての最大停止遅延時間が通常の１９０ミリ秒から７５ミリ秒に短縮され、１コマだけの引き込みが許容されるが、内部抽選の結果に関わらずに、スイカ、ベル、チェリーという小役に入賞することが可能になる（すなわち、これらの小役の当選フラグが内部抽選によらずに設定される）。すなわち、内部抽選の結果によらずに、停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順に応じて小役入賞させることができるものとなる。チャレンジボーナスの遊技状態は、例えば、遊技者に払い出したメダルの枚数が２５４枚を越えたときに終了するものとすることができる。

【 0 3 4 7 】

チャレンジボーナスの遊技状態におけるゲームでもＲＴナビ抽選を行い、これに当選した場合にチャレンジボーナスの遊技状態が終了した後の通常遊技状態（及び特別ＲＴ）でＲＴナビを行うものとする場合は、チャレンジボーナス中においてＲＴナビ抽選を行うのは、チャレンジボーナスにおける各ゲームにおいて小役のうちでもメダルの払い出し枚数が最も多いベルに必ず入賞すると仮定した場合におけるメダルの払出仮定数が所定数（例えば、２５５枚）を越える前までとすることができる。払出仮定数が所定数を越えなくても、チャレンジボーナスが終了すればＲＴナビ抽選が行われなくなることは、上記の実施の形態におけるビッグボーナスの場合と同じである。

【 0 3 4 8 】

上記の実施の形態では、有利ＲＴに遊技状態を制御させるための図柄を小役であるスイカまたはチェリーとし、不利ＲＴに遊技状態を制御させるための図柄を再遊技役であるリプレイＡとしていた。これに対して、有利ＲＴに遊技状態を制御させるための図柄を何れかの種類の再遊技役としたり、不利ＲＴに遊技状態を制御させるための図柄を何れかの種類の小役とすることもできる。

【 0 3 4 9 】

例えば、有利ＲＴに遊技状態を制御させるための図柄を再遊技役であるリプレイＥ（例えば、「ＪＡＣ－スイカ－ベル」とし、リプレイＥは、スイカ＋チェリーの代わりに、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスのそれぞれと同時当選し得る役としてもよい。通常遊技状態、特別ＲＴ、レアＲＴ１、レアＲＴ２では、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとの同時当選の場合を含めて上記の実施の形態におけるスイカとチェリーの合計当選確率と同程度の確率でリプレイＥに当選するものとする（その分だけ、リプレイＡ（レアＲＴ２ではリプレイＣ）の当選確率が低くなる）が、不利ＲＴにおいては、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとの同時当選でだけリプレイＥに当選するものとするることができる。

【 0 3 5 0 】

この場合には、不利 R T に遊技状態が制御されている場合も、稀に有利 R T 図柄であるリプレイ E に入賞することがあるので、遊技に意外性が生じることとなり、遊技の興趣を向上させることができる。もっとも、上記の実施の形態のように有利 R T も不利 R T もゲーム数に制限がある遊技状態である場合には、不利 R T において有利 R T 図柄であるリプレイ E に入賞しても、不利 R T から有利 R T に遊技状態が制御されることはないものとなる。

【 0 3 5 1 】

しかし、不利 R T においてリプレイ E に入賞したときには、必ずビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているということになるので、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 でリプレイ E に入賞したときと同様に、或いはそれ以上に (通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 では、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスの当選の可能性を期待できるだけ) 遊技者の期待感を高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

10

【 0 3 5 2 】

上記の実施の形態では、ビッグボーナスの終了後に制御される特別 R T において、不利 R T に遊技状態を制御させるリプレイ A には全く当選し得ないものとなっていたが、特別 R T においては、通常遊技状態とは異なる確率でリプレイ A に当選するものとしてもよい。もっとも、特別 R T におけるリプレイ A の当選確率は、通常遊技状態におけるリプレイ A の当選確率よりも低いものとするのが好ましい。

【 0 3 5 3 】

20

上記の実施の形態では、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されていないときにおいて液晶表示器 4 にて実行される演出全般について、選択されている演出モードに応じて演出の実行確率を変えるものとしていた。もっとも、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されていないときにおいて液晶表示器 4 にて実行される演出のうちで特定の種類の演出 (例えば、ボーナス予告) のみについて、選択されている演出モードに応じて演出の実行確率を変えるものとしてもよい。

【 0 3 5 4 】

上記の実施の形態では、演出モード、演出ステージを振り分ける割合を異ならせる遊技の進行状況の区分は、通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1、レア R T 2 または残りゲーム数が 5 0 ゲーム以下の不利 R T の状況 1、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているときの有利 R T の状況 2、残りゲーム数が 5 1 ゲーム以上である不利 R T またはビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選していないときの有利状況の状況 3 の 3 つであった。しかしながら、演出モード、演出ステージを振り分ける割合を異ならせる遊技の進行状況の区分の仕方は、これに限るものではない。

30

【 0 3 5 5 】

例えば、不利 R T に制御されているときには残りゲーム数に関わらずに状況 3 に区分するものとしてもよい。また、有利 R T にだけ制御可能な特別 R T と、有利 R T にも不利 R T にも制御可能な通常遊技状態、レア R T 1 またはレア R T 2 とでは、異なる状況に区分するものとしてもよい。この場合、有利 R T にだけ制御可能な特別 R T にある状況では、有利 R T にも不利 R T にも制御可能な通常遊技状態、レア R T 1 またはレア R T 2 にある状況よりも高い割合で、演出高確率モードを選択し、また、演出ステージとしてステージ 3 を選択するものとするができる。

40

【 0 3 5 6 】

また、有利 R T だけではなく、不利 R T にあるときも、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているか否かに応じて、異なる状況に区分するものとするができる。さらに、有利 R T にだけ制御可能な特別 R T でも、有利 R T にも不利 R T にも制御可能な通常遊技状態、レア R T 1 またはレア R T 2 でも、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているか否かに応じて、異なる状況に区分するものとするができる。この場合、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュ

50

ラーボーナスに当選しているときの状況では、これらの当選していないときの状況よりも高い割合で、演出高確率モードを選択し、また、演出ステージとしてステージ3を選択するものとすることができる。

【0357】

さらに、演出モードを振り分けるための遊技の進行状況の区分と、演出ステージを振り分けるための遊技の進行状況との区分は、互いに異なる区分としてもよい。例えば、演出モードを振り分けるための遊技の進行状況の区分としては、通常遊技状態、特別RT、レアRT1、レアRT2及び残りゲーム数が50ゲーム以下の不利RTを同じ状況に区分するが、演出ステージを振り分けるための遊技の進行状況の区分としては、通常遊技状態、特別RT、レアRT1及びレアRT2と、残りゲーム数が50ゲーム以下の不利RTとを、異なる状況に区分するものとすることができる。

10

【0358】

上記の実施の形態では、演出高確率モードが選択されているときと演出低確率モードが選択されているときとで、演出ステージを振り分けるためのテーブルとして異なるテーブルを用いるものとしていた。しかしながら、演出モードに関わらずに同じテーブルを用いて、演出ステージを振り分けるものとしてもよい。この場合は、各ゲームで賭け数が設定されたときに、演出モードの振り分けと演出ステージの振り分けとの何れを先に行うものとしてもよい。

【0359】

この場合、スイカまたはチェリーの入賞により有利RTに制御されるものとなる通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利RTの残りゲーム数が50ゲーム以下のときには、不利RTの残りゲーム数が51ゲーム以上である場合に比べて、演出モードとして演出高確率モードが選択され、演出ステージとしてステージ3が選択される確率が高くなる。また、ステージ2とステージ1の選択確率にも違いがある。

20

【0360】

つまり、このように液晶表示器4で演出が実行される確率が高い（演出高確率モードが選択されていると考えられる）か低い（演出低確率モードが選択されていると考えられる）かによって、さらには実行される演出の演出ステージの違いによって現時点で通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2に制御されて有利RTに制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利RTの終了が近く、有利RTに制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器4にて行われる演出の実行確率及び演出ステージに遊技者の注目を集めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

30

【0361】

また、有利RTに制御されているときにおいて、ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスの何れかに当選しているときには、これらに当選していないときに比べて、演出モードとして演出高確率モードが選択され、演出ステージとしてステージ3が選択される確率が高くなる。また、ステージ2とステージ1の選択確率にも違いがある。このように有利RTに制御されているときにおいて、演出の実行確率の違い、及び選択されたステージの違いによってビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに当選しているかどうかを推測できるようになるので、有利RTに制御されているときにおいても液晶表示器4での演出の実行確率及び実行される演出の演出ステージに遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

40

【0362】

上記の実施の形態では、各ゲームで賭け数が設定されたときに、先に演出モードの振り分けを行い、ここで選択された演出モードに応じて異なるテーブルを用いて演出ステージの振り分けを行うものとしていた。これに対して、演出ステージの振り分けを先に行ってから、ここで選択された演出ステージに応じて異なるテーブルを用いて演出モードの振り分けを行うものとしてもよい。

50

【 0 3 6 3 】

演出ステージを振り分けるためのテーブルは、演出高確率モードか演出低確率モードかに従って分けられているのではなく、電源投入後ゲームであるか後続ゲームかに応じて分けられているものとすることができる。例えば、図 8 (b) のテーブルを電源投入後ゲームにおいて演出ステージを振り分けるためのテーブルとして用い、図 8 (c) のテーブルを後続ゲームにおいて演出ステージを振り分けるためのテーブルとして用いることができる。

【 0 3 6 4 】

演出モードを振り分けるためのテーブルは、遊技の進行状況の違いの他に、選択されている演出ステージの違いに従って、演出モードの振り分けを異ならせるものとすることができる。ここで、例えば、ステージ 2 が選択されているときには、ステージ 1 が選択されているときよりも高い確率で演出高確率モードが選択されるものとし、ステージ 3 が選択されているときには、ステージ 2 が選択されているときよりもさらに高い確率で演出高確率モードが選択されるものとする（演出モードの選択確率として、演出モードの変更なしが選択される確率を加味したものとしてもよい）。

【 0 3 6 5 】

また、このように先に選択された演出ステージに従って演出モードの振り分けを異ならせる場合には、スロットマシン 1 の電源を投入したときの演出モードの初期状態として、必ず演出低確率モードか演出高確率モードの何れか一方が設定されるものとする

【 0 3 6 6 】

この変形例においては、スイカまたはチェリーの入賞により有利 R T に制御されるものとなる通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 に制御されているとき、若しくは再び通常遊技状態に戻ることが近くなっている不利 R T の残りゲーム数が 5 0 ゲーム以下のときには、不利 R T の残りゲーム数が 5 1 ゲーム以上である場合に比べて、ステージ 3 が選択される確率が高くなり、また、ステージ 2 とステージ 1 とにも選択確率に違いが生じる。これにより、液晶表示器 4 に表示された背景画像や実行されているステージの違いによって有利 R T に制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利 R T の終了が近く、有利 R T に制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器 4 にて行われる演出の演出ステージに遊技者の注目を集めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【 0 3 6 7 】

また、演出ステージの振り分けを先に行ってから演出モードの振り分けを行うものとする場合において、ステージ 2 が選択されているときにはステージ 1 が選択されているときよりも高い確率で、さらにステージ 3 が選択されているときにはステージ 2 が選択されているときよりも高い確率で、演出高確率モードが選択されるものとするにより、演出の実行確率の違いによっても現時点で通常遊技状態、特別 R T、レア R T 1 またはレア R T 2 に制御されて有利 R T に制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利 R T の終了が近く、有利 R T に制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器 4 にて行われる演出の実行確率にも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。また、有利 R T に制御されているときにおいても演出の実行確率の違いによってもビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに当選しているかどうかを推測できるようになるので、液晶表示器 4 にて行われる演出の実行確率にも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【 0 3 6 8 】

上記の実施の形態では、スロットマシン 1 の電源を投入した直後のゲームである電源投入後ゲームでは、それより後のゲームである後続ゲームよりも高い確率で、演出高確率モードを選択するものとしていたが、演出ステージの振り分けに関しては、このような電源投入後ゲームであるか否かによる違いはなかった。これに対して、演出ステージの振り分

けも、電源投入後ゲームであるか後続ゲームであるかに応じて異なるものとすることができ、電源投入後ゲームにおいては、後続ゲームよりも高い割合でステージ3が選択されるようにしてもよい。

【0369】

上記の実施の形態では、演出ステージの変更時に旧画像から新画像に表示が切り替えられるときに、1フレーム期間で完全に画像が切り替えられる場合と、数フレーム期間の間に旧画像をワイプアウトさせながら新画像をワイプインさせて画像が切り替えられる場合とがあったが、前者と後者のそれぞれの確率は、演出高確率モードでは、 $1/4$ と $3/4$ であるのに対して、演出低確率モードでは、 $3/4$ と $1/4$ となった。しかしながら、例えば、演出高確率モードでは、100%の確率でワイプアウト/ワイプインにより画像の切り替えを行うものとしたり、演出低確率モードでは、100%の確率で1フレーム期間で画像の切り替えを行うものとしてもよい。

10

【0370】

また、演出（ボーナス当選を報知する演出でも画像の切り替え時のワイプイン/ワイプアウトによる演出でも可）の実行を先に決定し、該演出を実行することを決定したときに、選択されている演出モードに応じた確率で新たな演出ステージを選択させ、該演出の実行時に演出ステージが移行されるものとする 것도できる。なお、このような場合に演出ステージを移行させる確率は、演出高確率モードでは100%としてもよく、また、演出低確率モードでは0%としてもよい。

【0371】

20

この場合、演出高確率モードでは、演出低確率モードよりも演出が実行される確率が高い上に、演出の実行時に演出ステージが移行される確率も高くなる。このため、演出が実行されるときだけではなく、演出の実行時において演出ステージの移行を伴うかどうかによっても、現時点で通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2に制御されて有利RTに制御されるチャンスがあるかどうか、或いは不利RTの終了が近く、有利RTに制御されるチャンスが得られるのが近くなっているかどうかの判断材料となる。また、有利RTに制御されているときにおいても演出の実行確率の違いによってもビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに当選しているかどうかの判断材料となる。このため、液晶表示器4にて演出が実行されるときに演出ステージの移行を伴うかどうかにも遊技者の注目を集めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

30

【0372】

上記の実施の形態では、遊技状態がビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されているときにはスピーカ7L、7R、7Uからボーナス中楽曲を再生出力し、有利RTに制御されているときには有利RT中楽曲を再生出力し、それ以外の遊技状態にあるときは通常楽曲を再生出力するものとしていた。ここで、純増総数が1000枚を越え、且つ有利RT連荘数が5回以上となっているときには、ボーナス中に再生出力されるボーナス中楽曲はプレミアムボーナス中楽曲に変更され、有利RT中に再生出力される有利RT中楽曲はプレミアム有利RT中楽曲に変更されていたが、それ以外の遊技状態では、純増総数が1000枚を越え、且つ有利RT連荘数が5回以上となっていたとしても、再生出力される楽曲は、通常楽曲で変わりなかった。

40

【0373】

もっとも、純増総数が1000枚を越えている（或いは、さらに有利RT連荘数も5回以上となっている）ときには、ビッグボーナス、レギュラーボーナス及び有利RT以外の遊技状態であっても、通常楽曲とは異なる楽曲を再生出力するものとしてもよい。ビッグボーナス、レギュラーボーナス及び有利RT以外で純増総数が1000枚を越えている（或いは、さらに有利RT連荘数も5回以上となっている）状態となるのは、不利RT以外の通常遊技状態、特別RT、レアRT1またはレアRT2であり、これらの遊技状態にある間は、純増総数が減少するものと考えられるが、確率的に長期間に亘って継続し得る遊技状態ではないので、これらの遊技状態にある間に純増総数が1000枚を下回ることが

50

あっても特に問題がない。

【0374】

上記の実施の形態では、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間におけるメダルの純増総数が 1000 枚を越えているときに、さらに有利 R T 連荘数が 5 回以上となっていると、ボーナス中楽曲としてプレミアボーナス中楽曲を再生出力し、有利 R T 中楽曲としてプレミア有利 R T 中楽曲を再生出力するものとしていた。これに対して、有利 R T 連荘数に加えて、或いはこれに代えて、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間においてボーナス（ビッグボーナスのみとしても、レギュラーボーナスを含むものとしてもよい）に制御された回数に応じて、ボーナス中に再生出力されるボーナス中楽曲および / または有利 R T 中に再生出力される有利 R T 中楽曲の種類を変えるものとしてもよい。

10

【0375】

例えば、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間におけるメダルの純増総数が 1000 枚を越え、有利 R T 連荘数が 5 回以上となっているときに、さらに不利 R T に遊技状態が制御されることなく遊技が継続している間においてビッグボーナスに制御された回数が 3 回以上であれば、ボーナス中楽曲としてプレミアボーナス中楽曲を再生出力するが、3 回未満であれば、ボーナス中楽曲 B を再生出力するものとしてもよい。ビッグボーナスに制御された回数が 3 回以上であれば、プレミアボーナス中楽曲 A を再生出力するが、3 回未満であれば、プレミアボーナス中楽曲 B を再生出力するものとしてもよい。

【0376】

20

上記の実施の形態では、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間におけるメダルの純増枚数は、そのうちで最初に有利 R T に制御されたときにカウントを開始していた。もっとも、例えば、不利 R T においてビッグボーナス（A）～（C）やレギュラーボーナスに当選し、これに基づいて有利 R T よりも先にビッグボーナスやレギュラーボーナスに遊技状態が制御されることもある。このような場合は、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間におけるメダルの純増枚数は、最初にビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されたときにカウントを開始してもよい。

【0377】

上記の実施の形態では、遊技状態がビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されているときにはスピーカ 7 L、7 R、7 U からボーナス中楽曲を再生出力し、有利 R T に制御されているときには有利 R T 中楽曲を再生出力するものとしていた。そして、ボーナス中楽曲には、ボーナス中楽曲 A、ボーナス中楽曲 B 及びプレミアボーナス中楽曲の 3 種類があり、有利 R T 中楽曲には、有利 R T 中楽曲 A、有利 R T 中楽曲 B 及びプレミア有利 R T 中楽曲の 3 種類があったが、ボーナス中、有利 R T 中において何れの楽曲を再生出力するかは、不利 R T に制御されることなく遊技が継続している間における最初に有利 R T に制御されたときからのメダルの純増枚数と有利 R T 連荘数とに従って決められるものとしていた。

30

【0378】

これに対して、ボーナス中、有利 R T 中の演出を、ボーナス中楽曲、有利 R T 中楽曲の再生に代えて、或いはこれに加えて、他の演出手段で行うものとしてもよい。例えば、遊技状態がビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されているときには液晶表示器 4 にボーナス中画像を表示し、有利 R T に制御されているときには液晶表示器 4 に有利 R T 中画像を表示するものとしてもよい。

40

【0379】

ここで、ボーナス中画像には、ボーナス中楽曲 A、ボーナス中楽曲 B 及びプレミアボーナス中楽曲に対応してボーナス中画像 A、ボーナス中画像 B 及びプレミアボーナス中画像の 3 種類を設けるものとし、有利 R T 中画像には、有利 R T 中楽曲 A、有利 R T 中楽曲 B 及びプレミア有利 R T 中楽曲に対応して有利 R T 中画像 A、有利 R T 中画像 B 及びプレミア有利 R T 中画像の 3 種類を設けるものとするができる。ボーナス中、有利 R T 中において何れの画像を液晶表示器 4 に表示するかも、不利 R T に制御されることなく遊技が

50

継続している間における最初に有利 R T に制御されたときからのメダルの純増枚数と有利 R T 連荘数とに従って決めるものとするができる。

【 0 3 8 0 】

ここでのボーナス中画像は、上記の実施の形態においてビッグボーナス中に行われる演出の画像であってもよい。例えば、ボーナス中画像 A、ボーナス中画像 B 及びプレミアボーナス中画像のそれぞれについて、キャラクタ A、B、C、D の 4 パターンがあり、例えば、純増総数が 1 0 0 0 枚を越えていないときに開始されるビッグボーナスが単独当選に基づく入賞によるものであった場合、遊技者は、キャラクタ A のパターンでのボーナス中画像 A、キャラクタ B のパターンでのボーナス中画像 A、キャラクタ C のパターンでのボーナス中画像 A のうちから、ビッグボーナスの開始時において何れかを選択するものとすることができる。

10

【 0 3 8 1 】

上記の実施の形態では、不利 R T において 3 0 0 ゲームを消化すると通常遊技状態に戻るものとなっていたが、不利 R T においてリプレイ B、リプレイ C に入賞しても、それぞれレア R T 1、レア R T 2 に遊技状態が制御されるだけで、通常遊技状態に制御されるものではなかった。これに対して、不利 R T において所定の役に入賞したときに、短期間だけ所定の遊技状態に制御し、該所定の遊技状態のゲーム数を消化すると、通常遊技状態に戻るようにしてもよい。

【 0 3 8 2 】

図 1 0 は、この変形例にかかる遊技状態の遷移図である。この変形例においては、短期間だけ制御される所定の遊技状態を演出用 R T としており、3 ゲームの間だけ制御される。演出用 R T はゲーム数に制限のある遊技状態であるので、不利 R T から所定の役（リプレイ C とする）の入賞で演出用 R T に制御させるために、不利 R T は、ゲーム数に制限のない遊技状態とする。

20

【 0 3 8 3 】

内部中 R T には、通常遊技状態、特別 R T、演出用 R T または不利 R T においてビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに当選したときに制御されるものとなっており、有利 R T でこれらの役に当選しても内部中 R T には制御されないが、有利 R T でこれらの役に当選した状態は、実際にはこれらの役に当選していない状態とは異なる状態と考える。

30

【 0 3 8 4 】

演出用 R T に遊技状態を制御させるリプレイ C は、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスとの同時当選役となっている。また、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの当選により、これらに入賞するまで内部中 R T に制御される。また、リプレイ A ～ C の他に、リプレイ D（例えば、「J A C - ベル - ベル」）があり、リプレイ D も、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスよりも優先して入賞させられる。

【 0 3 8 5 】

ゲーム数に制限のない不利 R T からゲーム数に制限のある有利 R T に制御されることがないようにするため、有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄を導出させる役には、不利 R T において当選しないものとする。演出用 R T でも有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄を導出させるための役には、当選しないものとする。各小役の当選確率を遊技状態毎に変えないようにするため、この役を再遊技役（リプレイ B）とする。ゲーム数に制限のある有利 R T からゲーム数に制限のない不利 R T に制御されることがないようにするため、不利 R T に遊技状態を制御させるための図柄を導出させる役も、再遊技役（リプレイ D）とする。

40

【 0 3 8 6 】

内部中 R T（通常遊技状態、特別 R T、演出用 R T、不利 R T の何れから制御されたものも含む）において、ビッグボーナス（A）～（C）の何れかに入賞するとビッグボーナスに、レギュラーボーナスに入賞するとレギュラーボーナスに制御されるものとなってい

50

る。ビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに当選しているときの有利RTも同様である。ビッグボーナス、レギュラーボーナスは、それぞれ上記の実施の形態に示したものと同じで、それぞれの終了後に特別RT、通常遊技状態に制御されるものとなっている。内部中RT、或いはビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに当選しているときの有利RTからは、リプレイCに入賞しても演出用RTには制御されない。

【0387】

特別RTは、上記の実施の形態の特別RTとほぼ同じであるが、ここでは、リプレイAに1/13.3の確率で、リプレイDに1/16.2の確率で当選し、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスとの同時当選でのみリプレイCに当選する。特別RTにおいてリプレイDに入賞すると有利RTに、15ゲームを消化すると通常遊技状態に制御される。特別RTでのリプレイCの当選に基づいてリプレイCに入賞したときは、これと同時に当選したビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスの当選に基づいて内部中RTに制御されているため、演出用RTには制御されない。

10

【0388】

通常遊技状態では、リプレイDに1/16.2、リプレイBに1/13.3の確率で当選し、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスとの同時当選でのみリプレイCに当選し、リプレイAには当選しない。通常遊技状態にリプレイDに入賞すると有利RTに、リプレイBに入賞すると不利RTに制御される。通常遊技状態でのリプレイCの当選に基づいてリプレイCに入賞したときは、これと同時に当選したビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスの当選に基づいて内部中RTに制御されているため、演出用RTには制御されない。

20

【0389】

有利RTは、上記の実施の形態の有利RTと同じく200ゲームを限度として制御される遊技状態であり、有利RTでは、リプレイAに1/1.2の確率で当選し、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスとの同時当選でのみリプレイCに当選し、リプレイB、リプレイDには当選しない。有利RTではリプレイBに入賞しないので、有利RTから不利RTに遊技状態が制御されることはない。有利RTでのリプレイCの当選に基づいてリプレイCに入賞したときは、これと同時に当選したビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスの当選によって、これらに当選したときの有利RTとは異なる状態とされる有利RTに制御されるため、演出用RTには制御されない。

30

【0390】

不利RTは、ゲーム数の制限なく制御される遊技状態であり、不利RTでは、リプレイBに1/7.5の確率で当選し、リプレイCに1/300の確率で単独当選し、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスとの同時当選でもリプレイCに当選し、リプレイB、リプレイDには当選しない。不利RTにおいてリプレイBに入賞しても、改めて最初から不利RTに制御されるのではなく、これまでの不利RTがそのまま継続するだけである(もっとも、ゲーム数に制限がないので、改めて最初から不利RTに制御されるものとしても、実質的な変わりはない)。

【0391】

また、不利RTではリプレイDに入賞しないので、不利RTから有利RTに遊技状態が制御されることはない。不利RTからそのまま通常遊技状態に制御されることもない。一方、不利RTにおいてリプレイCに入賞すると(ビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに同時当選していない場合)、演出用RTに遊技状態が制御されるものとなる。不利RTでビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスとリプレイCに同時当選し、これに基づいてリプレイCに入賞した場合は、既にビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスの当選に基づいて内部中RTに制御されているため、演出用RTには制御されない。

40

【0392】

演出用RTは、3ゲームの期間だけ制御される遊技状態であり、演出用RTでは、ピッ

50

グボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとの同時当選を含めて１／２．１の確率でリプレイＡに当選し、リプレイＢ～Ｄには当選しない。演出用ＲＴにおいてはリプレイＢ、Ｄには入賞しないので、演出用ＲＴから特別ＲＴ、有利ＲＴまたは不利ＲＴに制御されることはない。演出用ＲＴでビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスとリプレイＣに同時当選し、これに基づいてリプレイＣに入賞した場合は、既にビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスの当選に基づいて内部中ＲＴに制御されているため、演出用ＲＴには制御されない。演出用ＲＴにおいて３ゲームを消化すると、通常遊技状態に制御される。内部中ＲＴにおけるリプレイ当選確率は、演出用ＲＴと同じである。

【０３９３】

なお、演出用ＲＴの継続ゲーム数は、３ゲームに限るものではなく、１ゲーム以上の任意のゲーム数とすることができるが、あまり長すぎないものとする必要がある。少なくとも有利ＲＴの継続ゲーム数、不利ＲＴにおけるリプレイＣの当選確率（ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとの同時当選の場合を含む）の逆数よりは少ないものとする必要がある。さらに、通常遊技状態におけるリプレイＢの当選確率の逆数よりも少ないものとするのが好ましい。

【０３９４】

また、この変形例にかかるスロットマシンでは、内部中ＲＴに制御された（すなわち、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選した）次のゲームから、または有利ＲＴでビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選した次のゲームから、若しくは演出用ＲＴに制御されたゲームから、３ゲームの期間に亘って継続する連続演出を行うものとしている。

【０３９５】

この中連続演出は、ボーナス当選用と非当選用のそれぞれについて演出のシナリオとして、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４種類のシナリオのパターンが用意されており、シナリオ毎に定められた一連のストーリー性を持って展開される。つまり、連続演出の継続ゲーム数である３に合わせて３段階で発展するストーリーがシナリオ毎に定められているが、３段階目の最後にビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）またはレギュラーボーナスに当選しているか、通常遊技状態に制御されるかが報知される。これ以外は、同じシナリオのパターンであれば、ボーナス当選用と非当選用とでの違いはない。

【０３９６】

シナリオの選択については、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選している（同時当選と持ち越しの双方を含む）ときには、Ａ、Ｂ、Ｃのシナリオのパターンがそれぞれ４％、２０％、７６％の割合で選ばれる。一方、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の何れにも当選していないときには、Ａ、Ｂ、Ｃのシナリオのパターンが、それぞれ７６％、２０％、４％の割合で選ばれる。最初からシナリオＤのパターンが選ばれることはない。

【０３９７】

連続演出は、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスに入賞しない限り３ゲームの期間に亘って継続して実行されるものとなるが、この連続演出が実行されているときの各ゲームで、新たにビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとの同時当選役であるリプレイＣに当選することがある（同時に抽選対象役となっているビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの新たな当選は無効）。

【０３９８】

この場合には、そのままリプレイＣに入賞するので、当該ゲームでのリプレイＣの入賞を予め見越して、先に選択されていたシナリオの演出パターンに変えて、新たなシナリオの演出パターンに選択変更するものとしている。より詳細に説明すると、リプレイＣに入賞したときにおいてシナリオＡのパターンが選択されていた場合には、シナリオＢのパターンに変更され、シナリオＢのパターンが選択されていた場合には、シナリオＣのパターンに変更され、シナリオＣのパターンが選択されていた場合には、シナリオＤのパターン

10

20

30

40

50

に変更される。既にシナリオDのパターンが選択されているときに、さらにリプレイCに当選しても、シナリオの選択変更はない。

【0399】

また、演出用RTに制御されたゲームから開始された連続演出（非当選パターン）が実行されているときに新たにビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに単独で当選すると、同じシナリオの当選パターンに選択変更するものとしている。ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスとリプレイCに同時当選した場合は、シナリオの変更と当選パターンへの変更とが行われる。

【0400】

なお、ここでは、リプレイCが取りこぼしが発生しない役であるので、リプレイCの当選でシナリオの変更を行っていたが、リプレイCが停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順に応じて取りこぼしが発生することのある役である場合には、リプレイCに当選したときに入賞を予め見越してシナリオの選択変更を行うものとしても、リプレイCの当選に基づいて実際にリプレイCに入賞したときにシナリオの選択変更を行うものとしてもよい。

【0401】

この変形例にかかるスロットマシンにおいては、通常遊技状態または特別RTにおいてリプレイDに入賞すると有利RTに遊技状態が制御され、通常遊技状態においてリプレイBに入賞すると不利RTに遊技状態が制御される。不利RTは、ゲーム数の制限なしに制御される遊技状態であるが、不利RTにおいてリプレイDに当選することはないので、不利RTからそのまま有利RTに制御されることはない。つまり、不利RTから有利RTに遊技状態が制御されるチャンスは全くない。

【0402】

もっとも、不利RTに制御されたときであっても、ここでリプレイCに入賞すると、3ゲーム限りで終了する演出用RTに遊技状態が制御され、演出用RTで僅か3ゲームだけを消化すれば再び通常遊技状態に制御されるものとなる。通常遊技状態に制御されれば、リプレイDに入賞して有利RTに制御されるチャンスが再び得られるものとなる。つまり、一旦不利RTに制御されてもリプレイCの入賞に基づく演出用RTを介して通常遊技状態に制御されるチャンスがあり、そのチャンスを生かして通常遊技状態に制御されれば有利RTに制御されるチャンスも生じることとなる。このため、不利RTに遊技状態が制御されても、遊技者を落胆させずに済むものとなる。

【0403】

また、ビッグボーナスの終了後に制御される特別RTでは、リプレイBの当選確率が0となっているために、ここから不利RTには制御され得ないのに対して、不利RTから演出用RTを介して制御される通常遊技状態では、リプレイBに1/13、3の確率で当選し、これに入賞すると不利RTに遊技状態が制御されるものとなっている。このように不利RTに遊技状態を制御させるリプレイBの当選確率に差があり、特に不利RTから演出用RTを介して制御された通常遊技状態からは再び不利RTに制御される危険もあるものとなることで、通常遊技状態と特別RTの比較での遊技における面白みが増し、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0404】

また、リプレイCは、ビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスと同時当選し得る役となっており、不利RTにおいてリプレイCに入賞したときには、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかに当選したという可能性があることになる。このようにビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかに当選している可能性があるリプレイCに入賞した後のゲームから、3ゲームの間だけ継続する連続演出が行われる。

【0405】

また、連続演出は、実際にビッグボーナス（A）～（C）またはレギュラーボーナスに当選した次のゲームからも3ゲームの間だけ継続して行われるものとなっている。そして

10

20

30

40

50

、3ゲームの最後でビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスに当選しているか通常遊技状態に制御されるかが報知されるものとなっている。このような連続演出により、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの当選に対する遊技者の期待感を効果的に高めさせて、遊技の興趣を向上させることができる。

【0406】

また、連続演出が行われているというだけで既にビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかに当選したという可能性があるということになるが、実際には、単独当選したリプレイCの入賞に基づいて演出用RTに遊技状態が制御されることもある。このような演出用RTで再びリプレイCに入賞するものとなるときは、ここで新たにビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかに当選したという可能性もある

10

【0407】

そして、このようにビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの当選可能性が高まる演出用RTにおけるリプレイCの当選で実行中の連続演出のシナリオを変更するものとしているため、このシナリオの変更でビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの当選に対する遊技者の期待感をいっそう効果的に高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【0408】

また、リプレイCは、ビッグボーナス(A)～(C)またはレギュラーボーナスと同時に当選可能な役となっているため、この同時当選を条件として、通常遊技状態、特別RT及び有利RTにおいてもリプレイCに当選することがあるが、ここでの当選に基づくリプレイCの入賞では、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかの当選が確定しているということになる。これにより、これまで不利RT以外の通常遊技状態、特別RT及び有利RTに制御されていたときのリプレイCの入賞は、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの当選に対する遊技者の期待感を大いに高めさせるものとなり、遊技の興趣を向上させることができる。

20

【0409】

なお、図10に示した変形例において、演出用RTに遊技状態を制御させるリプレイCに単独で当選するのは、遊技状態が不利RTに制御されているときだけであったが、通常遊技状態でもリプレイCに単独で当選することがあってもよい。通常遊技状態におけるリプレイCの入賞で演出用RTに遊技状態が制御された場合も、不利RTにおけるリプレイCの入賞で演出用RTに遊技状態が制御された場合と同様に、連続演出を実行するものとする

30

【0410】

また、連続演出の継続ゲーム数は、演出用RTの継続ゲーム数と必ずしも同じにしなければならないものではなく、演出用RTの継続ゲーム数以下の任意のゲーム数に設定することができる。もっとも、連続演出の行われるゲーム数は、入賞させるための停止ボタン12L、12C、12Rの操作手順が互いに重複しないボーナスの種類数(ここでは、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの4種類)に、連続演出が実行されている間にリプレイ(ここでは、リプレイA、リプレイCのみ)に当選するゲーム数の期待値を加算した数よりも小さくなるゲーム数に定めることが好ましい(そのうちで最大の整数値に定めることがより好ましい)。

40

【0411】

また、特別RTにおいて不利RTに遊技状態を制御させるリプレイBに全く当選し得ないものとするのではなく、通常遊技状態とは異なる確率でリプレイBに当選させるものとしてもよい。ここでも、特別RTにおけるリプレイBの当選確率は、通常遊技状態におけるリプレイBの当選確率よりも低いものとするのが好ましい。或いは、特別RTにおけるリプレイBの当選確率を通常遊技状態と同じとするが、特別RTにおいて有利RTに遊技状態を制御させるリプレイDの当選確率を、通常遊技状態よりも高くするものとしても

50

よい。

【 0 4 1 2 】

また、演出用 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるリプレイ C だけではなく、有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるリプレイ D も、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスと同時当選する役とすることができる。ここで、不利 R T では、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスとの同時当選の場合以外は、リプレイ D に当選しないものとすることができる。

【 0 4 1 3 】

この場合には、不利 R T に遊技状態が制御されている場合も、稀に有利 R T 図柄であるリプレイ D に入賞することがあるので、遊技に意外性が生じることとなり、遊技の興趣を向上させることができる。しかも、これまで不利 R T に制御されていたときにリプレイ D に入賞したときには、ビッグボーナス (A) ~ (C)、レギュラーボーナスの当選も確定したこととなるので、遊技者の期待感を大いに高めさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

10

【 0 4 1 4 】

また、この変形例にかかるスロットマシンでも、有利 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるリプレイ D か、不利 R T に遊技状態を制御させるための図柄であるリプレイ B の少なくとも一方が、停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R の操作手順に応じて取りこぼしのある図柄であるときには、ビッグボーナスの終了後にナビ権利が付与されていることを条件として、リプレイ D および / またはリプレイ B の当選を報知する R T ナビを行うものとすることができる。

20

【 0 4 1 5 】

ここでも、ビッグボーナス (A) ~ (C) にリプレイ C と同時当選することによってビッグボーナスの開始前からナビ権利が遊技者に付与されたとき、または単独当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づいて制御されたビッグボーナスにおいて行われる R T ナビ抽選に当選したときに (R T ナビ抽選の実行、結果の報知については、上記の実施の形態と同じ)、遊技者にナビ権利を付与するものとすることができる。

【 0 4 1 6 】

また、図 1 0 に示した変形例において、例えば、1 ゲーム限りで終了する演出用 R T (A) と 1 0 ゲームに亘って継続する演出用 R T (B) とを設け、それぞれリプレイ C、リプレイ E (例えば、「 J A C - スイカ - ベル 」) の入賞で制御されるものとする。演出用 R T (A) と演出用 R T (B) における各種リプレイの当選確率を図 1 0 の演出用 R T と同じとすると、ビッグボーナス (A) ~ (C) またはレギュラーボーナスに入賞しない限り、演出用 R T (A) と演出用 R T (B) の何れもそれぞれの規定ゲーム数だけ続くものとなる。

30

【 0 4 1 7 】

演出用 R T (A) では通常遊技状態に制御されるまで 1 ゲームだけで済むのに、演出用 R T (B) では不利 R T が終了して通常遊技状態に制御されることは確定しているものの 1 0 ゲームを消化するまでは通常遊技状態に制御されないものとなっている。このため、同じように不利 R T を脱出することが可能な役であるにしても、リプレイ C とリプレイ E の何れに入賞するかにまで遊技者の興味を持たせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

40

【 0 4 1 8 】

上記の実施の形態では、スイカ + ベルまたはリプレイ B と同時当選したビッグボーナス (A) ~ (C) の入賞に基づいて制御されたビッグボーナスが終了した後か、終了までに R T ナビ抽選に当選したビッグボーナスが終了した後に、R T ナビを行い、スイカおよび / またはチェリーに当選した旨を遊技者に報知するものとしていた。これに対して、ビッグボーナスの終了後に R T ナビが行われることとなるナビ権利は、ビッグボーナスにおいて遊技者が所定のミッションをクリアしたときに付与するとすることができる。

【 0 4 1 9 】

50

ビッグボーナス中に課されるミッションとしては、遊技者の技術介入によって達成されるものとしてことができ、例えば、何れの小役にも入賞させずにハズレの表示結果を導出させることとしてもよい。もっとも、ビッグボーナス中に遊技者に課されるミッションは、これに限るものではなく、複数種類のものがあってもよい。複数種類のミッションがある場合には、遊技者は、ビッグボーナスの開始時において自らの操作により課されるミッションを選択できるものとしてもよい。

【0420】

このようにビッグボーナスの終了後においてRTナビが実行されるナビ権利を遊技者の技術介入により達成されるミッションのクリアにより付与することによって、メダルの払出率が1を越え、遊技者に有利な遊技状態となる有利RTへの制御に関して遊技者の技術介入性をさらに高めることができ、遊技の興趣を向上させることができる。さらに、遊技者が課されるミッションの種類を選択できるようにすることで、遊技者の遊技に対する介入感をさらに高めさせ、これによって遊技の興趣を向上させることができる。

10

【0421】

なお、ナビ権利は、ミッションをクリアする度に付与するものとし、例えば、1回のミッションクリアで5ゲームのナビ権利が付与されるものとした場合には、遊技者が1回のミッションをクリアしたならばビッグボーナスの終了後に5ゲームを消化するまで、或いは3回のミッションをクリアしたならばビッグボーナスの終了後に15ゲームを消化するまで、スイカおよび/またはチェリーの当選を報知するものとしてすることができる。或いは、1回のミッションで1回のナビ権利が付与されるものとした場合には、遊技者が3回のミッションをクリアしたならば、ビッグボーナスの終了後に3回スイカまたはチェリーに当選するまで、スイカまたはチェリーに当選した旨を報知するものとしてすることができる。

20

【0422】

上記の実施の形態では、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの当選は、ボーナス告知ランプ66の点灯により告知される場合の他、1ゲームの期間限りで行われる演出によって報知されるものとしていた。これに対して、複数ゲームの期間に亘って継続して所定の画像を液晶表示器4に表示することにより実行される連続演出によって、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの当選を報知するものとしてもよい。

【0423】

このような連続演出は、ビッグボーナスまたはレギュラーボーナスに制御されていないときにおいて、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの何れかに当選した(他の役に同時当選した場合を含む)ときの他に、スイカに当選したとき、チェリーに当選したとき、及びリプレイBに当選したとき(但し、既にビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスに当選している場合を除く)とに開始されるものとしてすることができる。

30

【0424】

また、連続演出の演出パターンとしては、最終段階の演出においてビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの当選を示す告知パターンと、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの何れにもハズレとなっていることを示す予告パターンとを用意することができ、演出のシナリオとして、A、B、C、Dの4種類のシナリオのパターンを用意することができる。告知パターンと予告パターンとでは、それぞれ最終段階の演出で示される結果だけが異なる同じシナリオのパターンが用意されている。連続演出は、シナリオ毎に定められた一連のストーリー性を持って展開される。

40

【0425】

連続演出の演出パターンは、連続演出が開始するとき、すなわち上記した開始契機が成立したときに選択される。ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの何れかの当選で連続演出が開始されるときには告知パターンが、ビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの当選以外の契機で連続演出が開始されるときには予告パターンが選ばれる。連続演出の開始後にビッグボーナス(A)~(C)、レギュラーボーナスの何

50

れかに当選したときには、予告パターンから告知パターンに変更される（スイカ、チェリーまたはリプレイ B に当選したときは、シナリオの変更もある）。

【0426】

シナリオの選択については、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかに当選しているときには、例えば、A、B、C のシナリオのパターンがそれぞれ 4 %、20 %、76 % の割合で選ぶことができる。一方、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れにも当選していないときには、A、B、C のシナリオのパターンが、それぞれ 76 %、20 %、4 % の割合で選ぶことができ、最初からシナリオ D のパターンが選ばれることはないものとして選ぶことができる。

【0427】

さらに、連続演出は、ビッグボーナス（A）～（C）に入賞しない限り 5 ゲームの期間に亘って継続して実行されるものとなるが、この連続演出が実行されているときの各ゲームで、新たにビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスとの同時当選役であるスイカ、チェリー、またはリプレイ B に当選したりすることがある。この場合には、そのままスイカ、チェリーまたはリプレイ B に入賞する場合が多いので、当該ゲームでのスイカ、チェリーまたはリプレイ B の入賞を予め見越して、先に選択されていたシナリオの連続演出の演出パターンに変えて、新たなシナリオの演出パターンに選択変更するものとしている。

【0428】

より詳細に説明すると、シナリオ A のパターンが選択されていた場合には、シナリオ B のパターンに変更され、シナリオ B のパターンが選択されていた場合には、シナリオ C のパターンに変更され、シナリオ C のパターンが選択されていた場合には、シナリオ D のパターンに変更される。既にシナリオ D のパターンが選択されているときに、さらにスイカ、チェリーまたはリプレイ B に当選しても、シナリオの選択変更はない。

【0429】

なお、連続演出の行われるゲーム数は、入賞させるための停止ボタン 12L、12C、12R の操作手順が互いに重複しないボーナスの種類数（ここでは、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの 4 種類）に、連続演出が実行されている間にリプレイ A～リプレイ C に当選するゲーム数の期待値を加算した数よりも小さくなる（そのうちで最大の整数値であることが好ましい）ように定めることができる。このように連続演出のゲーム数を定めることによって、連続演出が終了するまでにビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れにも当選していないことが判明してしまわずに済むものとなる。

【0430】

また、連続演出が行われている間のゲームで、スイカ＋チェリーまたはリプレイ B と、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかと同時当選する場合もあり、既に連続演出が行われていても、スイカ、チェリー、またはリプレイ B に入賞したときには、ビッグボーナス（A）～（C）、レギュラーボーナスの何れかに当選していることへの期待感が高められるものとなる。連続演出は、その開始時において複数種類のシナリオのパターンの中から何れかのシナリオのパターンが選択されて実行されるが、連続演出が開始された後にスイカ、チェリーまたはリプレイ B に入賞したときには、異なるシナリオのパターンに変更されるものとなる。これにより、遊技者の期待感の高まりに沿った演出を行うことができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【0431】

なお、連続演出のゲーム数は、特定のゲーム数で固定してもよいが、上記の条件を満たす限り、複数種類のものを定めることができる。また、全ての種類のボーナスに当選していないことが判明するまでのゲーム数であることを条件として、連続演出の継続ゲーム数を途中で延長することもできる。また、例えば、リール 3R の 2 番に「BAR」が配置されていた場合は、ビッグボーナス（B）に入賞させるための停止ボタン 12L、12C、12R の操作手順とレギュラーボーナスに入賞させるための操作手順が重複することとな

10

20

30

40

50

るので、依然として入賞させるための操作手順が重複していないビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）の３種類を基準として連続演出の継続ゲーム数を定めるものとすることができる。

【０４３２】

上記の実施の形態では、スイカは、単独当選と、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとチェリーとの同時当選で当選となるものとなっていた。これに対して、さらにスイカとチェリーの同時当選となる場合と、スイカとビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかと同時当選となる場合があってもよい。この場合において、スイカの単独当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとの同時当選の確率の比は、スイカとチェリーの同時当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとチェリーとの同時当選の確率に対する比とは異なるものとすることができる。

10

【０４３３】

そして、スイカの単独当選またはビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカの同時当選時にスイカに入賞させるときには、原則として横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるものとすることができる。“原則として”横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるとは、少なくとも停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順に横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させることができるときは、対角線方向の入賞ラインにも導出させることができるか否かに関わらずに横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるが、停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順により対角線方向の入賞ラインにしかスイカの図柄組み合わせを導出させることができない場合は、例外的に対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるということである。

20

【０４３４】

一方、スイカとチェリーの同時当選またはビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとチェリーの同時当選時にスイカに入賞させるときには原則として対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるものとすることができる。これにより、同じようにスイカに入賞した場合であっても、横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせが導出されたときには、対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせが導出されたときよりも、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選していることをより期待できるものとなっていた。

30

【０４３５】

一方、スイカの単独当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとチェリーとの同時当選の確率の比は、スイカとチェリーの同時当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとの同時当選の確率に対する比と異なるものとすることもでき、スイカの単独当選またはビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカとチェリーの同時当選時にスイカに入賞させるときには原則として横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させ、スイカとチェリーの同時当選またはビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかとスイカの同時当選時にスイカに入賞させるときには原則として対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるものとしてもよい。

40

【０４３６】

また、例えば、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れとも同時当選とならずにスイカ、スイカ＋チェリーに当選することがないものとし、設定値１～設定値６のうちで所定の設定値（例えば、高設定である設定値４～６）に設定されているときにおけるビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとスイカとの同時当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選の確率の比は、他の設定値に設定されているときにおけるビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとスイカとの同時当選の確率に対するビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選の確率の比とは、異な

50

るものとすることができる。

【0437】

この場合は、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかとスイカとに同時当選しているときには横方向の入賞ラインでスイカに入賞する割合が高く、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れかとスイカとチェリーとに同時当選しているときには対角線方向の入賞ラインでスイカに入賞する割合が高いものとなる。そして、スイカに入賞する入賞ラインが横方向の入賞ラインとなる場合と対角線方向の入賞ラインとなる場合との割合が所定の設定値に設定されているか否かに応じて異なるものとなる。これにより、スイカに入賞する場合にその図柄組み合わせが導出される入賞ラインの割合に応じて設定値を推測することが可能となる。また、スイカの図柄組み合わせが導出された入賞ラインが何れとなった場合でも、所定の設定値である可能性が残っているので、高設定となっていることに対する遊技者の期待感が損なわれることがない。

10

【0438】

また、例えば、ビッグボーナス(A)とスイカとの同時当選、ビッグボーナス(A)とスイカとチェリーとの同時当選、レギュラーボーナスとスイカとの同時当選、レギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選の機会を設けてもよい(ここでは、ビッグボーナス(A)またはレギュラーボーナスと同時当選となる場合を除いては、スイカ、スイカ+チェリーに当選しないものとする)。ここで、ビッグボーナス(A)とスイカの同時当選の確率に対するビッグボーナス(A)とスイカとチェリーとの同時当選の確率の比を、レギュラーボーナスとスイカの同時当選の確率に対するレギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選の確率の比と異なるものとすることができる。

20

【0439】

この場合において、例えば、ビッグボーナス(A)とスイカとの同時当選またはレギュラーボーナスとスイカとの同時当選時にスイカに入賞させるときには横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させることを原則とし、ビッグボーナス(A)とスイカとチェリーとの同時当選またはレギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選時にスイカに入賞させるときには対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させることを原則とするものであってもよい。

【0440】

この場合は、スイカに入賞するときにおいて、同時当選しているのがビッグボーナス(A)であるか、これよりも制御されるビッグボーナスの有利度が低いレギュラーボーナスであるかに応じて、スイカの図柄組み合わせが導出されやすい入賞ラインが異なることとなる。このため、スイカに入賞した入賞ラインに応じてビッグボーナス(A)かレギュラーボーナスかの何れが当選しているかという期待感を遊技者に与えることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。また、スイカの図柄組み合わせが導出された入賞ラインが横方向の入賞ラインとなった場合も対角線方向の入賞ラインとなった場合も、より有利度が高いビッグボーナスへの移行を伴うビッグボーナス(A)の当選に対する遊技者の期待感が損なわれることがない。

30

【0441】

なお、ビッグボーナス(A)とスイカとの同時当選の確率に対するレギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選の確率の比が、ビッグボーナス(A)とスイカとチェリーとの同時当選の確率に対するレギュラーボーナスとスイカとの同時当選の確率の比とは異なるものとしてもよく、ビッグボーナス(A)とスイカとの同時当選またはレギュラーボーナスとスイカとチェリーとの同時当選時にスイカに入賞させるときには原則として横方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させ、ビッグボーナス(A)とスイカとチェリーとの同時当選またはレギュラーボーナスとスイカとの同時当選時にスイカに入賞させるときには原則として対角線方向の入賞ラインにスイカの図柄組み合わせを導出させるものとしてもよい。

40

【0442】

上記の実施の形態では、ビッグボーナス(A)～(C)、レギュラーボーナスの何れか

50

に当選しても入賞しない限り、何らの遊技状態の移行もないものとなっていた。これに対して、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選したときに、その後に規定ゲーム数（例えば、３０ゲーム）を消化するまで、遊技状態をＡＴ（Assist Time）に制御するものとしてもよい。

【０４４３】

ＡＴの遊技状態では、停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順に応じて入賞可能な小役に当選すると、当選した役の種類が遊技者に報知される。この報知は、演出制御基板１０２のＣＰＵ１２１が、ゲームスタート時に遊技制御基板１０１から送られる当選状況通知コマンドに基づいて、液晶表示器４に所定の画像を表示させることなどにより行うことができる。

10

【０４４４】

ボーナス当選後に制御されるＡＴで当選が報知される対象となる役は、入賞させるための停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒの操作手順が排他的な複数種類のものからなるものとして行うことができる（例えば、中と右のリール３Ｃ、３Ｒについて「赤７」、「白７」、「ＢＡＲ」を互いに７コマ間隔で１つずつ配置し、「ベル－赤７－赤７」を対象役Ａ、「ベル－赤７－白７」を対象役Ｂ、「ベル－赤７－ＢＡＲ」を対象役Ｃ、「ベル－白７－赤７」を対象役Ｄ、「ベル－白７－白７」を対象役Ｅ、「ベル－白７－ＢＡＲ」を対象役Ｆ、「ベル－ＢＡＲ－赤７」を対象役Ｇ、「ベル－ＢＡＲ－白７」を対象役Ｈ、「ベル－ＢＡＲ－ＢＡＲ」を対象役Ｉ、とする）。

【０４４５】

20

ここで、何れかの種類の対象役に当選しているときに、当選しているものに必ず入賞するものとして計算するとメダルの払出率が１を越えるが、対象役の種類に応じた割合（例えば、上記の対象役Ａ～Ｉがあって各々の当選確率が同じだとすると、９分の１）でしか入賞し得ないものと計算するとメダルの払出率が１を下回るように、各対象役の当選確率を設定しておくことができる。

【０４４６】

このようにビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選するまでのゲームと、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選した後の規定ゲーム数を消化するまでのゲームとの間の遊技者にとっての有利度の差を、各々の遊技状態における各役の当選確率の差以上に生じさせて、遊技にメリハリを生じさせることができるようになる。しかも、ビッグボーナス（Ａ）～（Ｃ）、レギュラーボーナスの何れかに当選した後のＡＴは、遊技者の技術介入を前提として真に遊技者にとって有利な遊技状態となるものであるので、遊技の興趣をいっそう向上させることができる。

30

【０４４７】

上記の実施の形態では、遊技制御基板１０１のＲＡＭ１１２も、演出制御基板１０２のＲＡＭ１２２も、ともにバッテリーバックアップされるものとなっており、スロットマシン１の電源をＯＦＦしても記憶しているデータが保持されるものとなっていた。もっとも、バッテリーバックアップしておく必要があるのは、遊技制御基板１０１のＲＡＭ１１２だけで、演出制御基板１０２のＲＡＭ１２２は、バッテリーバックアップせず、スロットマシン１の電源をＯＦＦしたときには、記憶しているデータが消失してしまうものであってもよい。

40

【０４４８】

上記の実施の形態では、扉開放センサ９５は、前面扉が開放状態にあることを検出するものであり、その検出信号に基づいてセキュリティ信号のうちのドア開放信号が外部出力基板１０５から出力されるものとなっていた。もっとも、扉開放センサ９５は、前面扉を開放するための鍵が解除されていることを検出するものであってもよく、この場合には、実際には前面扉は開放されていなくても当該鍵が解除されていれば、すなわち前面扉が開放可能な状態にあることが扉開放センサ９５により検出されれば、セキュリティ信号のうちのドア開放信号を外部出力基板１０５から出力させるものとして行うことができる。

【０４４９】

50

また、扉開放センサ 95 の検出信号が遊技制御基板 101 に入力されるようにし、扉開放センサ 95 により前面扉が開放状態にあることが検出された場合には、遊技制御基板 101 の CPU 111 は、その旨を示す所定のコマンドを演出制御基板 102 に送信するものとしてもよい。当該所定のコマンドを受信した演出制御基板 102 の CPU 121 は、前面扉が開放状態にあることを、例えば、液晶表示器 4 に所定のメッセージを表示したり、扉開放音を再生してスピーカ 7 L、7 R、7 U から出力させるものとしてもよい。扉開放音を出力するボリュームレベルは、最大レベルとすることが好ましい。

【0450】

スロットマシン 1 の内部には、各種制御を行うための制御回路を搭載した基板類や、設定値を変更するための設定スイッチ 91 などが配置されており、これらの操作のためには前面扉を開放しなければならない。もっとも、これらの操作は、本来遊技者が行い得ない操作であって、遊技店の店員でない者によってスロットマシン 1 の前面扉が開放されているということは、遊技者により不正行為が行われている可能性が極めて高いということになる。前面扉の開放を液晶表示器 4 へのメッセージの表示や扉開放音の出力で報知することによって、遊技店の店員は、不正行為が行われていることを容易に察知することができるものとなる。

【0451】

上記の実施の形態では、設定値を変更することによって遊技制御基板 101 の RAM 112 が初期化されるが、リールモータ 3 M L、3 M C、3 M R をそれぞれ構成するステッピングモータのステップ数をカウントするためのカウンタの値だけは初期化されないものとしていた。これにより、設定値の変更後においてリール 3 L、3 C、3 R が滑らかに回転開始ができずに設定値の変更がされていることが遊技者に察知されてしまうということを防ぐものとしていた。

【0452】

これに対して、設定値を変更したかどうかに関わらず、すなわち設定キースイッチ 92 を ON 状態としてスロットマシン 1 を起動したか否かに関わらず、スロットマシン 1 を起動したときには、ステッピングモータのステップ数をカウントするためのカウンタの値を初期化してしまい、ステッピングモータの各励磁相が必ず初期パターンで励磁されるようになるものとしてもよい。この場合には、設定値を変更したか否かに関わらずにリール 3 L、3 C、3 R が起動後直ぐに同じ挙動をするため、設定値の変更がされていることが遊技者に察知されてしまうということを防ぐことができる。

【0453】

上記の実施の形態では、演出制御基板 102 の CPU 121 は、遊技制御基板 101 から送られてきたコマンドに応じて、演出の処理を行うものとしていた。もっとも、遊技制御基板 101 から送られてきたコマンドは、先入れ先出し方式のコマンド受信バッファに入れられ、コマンド受信バッファに順次入れられたコマンドに処理落ちが生じないことを前提とするものであった。また、遊技者の操作に応じた信号が、演出制御基板 102 の CPU 121 に直接出力されることはなかった。

【0454】

これに対して、演出制御基板 102 の CPU 121 により制御される液晶表示器 4 の前面に、演出操作手段として遊技者によりタッチされた位置を検出可能なタッチパネルを配置するものとし、このタッチパネルにおいてタッチされた位置に応じた信号が、演出制御基板 102 の CPU 121 に出力されるものとしてもよい。そして、CPU 121 は、遊技制御基板 101 から受信したコマンドに加えて、タッチパネルにより検出されたタッチ位置に対応した信号に応じて、演出の処理を行うものとすることができる。

【0455】

また、演出制御基板 102 には、工場からの出荷前に通常の遊技制御基板 102 に代えてコマンドシミュレータ（試験用の遊技制御基板）を接続できる構成とすることができ、コマンドシミュレータから入力される各種の検査コマンドに基づいて、演出制御基板 102 に接続された各演出手段やタッチパネルのような演出操作手段の検査を行えるようにす

10

20

30

40

50

ることができる。

【0456】

ここで、CPU121は、タッチパネルの動作を検査する検査コマンドを受信した場合には、例えば、タッチパネルを全面有効とするとともに後面の液晶表示器4に「触れてください」というメッセージを表示し、正常にタッチ操作が検出されるかどうかを検査することができる。この場合において、タッチパネルのタッチ操作が検出されるまでは、CPU121は、コマンド受信割込処理を禁止し、新たなコマンドの受信を禁止するものとすることができる。

【0457】

このようにタッチパネルの動作を検査する検査コマンドを受信し、これに応じてタッチパネルの動作を行う場合には、タッチ操作の検出までコマンド受信割込処理を禁止し、新たなコマンドの受信を禁止するものとしているので、検査コマンドの受信からタッチ操作の検出までに新たなコマンドを受信しても、当該新たなコマンドに基づく処理を行わないものとなっている。このため、タッチパネルの動作チェックの完了を待たずに誤って検査コマンドを送信した場合も、タッチパネルの動作チェックを正常に行うことができるものとなる。なお、演出操作手段として、タッチパネル以外の演出操作手段、例えば、ボタンやダイヤルを適用した場合も、同様とすることができる。

【0458】

上記の実施の形態では、当選フラグの設定状況に基づいて停止制御テーブルを予め選択し、リール3L、3C、3Rの停止時において停止制御テーブルを参照して図柄の停止位置を決定し、当該停止位置でリールを停止させるテーブル方式でリール3L、3C、3Rの回転を停止させるスロットマシンを例として説明した。これに対して、停止条件が成立したときの現在の図柄位置と当選フラグの設定状況に基づいて、当選している役の図柄が揃うように引き込み制御を行ったり、当選していない役の図柄が揃わないように外し制御を行うコントロール方式でリール3L、3C、3Rの回転を停止させるスロットマシンにも本発明を適用することができる。

【0459】

コントロール方式では、停止ボタン12L、12C、12Rの操作が検出されたときに、対応するリール3L、3C、3Rについてその時点で表示されている図柄から190ミリ秒（チャレンジボーナス中に右のリール3Rについては75ミリ秒）の最大停止遅延時間の範囲内（表示されている図柄と引き込み分を含めて合計5コマの範囲（チャレンジボーナス中に右のリール3Rについては合計2コマの範囲））に、当選フラグの設定されている役の図柄があるかどうかを判定する。

【0460】

当選フラグの設定されている役の図柄（重複当選時には、導出が優先される役の図柄から判断する）があれば、当該役を入賞させるための図柄を選択して入賞ライン（既に停止しているリールがあるときには、停止しているリール上の図柄とともに入賞の表示態様を構成可能な入賞ライン）上に導出させる。そうでなければ、いずれの役にも入賞させないための図柄を選択して導出させる。すなわち、このコントロール方式によりリール3L、3C、3Rの停止を制御する場合も、停止ボタン12L、12C、12Rの操作が検出されてから最大停止遅延時間の範囲で図柄を停止させることにより導出可能となる表示態様であって当選フラグの設定状況に応じた表示態様が、可変表示装置2の表示結果として導出されるものとなる。

【0461】

上記の実施の形態では、可変表示装置2は、外周部に複数の図柄を所定順に配した3つのリール3L、3C、3Rを備えるものとし、これらのリール3L、3C、3Rの回転駆動によって図柄を可変表示させるものとしていた。しかしながら、液晶表示装置などの表示装置上で仮想的に図柄を可変表示させるものを、上記のような可変表示装置2の代わりに用いてもよい。

【0462】

10

20

30

40

50

上記の実施の形態では、賭け数の設定や入賞に伴う遊技用価値の付与に用いる遊技媒体としてメダルを適用したスロットマシンを例として説明した。しかしながら、本発明を具現化するスロットマシンは、パチンコ遊技機で用いられている遊技球を遊技媒体として適用したスロットマシン（いわゆるパロット）であってもよい。遊技球を遊技媒体として用いる場合は、例えば、メダル１枚分を遊技球５個分に対応させることができる。

【０４６３】

いわゆるパロットでは、遊技媒体として用いられる遊技球は、そのままの物理的形態で貯留皿に貯留されており、遊技者がＢＥＴボタンを操作すると、貯留皿（上皿）に貯留されていた遊技球のうちのＢＥＴ操作に応じた数の遊技球が所定の取り込み経路を介してパロットの内部に取り込まれる。この内部に取り込まれた遊技球によって１ゲームを行うための賭け数が設定されるものとなる。

10

【０４６４】

また、パロットにおいて遊技者が精算ボタンを操作した場合には、既に賭け数が設定されていれば（但し、リプレイ入賞後に賭け数が自動設定された場合を除く）、設定された賭け数に応じた数の遊技球がスロットマシンの下部に設けられた下皿に排出される。賭け数が設定されていなければ（先に賭け数の精算を行った場合を含む）、貯留皿に貯留されている遊技球が所定の経路を通過して下皿に排出されるものとなる。下皿には、遊技者が所定のレバーを操作することで貯留された遊技球を下部に通過させるための穴が設けられており、遊技球箱（いわゆるドル箱）を下皿の下においてレバー操作すれば、遊技者が所有する遊技球を容易に遊技球箱に移すことができる。

20

【図面の簡単な説明】

【０４６５】

【図１】本発明の実施の形態にかかるスロットマシンの全体構造を示す正面図である。

【図２】図１のスロットマシンの制御回路の全体構成を示すブロック図である。

【図３】（ａ）は、メダルＩＮ信号の出力状況を示すタイミングチャートであり、（ｂ）は、メダルＯＵＴ信号の出力状況を示すタイミングチャートである。

【図４】可変表示装置を構成する各リール上における図柄の配列を示す図である。

【図５】（ａ）は、入賞となる役の図柄組み合わせを示す図であり、（ｂ）は、遊技状態別当選役テーブルの例を示す図である。

【図６】本発明の実施の形態にかかるスロットマシンにおける遊技状態の遷移図である。

30

【図７】ビッグボーナス中演出のキャラクタ選択、ＲＴナビ抽選の契機及び当選確率、並びにナビ権利の付与の有無の報知タイミング及び報知態様の関係、並びに同時当選に基づくナビ権利の付与の報知タイミング及び報知態様の関係を示す図である。

【図８】（ａ）は、演出高確率モードと演出低確率モードとを振り分けるための演出モードテーブルを示す図であり、（ｂ）は、演出高確率モードにおいて演出ステージを振り分けるための高確率時テーブル、（ｃ）は、演出低確率モードにおいて演出ステージを振り分けるための低確率時テーブルを示す図である。

【図９】本発明の実施の形態にかかるスロットマシンにおける遊技の進行態様の例を示す図である。

【図１０】本発明の他の実施の形態にかかるスロットマシンにおける遊技状態の遷移図である。

40

【符号の説明】

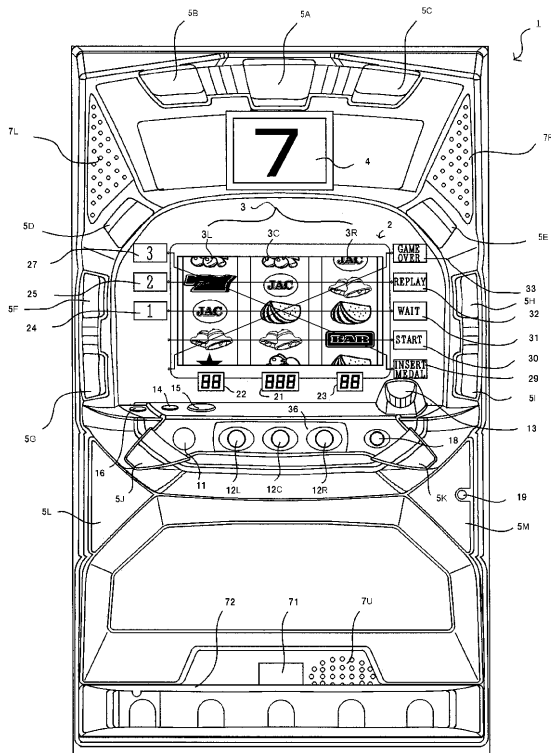
【０４６６】

- １ スロットマシン
- ２ 可変表示装置
- ４ 液晶表示器
- ７Ｌ、７Ｒ、７Ｒ スピーカ
- １１ スタートレバー
- １２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒ 停止ボタン
- １３ メダル投入口

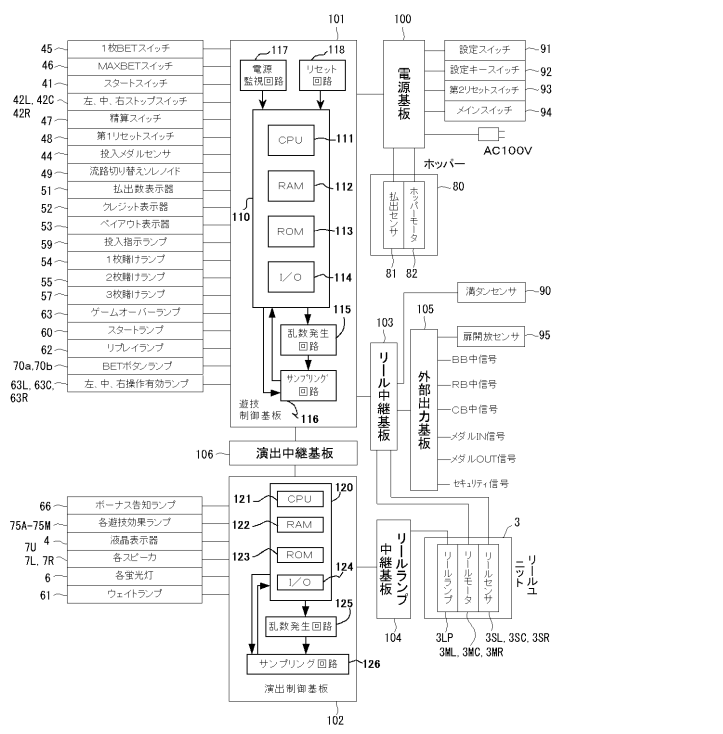
50

- | | |
|-------|-----------------|
| 1 4 | 1 枚 B E T ボタン |
| 1 5 | M A X B E T ボタン |
| 1 0 1 | 遊技制御基板 |
| 1 1 1 | C P U |
| 1 1 2 | R A M |
| 1 1 3 | R O M |
| 1 0 2 | 演出制御基板 |
| 1 2 1 | C P U |
| 1 2 2 | R A M |
| 1 2 3 | R O M |

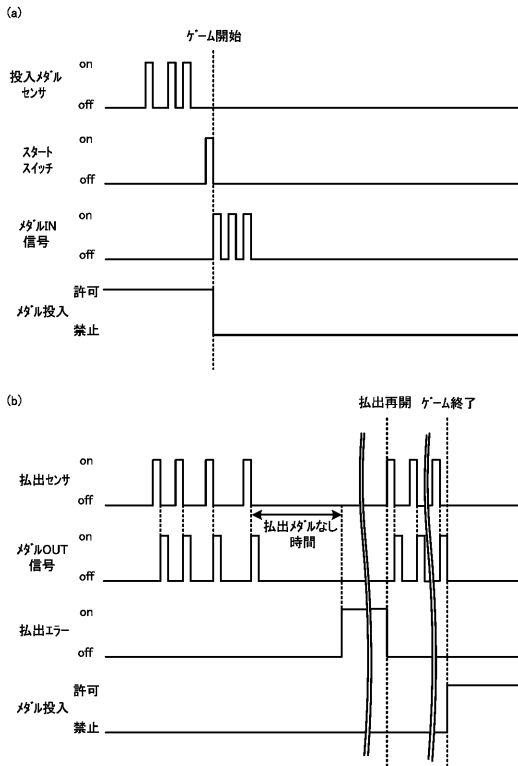
【 図 1 】



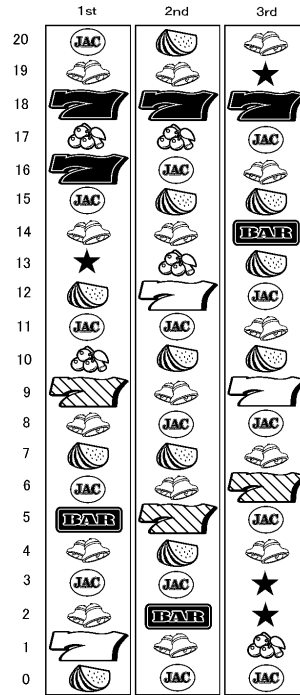
【圖 2】



【 図 3 】



【 図 4 】



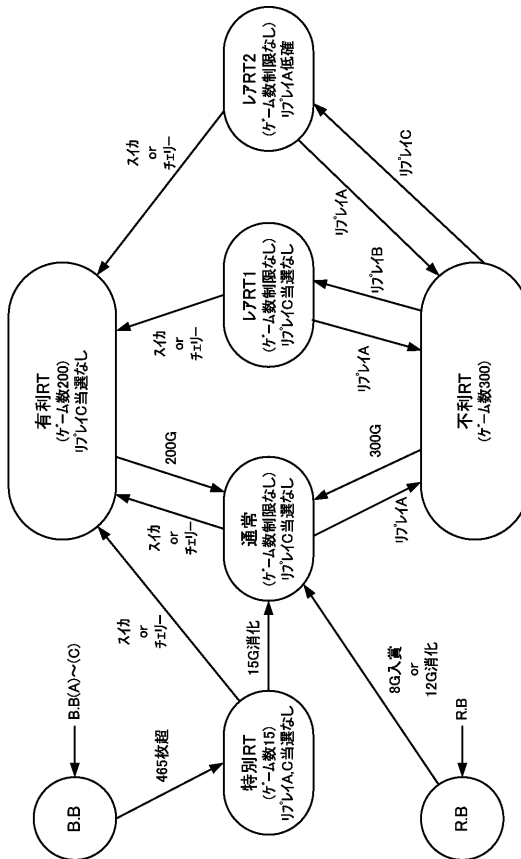
【 図 5 】

(b)	抽選対象役	遊技価値					
		R.B	通常	特別RT	レバRT	リバRT	有利RT 不利RT
	B(BA)	0	45	45	45	45	45
	B(BA)+スナチ+リウ	0	21	21	21	21	21
	B(BA)+リバ	0	19	19	19	19	19
	B(BB)	0	45	45	45	45	45
	B(BB)+スナチ+リウ	0	21	21	21	21	21
	B(BB)+リバ	0	19	19	19	19	19
	B(BC)	0	45	45	45	45	45
	B(BC)+スナチ+リウ	0	21	21	21	21	21
	B(BC)+リバ	0	19	19	19	19	19
	R.B	0	45	45	45	45	45
	R.B+スナチ+リウ	0	21	21	21	21	21
	R.B+リバ	0	19	19	19	19	19
	スナチ	6899	6899	6899	6899	6899	6899
	リバ	58210	10294	10294	10294	10294	10294
	リウ	620	620	620	620	620	620
	リバ+リウ	0	8916	0	8917	1982	50529
	リバ+リウ	0	0	0	8917	0	0
	リバ+リウ	0	0	0	0	6934	0

(9)

人賞役	國網編み合わせ
BB(A)	赤7 - 赤7 - 赤7
BB(B)	青7 - 青7 - 青7
BB(C)	白7 - 白7 - 白7
BB	BAR - BAR - BAR
スバ	スバ - スバ - スバ
ハル	ハル - ハル - ハル
チリ	ANY - ANY - チリ
ワ7/A	JAC - JAC - JAC
ワ7/B	JAC - JAC - JAC
ワ7/C	JAC - ハル - ハル

【 図 6 】



【図 7】

	キャラクタ選択	抽選契機	当選確率	報知タイミング	報知形態
同時	なし	—	—	ビッグボーナス開始時	キャラクタD
単独	A	チェリー当選	1/1	当選時(ゲーム開始時)	キャラクタA
	B	スリカ当選	1/10.8	ゲーム終了時	キャラクタB
	C	ベル当選	1/93.9	ビッグボーナス終了時	キャラクタC

【図 8】

状況	電源投入後 ゲーム	後続ゲーム
通常、特別RT、レフRT1、レフRT2、 不利RT残り1～50ゲーム	0	64
	120	32
	8	32
有利RT&ボーナス当選	0	64
	127	80
	1	4
不利RT残り51ゲーム以上 有利RT&ボーナス非当選	0	32
	24	8
	104	88

分母 128 上段:変化なし
中段:高確率モード
下段:低確率モード

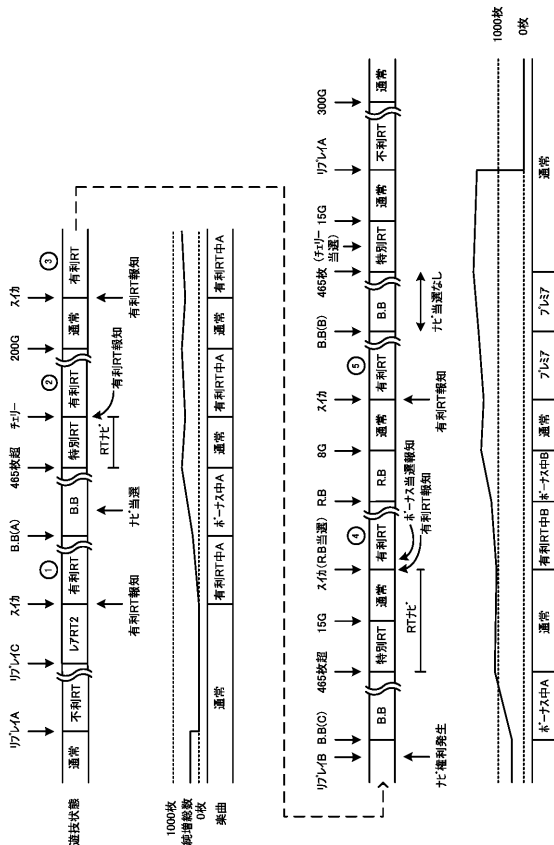
状況	設定値	1	2	3	4	5	6
通常、特別RT、レフRT1、レフRT2、 不利RT残り1～50ゲーム	128	123	118	113	108	103	
	108	93	58	48	52	57	
	16	32	64	64	48	32	
有利RT&ボーナス当選	123	118	48	32	32	48	
	93	58	48	32	32	16	
	32	64	128	128	96	64	
不利RT残り51ゲーム以上 有利RT&ボーナス非当選	224	219	214	209	204	199	
	27	27	22	23	28	33	
	4	8	16	16	12	8	
	1	2	4	8	12	16	

分母 256 1段目:変化なし
2段目:ステージ1
3段目:ステージ2
4段目:ステージ3

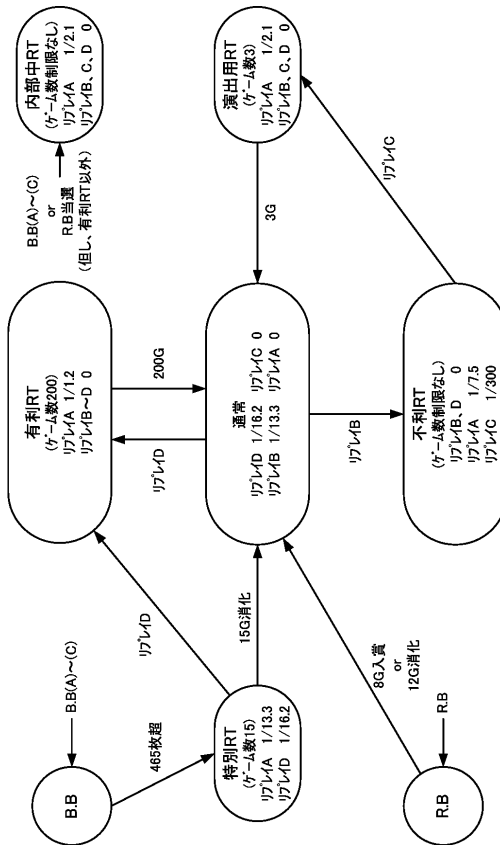
状況	設定値	1	2	3	4	5	6
通常、特別RT、レフRT1、レフRT2、 不利RT残り1～50ゲーム	192	187	182	177	172	167	
	54	49	32	31	36	41	
	8	16	32	32	24	16	
有利RT&ボーナス当選	128	123	118	113	108	103	
	108	93	58	48	52	57	
	16	32	64	64	48	32	
不利RT残り51ゲーム以上 有利RT&ボーナス非当選	240	235	230	225	220	215	
	14	16	16	19	24	29	
	2	4	8	8	6	4	
	0	1	2	4	6	8	

分母 256 1段目:変化なし
2段目:ステージ1
3段目:ステージ2
4段目:ステージ3

【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

F ターム(参考) 2C082 AA02 AA05 AB04 AB12 AB16 AB25 AB29 AC23 AC34 AC52
AC77 AC82 BA02 BA13 BA14 BA15 BA22 BA32 BA35 BA38
BB02 BB03 BB13 BB14 BB15 BB22 BB23 BB32 BB33 BB34
BB42 BB43 BB44 BB46 BB78 BB80 BB83 BB84 BB93 BB94
BB96 CA02 CA03 CA23 CA24 CA25 CA29 CB04 CB23 CB27
CB33 CB42 CB45 CC01 CC12 CC24 CD03 CD12 CD18 CD23
CD25 CD31 CD32 CD35 CD41 CD48 CD49 CD55 CE12 CE14
CE15 CE23 DA19 DA42 DA52 DA54 DA55 DA58 DA63 DA80
DA81 DA82 DA83 DB07 DB08 DB16 DB17 DB22 DB23 EA16
EA26